

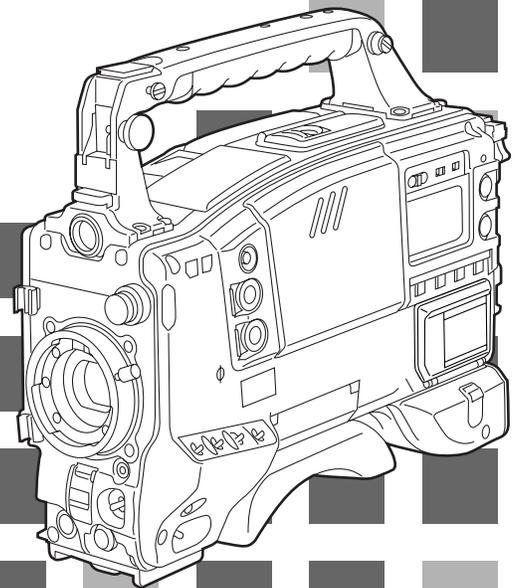
Panasonic

DVCPRO HD

Camera/VTR

AJ-HDC27F

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

本製品には充電式電池を使用しております。
ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために
廃棄しないでリサイクルにご協力ください。
リサイクルに関するお問い合わせ先は、裏表紙をご参照
ください。

保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を
お確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書
の製造番号をお確かめください。

次の点にご留意ください。

- ・重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ・ビデオカメラ、本機およびテープの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

目次

安全上のご注意	5	ビューファインダー画面の状態表示	46
概要	8	表示項目の選択	48
特長	8	表示モードと設定変更メッセージ	50
カメラ部の特長	8	表示モードを切り替える	51
VTR 部の特長	10	マーカー表示の設定	51
システム構成	11	カメラIDの設定	52
各部の名称と働き	12	ディスプレイ表示	53
電源部	12	バッテリー残量と音声レベルの表示	53
アクセサリ取り付け部	13	エラーや警告に関する表示	53
音声機能部	14	タイムコードに関する表示	53
ビューファインダー部	16	日付/時刻の調整	54
撮影(記録)/再生機能部	17	設定メニューによる調整とセットアップ	54
警告/状態表示部	22	ホワイトバランス/ブラックバランスの調整	55
メニュー操作部	23	ホワイトバランスの調整	55
タイムコード関連部	23	ブラックバランスの調整	59
電源の供給	25	電子シャッターの設定	60
アントン・パワー社製バッテリーパックの使用	25	シャッターモードについて	60
パナソニック製バッテリーパック AJ-BP490 の使用	26	シャッタースピードの登録	60
ソニー社製バッテリーパック NP-1/BP-90 の使用	27	シャッターモード/スピードの設定	61
Vマウント方式バッテリーパックの使用	27	シャッタースピード/モードの選択範囲を変える	61
AC電源の使用		シンクロスキャンモードの設定	62
ACアダプタ AJ-B75 を使用した場合	28	シャッタースピード表示の切り替え	62
レンズの取り付け	29	フィルムトーンガンマ	63
レンズのフランジ調整	30	フレーム周波数の切り替え	63
ホワイトシェーディング調整	31	バリアブルフレームレート	64
ビューファインダーの調整	35	フレームレートの設定	64
ビューファインダーの取り付け	35	スキャンリバース	66
ビューファインダーの取り外し	35	スキャンリバースの設定	66
位置調整	36	音声レベルの調整	66
音声入力の準備	37	音声レベルの手動調整	66
マイクをビューファインダー(別売品)に取り付けて使用する場合	37	リミッターについて	66
マイクを本体に取り付けて使用する場合	38	タイムデータの設定	67
マイクを MIC IN 端子に接続する場合	39	ユーザーズビットの設定	67
マイクを AUDIO IN 端子に接続する場合	39	タイムコードの設定	68
ワイヤレスマイクを使用する場合	40	タイムコードを外部ロックさせる	69
オーディオ機器を接続する場合	40	テープ管理情報	70
三脚への取り付け	41	ユーザーデータの使い方	71
ショルダーベルトの取り付け	42	シーンファイルの使い方	72
ショルダーパッドの位置調整	42	セットアップカードの操作	76
レインカバーの取り付け	43	セットアップカードのフォーマット	77
エクステンションコントロールユニットの接続	43	設定したデータをカードに書き込む	78
ビューファインダーのランプ表示	44	カードに記憶されているデータを読み出す	80
① ランプ表示の設定	45	カセットテープについて	82
		記録	83
		撮影	84
		つなぎ撮り	85
		再生(記録内容のチェック)	87
		レックレビュー	87
		カラー再生	87

目次

レンズのRET ボタンの働き	86	FILM (CAM) MAIN MENU 4	
その他のVTR機能	87	FILM (CAM) USER MENU SELECT 1画面	110
NEWS REC機能	87	FILM (CAM) USER MENU SELECT 2画面	110
RETAKE機能	87	FILM (CAM) USER MENU SELECT 3画面	110
INTERVAL REC (間欠記録)機能	87	BLACK SHADING画面	111
メニュー操作	88	WHITE SHADING画面	111
設定メニューの基本操作	89	FLARE画面	111
SUBメニューを表示し、設定値を決める	90	COLORIMETRY画面	111
設定メニューの構成	91	INITIALIZE画面	111
設定メニュー画面	95	DIAGNOSTIC画面	112
< FILM (CAM) MENU >		EVALUATION画面	112
FILM (CAM) MAIN MENU 1画面	95	OPTION画面	112
FILM (CAM) MAIN MENU 2画面	95	< VTR MENU >	
FILM (CAM) MAIN MENU 3画面	95	VTR MAIN MENU画面	114
FILM (CAM) MAIN MENU 4画面	95	FUNCTION画面	115
FILM (CAM) MAIN MENU 1		BATTERY/TAPE画面	116
ROP画面	96	BATTERY SETTING画面	117
MATRIX画面	96	VTR VF INDICATOR画面	118
COLOR CORRECTION1画面	97	MIC/AUDIO画面	118
COLOR CORRECTION2画面	97	TC/UB画面	120
LOW SETTING画面	98	TIME DATE画面	122
MID SETTING画面	98	VTR USER MENU SELECT画面	122
HIGH SETTING画面	99	VTR CARD READ/WRITE画面	122
ADDITIONAL DTL1画面	99	VTR INITIALIZE画面	122
ADDITIONAL DTL2画面	99	DIAGNOSTIC画面	122
SKIN TONE DTL画面	100	< VTR USER MENU SELECT >	
KNEE/LEVEL画面	100	FUNCTION画面	123
GAMMA画面	101	BATTERY/TAPE画面	123
CAMERA SETTING画面	101	VTR VF INDICATOR画面	124
FILM (CAM) MAIN MENU 2		MIC/AUDIO画面	124
VF DISPLAY画面	102	TC/UB画面	124
VF MARKER画面	103	リモートメニュー画面	125
VF INDICATOR画面	103	< FILM (CAM) REMOTE MENU >	
CAMERA ID画面	104	TALLY/RET画面	126
SHUTTER SPEED画面	104	警告システム	127
SHUTTER SELECT画面	105	EMERGENCY イジェクト	129
! LED画面	106	エラーコード	129
CAMERA SW MODE画面	106	メンテナンス	130
SUPER GAIN画面	107	結露	130
FRAME MODE画面	107	ヘッドクリーニング	130
FILM (CAM) MAIN MENU 3		ビューファインダー内のクリーニング	130
CAM CARD READ/WRITE画面	108	CCDカメラ特有の現象について	130
CAM CARD R/W SELECT画面	108	バックアップ電池の交換	130
GENLOCK/IRIS画面	109	撮影前の点検	131
LENS ADJ画面	109	点検の準備	131
		カメラ部の点検	131
		ビューファインダーの点検	132
		絞り、ズーム機能の点検	133
		VTR部の点検	133
		アフターサービス	135
		定格	136

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する!



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!



禁止

火災や感電の原因になります。

本機を改造しない!



分解禁止

火災や感電の原因になります。

機器が濡れたり、水が入らないようにする!



火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

水場で使用しない!



水場
使用禁止

火災や感電の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む!



火災や感電の原因になります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

表示された電源電圧以外は使用しない!



禁止

火災や感電の原因になります。

乾電池やバッテリーは、極性 (+, -) を正しくつなぐ!



破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。

警告

ケーブルが破損するようなことはしない！
傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

指定のカバー以外は外さない！



感電の原因になります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

乾電池やバッテリーを分解・加熱しない！
火中・水中に投げ入れない！



ショートや破裂、液漏れにより、けがや火傷をする原因になります。

禁止

注意

電源コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない！



感電の原因になる恐れがあります。

禁止

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する！



けがをする恐れがあります。

指に注意

⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>長時間使用しないときは、バッテリーを外す!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p>	<p>コードやショルダールベルトを下にたらしさない!</p> <p> 触れたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない!</p> <p> 操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用の AC アダプター以外は使用しない!</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる!</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>禁止</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する!</p> <p> けがや事故につながる恐れがあります。</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない!</p> <p> 倒れると、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>指定外の乾電池やバッテリーは、使用しない!</p> <p> 破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>バッテリー（パック）を充電しているときは、周囲に燃えやすいものを置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>
<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>		

概要

本機は、SMPTE-296M 1280 × 720 スキャニング規格に対応したカメラレコーダーです。

映像素子に100万画素のオンチップレンズ付きIT-CCDを採用したHDカラービデオカメラと、最新の圧縮技術を搭載したDVCPRO HDフォーマットのVTRとを一体化したものです。

カメラ部は、バリエアブルフレーム機能とフィルムトーンガンマ機能に対応し、さらに35mmフィルムカメラ用ウルトラプライムレンズに標準で対応しています。

特に、VTRへの記録レートも100Mbpsとし、極めて高画質の画像が記録できますので、EFP用VTR一

体型として、最適の機能・性能を実現しています。

また、小型で軽量・低消費電力に優れ、高画質・高感度・機動性・防塵・防湿性に優れており、ENG用としてもご使用いただけます。

さらに、カメラ部、VTR部共にデジタル信号処理を採用しておりますので、画質の一層の向上、安定性の向上を図っています。

カメラとVTRの設定データは、世界標準の小型マルチメディアカードやSDメモリーカードが使用でき、データ管理が図れるシステムを実現しています。

特長

カメラ部の特長

本機のカメラ部の特長は次のとおりです。

- ・高感度：2000lux (F12)
- ・フレームレート：4fps～60fps
- ・高S/N：54dB (標準)
- ・低スミア
- ・低フレア
- ・スキャンリバース
- ・フレーム周波数切り替え可：59.94Hz/60.00Hz

バリエアブルフレームレート

フィルム独特の撮影手法であるコマ落とし（アンダークランク）撮影や高速度（オーバークランク）撮影を、ビデオカメラで初めて実現しました。

バリエアブル・フレームレート機能は、1秒間に4コマ（4fps）から60コマ（60fps）まで任意に設定ができます。

シャッター速度もフレームレートの0.8%（開口角度3.0°）から97.2%（開口角度350°）まで設定することができ、さまざまな演出技法が活かされます。

VTR部では、常に60fpsで記録するとともに、有効フレームだけにタイムコードをマーキングすることで、従来のDVCPRO HD VTRを用いたオフライン編集が可能になり、少ない設備投資で24fps制作システムが構築できます。

フィルムトーンガンマ

フィルムならではの豊かな表現力の第一のポイントは、ラティチュード（再現域）の広さにありました。フィルムトーンをCCDで再現するための専用ガンマカーブを独自で開発し、従来のビデオカメラでは困難だった自然な階調表現と豊かな色再現を可能にしました。本機では、2種類のシネガンマ（フィルム用/ビデオ用）と従来のビデオガンマ、計3種類のガンマカーブを搭載しており、用途に合わせて選択が可能です。まさに、フィルムと同等の表現力が得られます。さらに、フィルムカメラに勝ち誇る高感度が明るさと高画質を両立、ISO640相当の感度が超微粒子フィルムの感覚で撮影できます。

従来のビデオガンマを使用するときは、FILM (CAM) MAIN MENU 4「OPTION」画面のCAM MENU SEL項目で、本機をビデオモードに切り替えてください。

シネガンマを使用するときは、FILM (CAM) MAIN MENU 4「OPTION」画面のCAM MENU SEL項目で、本機をフィルムモードに切り替えてください。FILM MAIN MENU 1の「GAMMA」画面CINE GAMMA SEL項目で、2種類のガンマを選択できます。

カメラ部の特長

プライムレンズモード

フィルムの感性を支えるレンズはもちろんのこと、カメラ周りの周辺機材はカメラマンの技術と切り離せない重要な役目をはたします。本機はアンジェニュー社のHDレンズアダプターにより、フィルム用ウルトラプライムレンズに標準で対応します。しかも、アダプター使用時の画像反転をキャンセルするスキャン・リバース機能を業界で初めて標準装備し、メニュー設定で容易に切り替えることができます。

また、スライドベース、マットボックスなどの使い慣れたフィルムカメラ用機材に対応しています。

ロングビューファインダーや小型LCDモニターなど関連メーカーのオプションも充実し、フィルムからHDへ、カメラ本体を取り替えるだけの感覚で使いこなせます。

フィルムユーザーメニュー

機能や性能だけでなく、操作面でもフィルムカメラユーザーに配慮しました。

シネマ撮影の現場で使用頻度の高い設定項目を1ページ目に集めたシネマ用イメージメニュー (FILM USER MENU) を設けています。

ガンマの選択やスキャン・リバースのON/OFFと合わせて、硬調・軟調の質感調整、シャドウ部の階調設定、ラティチュードの調整、およびフィルム同様のタングステンライト (3200K) タイプ/デイルイト (5600K) タイプの選択がひとつのメニュー画面で行えます。

デジタル信号処理

標本化周波数 74.1758MHz (59.94Hz) /74.25MHz (60.0Hz)、10ビットのAD変換により信号処理をデジタル化しています。

画質・安定性・信頼性が向上するとともに、ビューファインダー画面の表示や、多くの調整/セットアップ項目をメニュー化しました。

4枚構成のフィルターディスクを標準装備

被写体の明るさ、および被写体の色温度に応じて最適なフィルター設定を選択できます。

CC/ND独立のそれぞれ4枚構成 (計8枚) のフィルターディスクを標準装備しています。

シネマ制作から放送用まで幅広い画づくりに応えるカメラ部

- 高感度型3CCDにより、感度F12 (2000 lux) を実現。
最低被写体照度0.7 lux。
- フィルムトーンを再現するガンマカーブ (切り替え式)。
- フィルム用24fps (フレーム/毎秒) はもちろん、4fpsから60fpsまで撮影コマ数を任意に設定
- 画づくりを数値管理、ジョグダイヤルと階層化メニューで簡単操作のデジタルセットアップ。
- フィルム制作者のための“シネマ用イメージメニュー” 装備。
- SDカード (別売品: RP-SD008B) にセットアップデータを最大8ファイルまで保存可能。
- 高画質回路内蔵:
オートニー、多彩なディテール機能、シェーディング補正、12軸カラー補正回路、マスキング回路。
- 2レベルのゼブラパターンとスポットゼブラ内蔵。
- ゲインセレクターに-6dB (フィルムモードでは-3dB) から+30dBまでの10値から3値を割り当て。
さらに、スーパーゲイン機能で最高+36dBまでゲインアップ可能。
- USER1/USER2 ボタンに下記の機能割り当てが可能:
スーパーアイリス、スーパーゲイン、スーパーブラック、ブラックストレッチ、オーディオCH1/CH2入力のフロント/リア切り替え、記録スタート/ストップ、リターンスイッチ、Y GET (出力輝度レベルの測定)。
- 6段階のシャッタースピードに加え、

1/100秒、1/120秒、1/250秒、1/500、1/1000秒、1/2000秒 (または、180.0deg、172.8deg、144.0deg、120.0deg、90.0deg、45.0deg)

バリエアブル機能付き電子シャッター。

フレームレートの0.8%から97.2% (開口角度3.0°から350.0°)

- フィルム同様のタングステンライトタイプ/デイルイトタイプがメニュー画面で選択可能。
また、ND&CCの2枚組光学フィルターを標準装備。
- ABB (自動ブラックバランス) とAWB (自動ホワイトバランス) 機能搭載。
AWBは、CCフィルター (4種類) 毎に2値を保持可能。
- ビューファインダー画面に状態・警告を表示。

特長

VTR 部の特長

デジタル方式

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

パワーセーブマネージメント (SAVE REC) 機能

本機で記録するときは、再生系の回路を停止していません。また、HD SDI OUT 端子への出力も、ケーブルが接続されていないときは、停止するようにして、省電力での動作を可能にしています。

つなぎ撮り

VTR START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押すだけで、0～+1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

レックレビュー機能

記録した最後の約2～10秒間を、自動的に巻き戻して再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

再生機能

再生画像（白黒画像）をビューファインダー画面で見ることができます。また、本体のHD SDI OUT 端子からカラーの再生画像を出力することができます。

タイムコードジェネレータ/リーダー内蔵

専用のサブコードトラックとビデオのAUX エリアの2つに、同一または別々のタイムコード情報を記録し、再生することができます。

タイムコードの外部ロック

内蔵のタイムコードジェネレータを、外部のジェネレータにロックさせることができます。

また、内蔵のタイムコードジェネレータのバックアップ用電源としてリチウム電池を使用しているため、本機に電源を供給しない状態でも、約1年間バックアップが可能です。

テープ管理情報

本機は、撮影速度を示すフレームレート情報と、フレーム映像が切り替わった先頭フレームを示すアクティブフレーム情報、また、アクティブフレームのカウント情報が、テープ管理情報としてサブコードトラック領域（従来のLTC領域）のユーザーズビットに自動的に格納されます。

DOLBY NR システム内蔵

CUE オーディオの記録回路には、ドルビーB回路を内蔵しています。

音声機能

- ・ファントム給電方式の鋭指向性マイクロホン（別売品）を取り付けることができます。本体から取り外し、インタビューマイクとしても使えます。
- ・他のマイクも接続でき、マイクホルダー AJ-MH700P（別売品）を使えば本体に取り付けることもできます。

NEWS REC 機能

特にニュース取材やドキュメンタリー撮影でのシャッターチャンス逃がすことなく撮影できることをサポートする機能です。

つまり、記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンスの映像抜けを、スタートキーの受け付け時間を制御する事で、記録を停止する事なく継続して記録をすることを可能にします。

RETAKE 機能

特にニュースやリポート、美術・芸術番組の撮影などでカットのNGが発生した場合に、余分なカットを残さないための機能です。

但し取り扱い時には十分ご注意ください。

撮影時間に余裕があり、明らかにNGと判断した場合に、MODE CHECK ボタンとレンズのRET ボタンの操作によってそのカットの頭までテープを巻き戻し、REC PAUSE (REC スタンバイ) 状態にします。この点から記録が開始される為、NG部分のカットが消去される事になります。なお、NGカットの一つ前のカットを消さないように約10フレームのNGカット部分を残すようにしています。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。

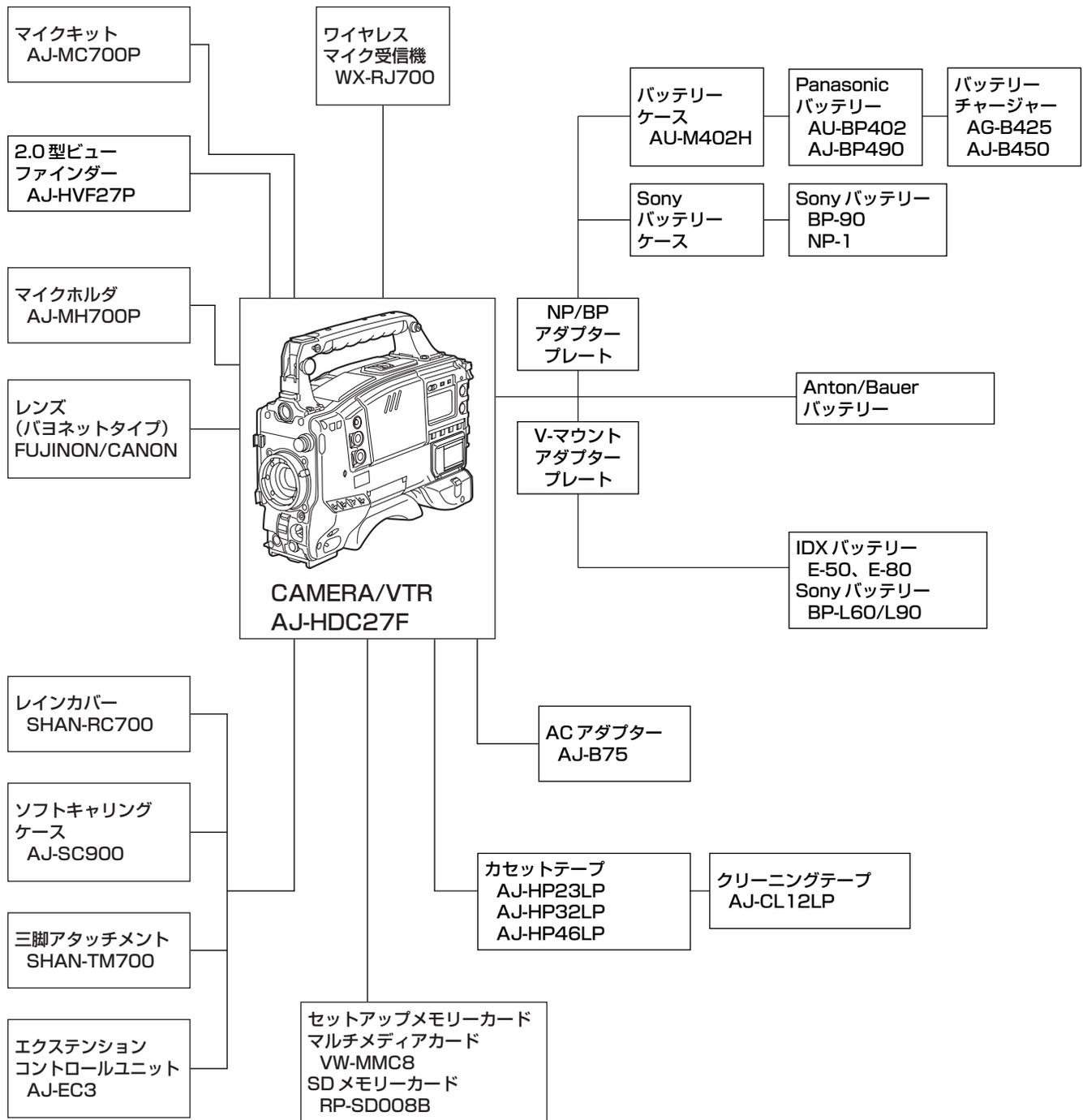
INTERVAL REC 機能

簡易のインターバル撮影をすることが可能です。

特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

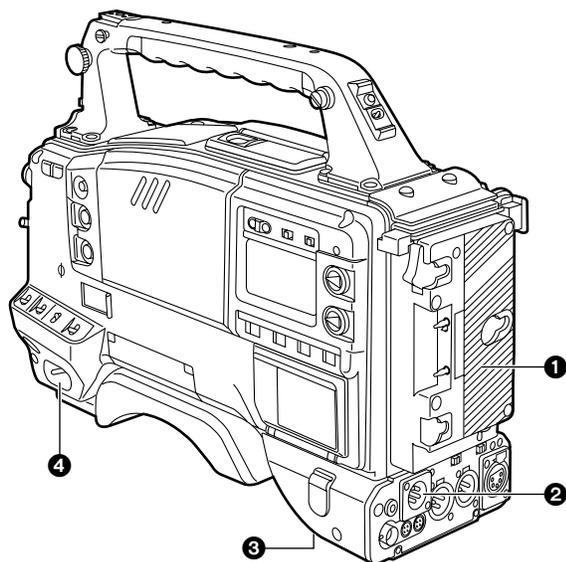
ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY およびダブルD記号 **DD** はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

システム構成



各部の名称と働き

電源部



① バッテリーマウント

アントン・バウアー製のバッテリーパックを取り付けます。

② DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

本機を AC 電源で動作させるとき、AC アダプタ AJ-B75 (別売品) と接続します。

③ BREAKER (ブレーカー) ボタン

機器を保護するため、内部に過大電流が流れるとブレーカーが作動し、電源が自動的に切れます。内部の点検・調整をした後、このボタンを押し込みます。異常がなければ再び電源が入ります。

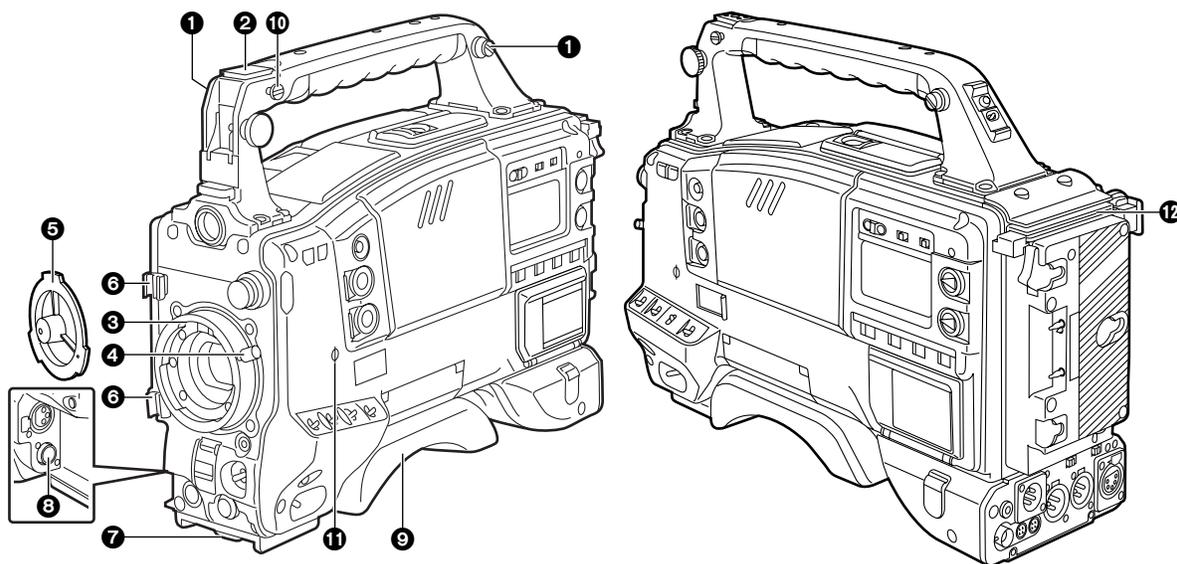
④ POWER (電源) スイッチ

ON : 電源を入れるとき。

OFF : 電源を切るとき。

各部の名称と働き

アクセサリ取り付け部



① ショルダーベルト取り付けフック

付属のショルダーベルトを取り付けます。

② ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

③ レンズマウント (バヨネット型)

レンズを取り付けます。

④ レンズ固定レバー

レンズをレンズマウント③に差し込み、このレバーでレンズマウントリングを回してレンズを固定します。

⑤ レンズマウントキャップ

レンズ固定レバー④を押し上げて、キャップを取り外します。
レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。

⑥ レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

⑦ 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプタタッチメント (SHAN-TM700) を取り付けます。

⑧ LENS (レンズ) 端子 (12ピン)

レンズの接続ケーブルを接続します。
ご使用になるレンズについては、販売店にご相談ください。

⑨ ショルダーパッド

本機を肩に乗せたとき操作しやすくなるように、このパッドを調節します。
固定ネジ2本をゆるめると、前後方向に位置を調節できます。

⑩ メジャー用フック

被写体の距離を測るときのメジャーを取り付けます。
<ノート>
ショルダーベルト用のフックではありません。

⑪ 焦点マーク

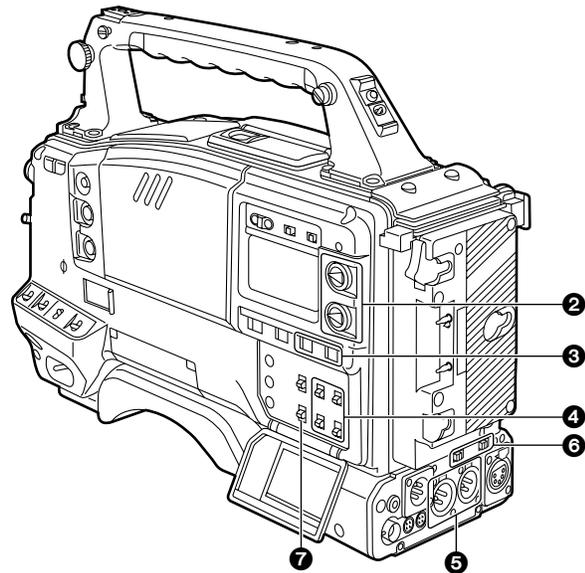
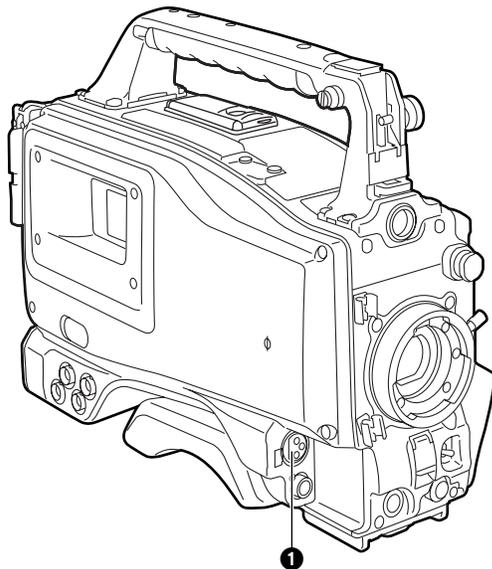
CCDの焦点位置を示します。

⑫ 延長装置対応スペーサー

別売のマルチコア延長装置カメラアダプターを接続します。

各部の名称と働き

音声機能部 (1)



① MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、3ピン)
マイクロホン (別売品) を接続します。
マイク用の電源はこの端子から供給されます。

② AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 (音声チャンネル 1/2 録音レベル調整) つまみ
AUDIO SELECT CH 1/CH 2 スイッチ **③** を「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル 1・2 の録音レベルが調整できます。

③ AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル 1/2 自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ
音声チャンネル 1・2 の音声レベルを調整する方法を選びます。
AUTO : 自動調整をします。
MAN : 手動調整をします。

④ AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ
音声チャンネル 1・2 に録音する入力信号を選びます。
FRONT : MIC IN 端子 **①** に接続したマイク入力信号を録音します。
REAR : AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 **⑤** に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音します。

⑤ AUDIO IN CH 1/CH 2 (音声入力チャンネル 1/2) 端子 (XLR、3ピン)
オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。

⑥ LINE/MIC/+ 48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+ 48V) 切り替えスイッチ
AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 **⑤** に接続した音声入力信号を切り替えます。
LINE : ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号
MIC : 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません。)
+ 48V : 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します。)

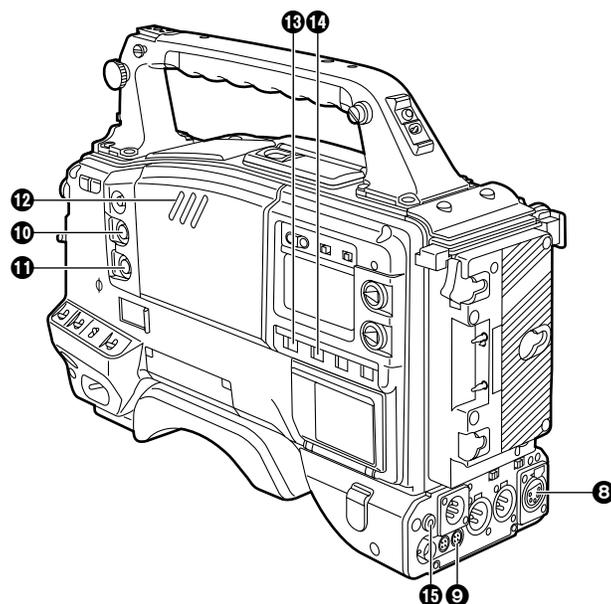
⑦ CUE スイッチ
CH 1 : 音声 CH 1 信号をキュートラックに記録します。
MIX : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス信号をキュートラックに記録します。
CH 2 : 音声 CH 2 信号をキュートラックに記録します。

<ノート>

VTR MAIN MENU で、このスイッチを無効にすることも可能です。(119 ページ参照)

各部の名称と働き

音声機能部 (2)



⑧ AUDIO OUT 端子 (XLR、5 ピン)

オーディオ機器に接続します。
音声 CH 1 と音声 CH 2 が独立して出力されます。
また、MONITOR OUT の SDI スイッチに連動して、記録音声と再生音声切り替わります。(SDI スイッチが「OFF」のときは出力されません。)

⑨ DC OUT (DC 電源出力) 端子

DC 12V の出力端子です。約 400mA の電流を取り出すことができます。

⑩ ALARM (警告アラーム音量調節) つまみ

スピーカー ⑫ または、PHONES 端子 ⑮ に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。
最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

⑪ MONITOR (音量調節) つまみ

警告アラーム以外のスピーカーやイヤホンの音量を調節します。
最小の位置にすると、音は聞こえません。

⑫ スピーカー

記録中は EE 音声を、再生中は再生音をモニターできます。
警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。
PHONES 端子 ⑮ にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

⑬ MONITOR SELECT (音声チャンネル選択) スイッチ

スピーカーやイヤホンから出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH 1 : 音声 CH 1 信号を出力します。

1/2 : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス信号または、ステレオの音声信号を出力します。
ただし、スピーカーにはミックス信号のみが出力されます。

CH 2 : 音声 CH 2 信号を出力します。

⑭ MONITOR (音声選択) スイッチ

MONITOR SELECT スイッチ ⑬ で「1/2」を選択したときのイヤホンに出力される音声を切り替えます。

ST : 音声 CH 1 と CH 2 のステレオ音声信号を出力します。

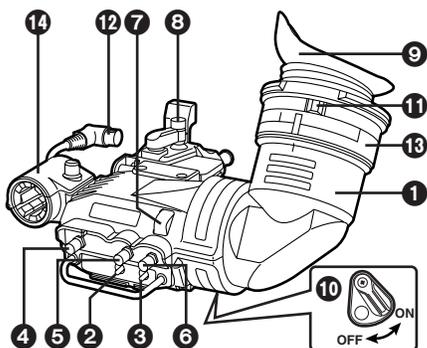
MIX : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス音声信号を出力します。

⑮ PHONES (イヤホン) 端子 (ミニジャック)

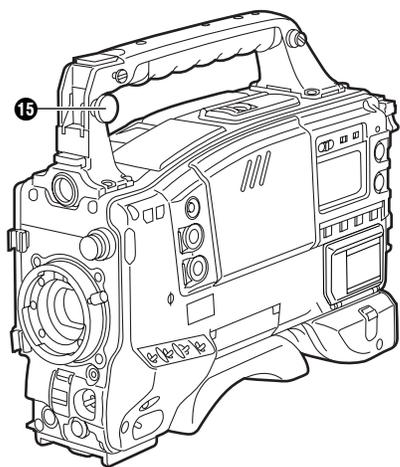
イヤホン (別売品) を接続すると、MONITOR スイッチ ⑭ で選択した音声が聞こえます。また、本機の動作や状態に関する警告アラームも聞こえます。イヤホンは十分な音量を得られるものをおすすめします。ただし、イヤホンを接続すると、スピーカー ⑫ からの音は自動的に切れます。

各部の名称と働き

ビューファインダー部



(ビューファインダーのイラストはAJ-HVF27P)



(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。)

① ビューファインダー (別売品)

記録・再生中に、白黒の映像を見ることが出来ます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ (セーフティゾーンマーカ、センターマーカ) など見ることが出来ます。

② ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

ON : ゼブラパターンを表示させます。

OFF : ゼブラパターンは表示されません。

出荷時 (フィルムモード) のゼブラパターンは、映像レベルが約 80%以上で、85%以下の部分を示すように設定されています。

FILM (CAM) MAIN MENU 2 「VF DISPLAY」画面の ZEBRA 1 DETECT と ZEBRA 2 DETECT、ZEBRA 2 項目の設定で、必要なゼブラパターンを表示することができます。

③ TALLY スイッチ

フロントタリーランプ ⑦ をコントロールします。

HIGH : フロントタリーランプが明るくなります。

OFF : フロントタリーランプが消灯します。

LOW : フロントタリーランプが暗くなります。

④ PEAKING (ピーキング) つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑤ CONTRAST (濃淡) つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑥ BRIGHT (明るさ) つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑦ フロントタリーランプ

TALLY スイッチ ③ が「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、VTR 部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。点灯時の明るさは、TALLY スイッチ (HIGH または LOW) で切り替えることができます。

⑧ ビューファインダー前後左右位置固定レバー

ビューファインダーの位置を前後左右方向に調整するとき、このレバーをゆるめます。

⑨ アイピース

⑩ バックタリーランプ

VTR 部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

レバーを OFF 側にすると、バックタリーランプが隠れます。

⑪ 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。

⑫ 接続プラグ

⑬ ロックリング

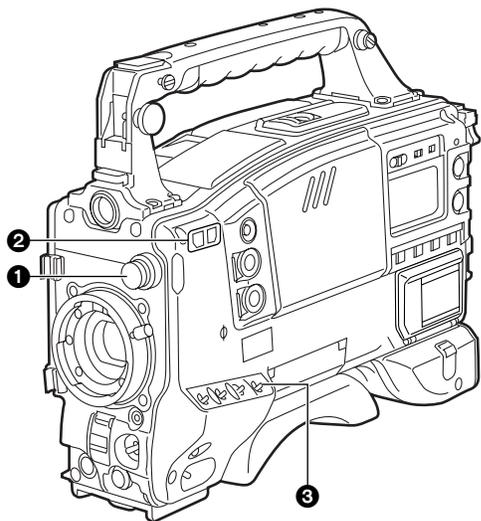
⑭ マイクホルダー

⑮ ビューファインダーストッパーネジ

ビューファインダーをカメラから外すとき、このストッパーネジをゆるめてからビューファインダーを取り外します。

各部の名称と働き

撮影（記録）／再生機能部（1）



① CC FILTER/ND FILTER（フィルター切り替え）つまみ

被写体を照らしている光源に合わせて、フィルターを選択します。メニューの表示モードが「3」（初期設定）に設定されている場合、このつまみの設定を切り替えると、新しい設定がビューファインダー画面の設定変更メッセージ表示部に表示されます。

■ つまみの設定とフィルターの選択

CC FILTERつまみ（大径）の設定	CC フィルターの選択
A	クロスフィルター
B	3200 K
C	4300 K
D	6300 K

<ノート>

上記の色温度は、FILM (CAM) MAIN MENU 1の「CAMERA SETTING」画面で、LIGHTING項目をTUNGSTENまたは、D5600K項目をOFFに設定した場合の色温度です。

ND FILTERつまみ（小径）の設定	ND フィルターの選択
1	CLEAR（素通し）
2	1/4 ND
3	1/16 ND
4	1/64 ND

● フィルターの組み合わせは、上記の2種類が用意されています。

■ フィルターの選択例

撮影条件	CC フィルター	ND フィルター
日の出、日没、スタジオ内	B (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	C (4300 K) または D (6300 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	D (6300 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	C (4300 K) または D (6300 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

② シンクロスキャン調整スイッチ

シャッタースイッチ ⑦ を「ON」にし、SYNCHRO SCAN 2が選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。

－のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、＋のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニター撮影などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

③ WHITE BAL（ホワイトバランスメモリー切り替え）スイッチ

PRST：

ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに、この位置にします。

TUNGSTEN (3200K) のホワイトバランス値をメモリーしています。

DAY LIGHT (5600K) に変更可能です。

AまたはB：

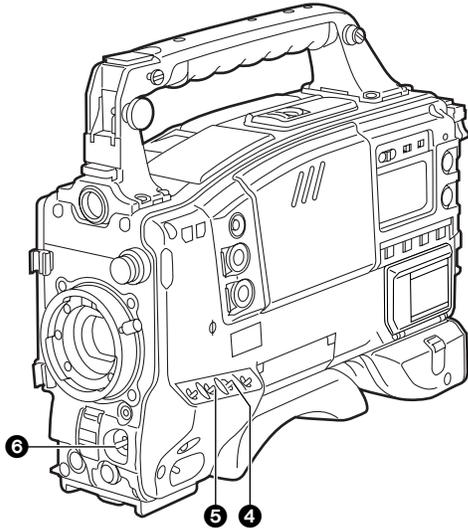
AUTO W/B BALスイッチ ⑥ を「AWB」側に押し、CC FILTERつまみ ① の設定位置に応じてホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリーAまたは、メモリーBにメモリーされます。

CC FILTERつまみと、このWHITE BALスイッチを調整時と同じ位置にすると、メモリーされた調整値が呼び出され、本機はその値に応じたホワイトバランスに自動調整されます。

メニューの表示モードが「3」（初期設定）に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面のWHITE BALスイッチ表示位置に表示されます。（例：「A」）

各部の名称と働き

撮影（記録）／再生機能部（2）



④ OUTPUT（出力信号切り替え）／AUTO KNEE スイッチ

カメラ部から VTR 部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

カメラが撮影している映像を選択しているときは、AUTO KNEE 機能を使うことができます。

FILM (CAM) MAIN MENU 2「CAMERA SW MODE」画面の AUTO KNEE SW 項目で、AUTO KNEE 機能の動作を選択することができます。（出荷時は、AUTO KNEE 機能が OFF に設定されています。）

■ OUTPUT/AUTO KNEE スイッチの設定位置

BARS	カラーバー信号が出力されます。 AUTO KNEE 回路は動作しません。 次のような場合にこの位置に設定します。 ・ビデオモニターを調整するとき。 ・カラーバー信号を記録するとき。
CAM. AUTO KNEE OFF	カメラで撮影している映像が出力されます。 AUTO KNEE 回路は動作しません。 初期設定では「MANUAL KNEE」になります。
CAM. AUTO KNEE ON	カメラで撮影している映像が出力されます。 AUTO KNEE 回路が動作します。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

⑤ GAIN（ゲイン切り替え）スイッチ

撮影時の照明の状態によって、映像アンプのゲインを切り替えます。L、M、H の設定に対応するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。なお、表示モードが「3」に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面のゲイン表示位置に表示されます。（例：「12dB」）

⑥ AUTO W/B BAL（ホワイトバランス／ブラックバランス自動調整）スイッチ

AWB：ホワイトバランスを自動調整するときに切り替えます。

このとき WHITE BAL スイッチ ③ を「A または B」にすると、調整された値がメモリー A またはメモリー B にメモリーされます。

ABB：ブラックバランスを自動調整します。

調整された値は、専用メモリーにメモリーされます。

FILM (CAM) MAIN MENU 4 の「OPTION」画面で SHD, ABB SW CTRL が「ON」に設定されているときに、8 秒間以上 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し続けると、ブラックシェーディングを自動的に補正します。

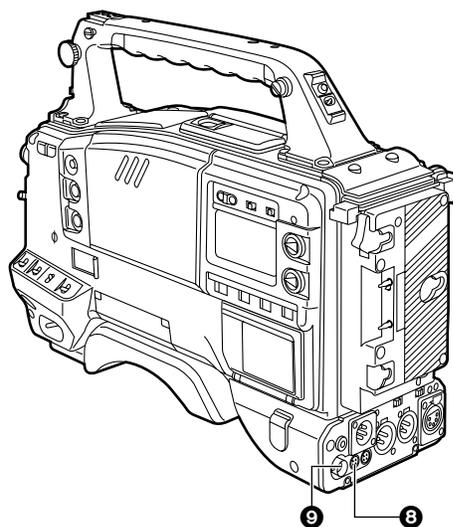
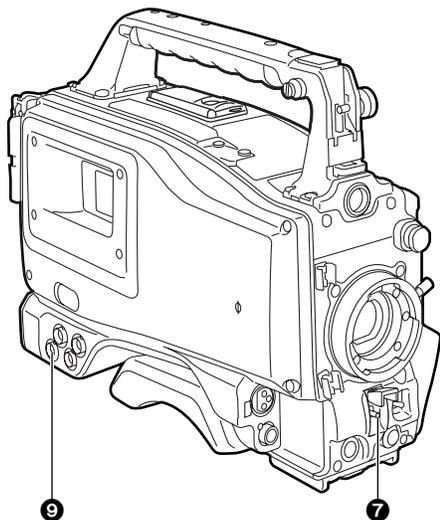
<ノート>

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度 AWB 側や ABB 側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。

このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

各部の名称と働き

撮影（記録）／再生機能部（3）



⑦ SHUTTER（シャッター）スイッチ

電子シャッターを使うときに「ON」にします。「SEL」側に押しすと、設定メニューであらかじめ設定した範囲で、シャッタースピードおよびモードの表示が切り替わります。

なお、表示モードが「2」または「3」に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面のシャッター表示位置に表示されます。（例：「1/120」、「50%」、「180d」）

⑧ ECU REMOTE（リモートコントロール）端子（6ピン）

エクステンションコントロールユニット AJ-EC3（別売品）を接続します。

<ノート>

リモートコントロールケーブルを接続するときや外すときは、本機とエクステンションコントロールユニットのPOWERスイッチを、必ず「OFF」にしてください。

⑨ HD SDI OUT 端子（BNC）

モニター用の HD SDI 信号（映像・音声）を、MONITOR OUT の SDI スイッチ ⑩ に連動して出力します。

SDI スイッチが「EE/PB」のとき、記録中は EE 映像と EE 音声を出し、再生中は再生映像と再生音声を出しします。

SDI スイッチが「EE」のときは、常にカメラ映像を出力します。

メニュー設定中は、CHARACTOR スイッチを「ON」にすることで、撮影している映像に重ねて設定メニューをモニター画面で確認することもできます。

また、HD SDI OUT 端子からは、ユーザズビットも出力されます。

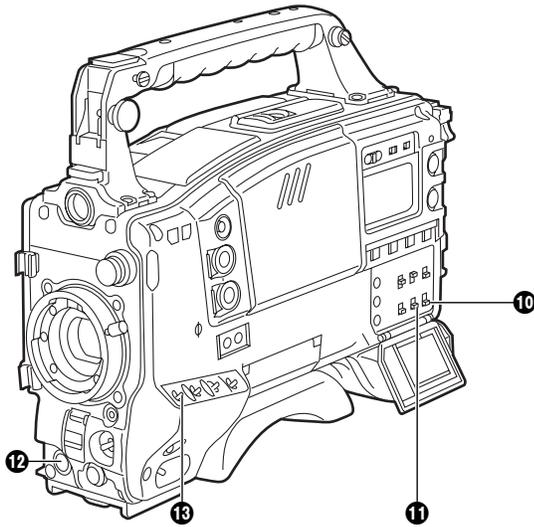
ユーザズビットの上位 4 桁には、アクティブフレームのカウント値が出力されます。カウント値は記録を開始する毎にゼロリセットされ、アクティブフレーム毎にカウントアップされていきます。ユーザズビットの最下位の桁には、アクティブフレーム情報が出力され、下位 3 桁目と 4 桁目には、フレームレート情報が出力されます。

<ノート>

HD SDI OUT 端子から出力される再生タイムコードと一致したタイムコードを、TC OUT 端子から出力させるには、SDI スイッチを「EE/PB」にし、TC/UB screen の TC OUT 項目を「TCG/TCR」に設定してください。

各部の名称と働き

撮影（記録）／再生機能部（4）



⑩ SDI スイッチ

HD SDI OUT 端子から出力する映像・音声信号と、AUDIO OUT 端子から出力する音声信号を切り替えます。

EE/PB：再生時は、再生映像と再生音声の信号を出力し、再生時以外は、EE 映像と EE 音声の信号を出力します。

EE：常に EE 映像と EE 音声の信号を出力します。

OFF：出力を停止します。（省電力モードとして有効です。）

<ノート>

- 出荷時の設定では、HD SDI OUT 端子にケーブルが接続されると、「OFF」の位置での機能が無効になります。
詳しくは、VTR MENU の「FUNCTION」画面（115 ページ）を参照してください。
なお、記録中は HD SDI OUT 出力の ON/OFF 切り替えができません。記録開始前の状態を維持します。
- フレーム周波数を 60.0Hz に設定したときに HD SDI OUT 端子から出力される音声信号は、VTR MENU の「MIC AUDIO」画面で制御できます。
また、フレーム周波数を 60.0Hz に設定したときは、HD SDI OUT 端子から出力される音声信号を正常に処理できない機器がありますのでご注意ください。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

⑪ CHARACTER スイッチ

HD SDI OUT 端子から出力する映像へのキャラクターの重畳を制御します。

ON：キャラクターを重畳します。

OFF：キャラクターを重畳しません。

⑫ VTR START ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、レンズ側の VTR ボタンと同じ働きをします。

⑬ VTR SAVE/STBY（テープ保護）スイッチ

VTR が記録を一時停止（REC PAUSE）しているときの、電源供給状態を切り替えます。

SAVE：テープ保護モードです。ハーフローディング状態でシリンダーを停止させています。

STBY 時より電力消費も少なく、バッテリーでの動作時間も長くなります。なお、VTR START ボタン ⑫ を押してからの記録開始までは、STBY 時より時間がかかります。

この位置にすると、ビューファインダー内の VTR SAVE ランプが点灯します。

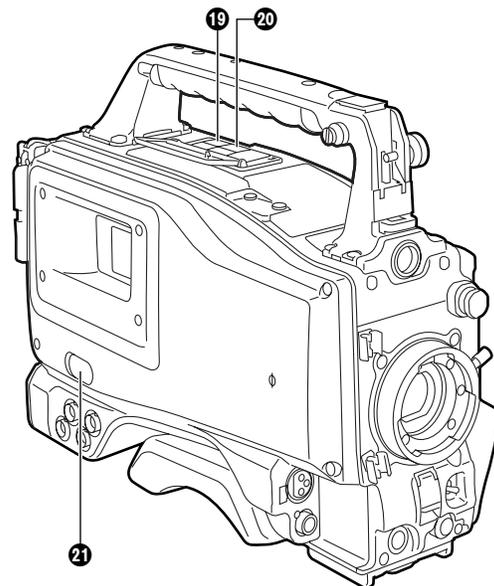
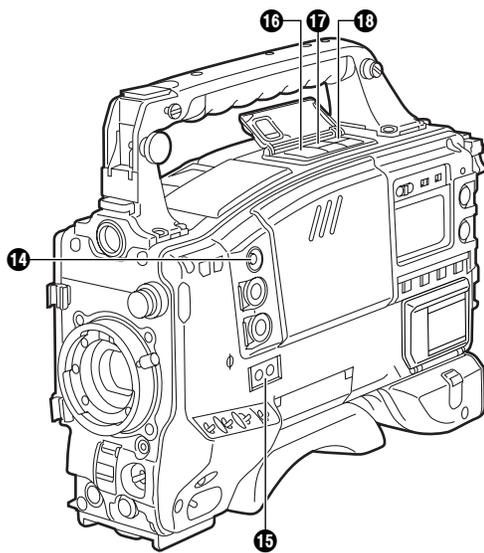
STBY：VTR START ボタンを押すと、すぐに記録が始まります。

<ノート>

STBY の状態で所定の時間が経過すると、本機は、自動的に SAVE 状態になります。再び STBY の状態に戻すには、この VTR SAVE/STBY スイッチを一度「SAVE」の位置にし、再度「STBY」の位置に戻してください。

各部の名称と働き

撮影（記録）／再生機能部（5）



⑭MODE CHECK ボタン

このボタンを押している間、カメラの設定状態がビューファインダーに表示されます。
カメラの出力信号には影響ありません。

⑮USER 1 / USER 2 ボタン

ユーザーの設定を、設定メニューでそれぞれのボタンに割り付けることができます。
ボタンを押すことで、割り付けられているユーザーの設定モードに切り替わります。
再度押すと、切り替わったモードが解除されます。

⑯EJECT（カセット取り出し）ボタン

カセットの挿入するときや、取り出すときに押します。

⑰REW（巻き戻し）ボタン

テープを巻き戻すときに押します。巻き戻し中はランプが点灯します。
再生中に押すと、ボタンを押している間だけ約2倍速で巻き戻し再生を行います。

⑱FF（早送り）ボタン

テープを早送りするときに押します。早送り中はランプが点灯します。
再生中に押すと、ボタンを押している間だけ約2倍速で早送り再生を行います。

⑲PLAY/PAUSE（再生／一時停止）ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に押すと、再生モードでの一時停止（PLAY PAUSE）となりランプが点滅します。さらに一時停止の状態が続くと、2分後には自動的に停止状態（STOP）になります。

⑳STOP（停止）ボタン

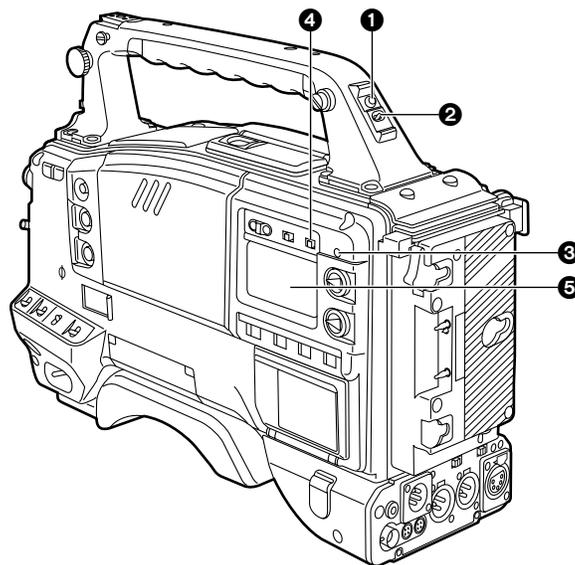
テープ走行を止めるときに押します。

㉑EMERGENCY スクリュー（ゴムキャップの内部）

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等でEMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

各部の名称と働き

警告／状態表示部



① バックタリーランプ (本機)

バックタリースイッチ ② を「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

② バックタリースイッチ

本機のバックタリーランプ ① をコントロールします。

ON : 本機のバックタリーランプが動作します。

OFF : 本機のバックタリーランプは動作しません。

③ WARNING ランプ

VTR 部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

④ LIGHT スイッチ

ON : 表示窓 ⑤ の照明をつけます。

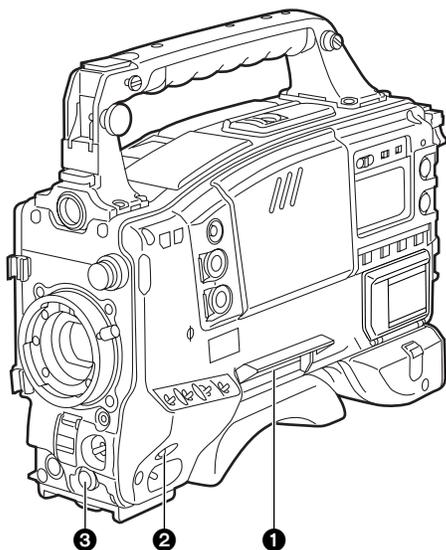
OFF : 表示窓の照明を消します。

⑤ 表示窓

VTR 部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

各部の名称と働き

メニュー操作部



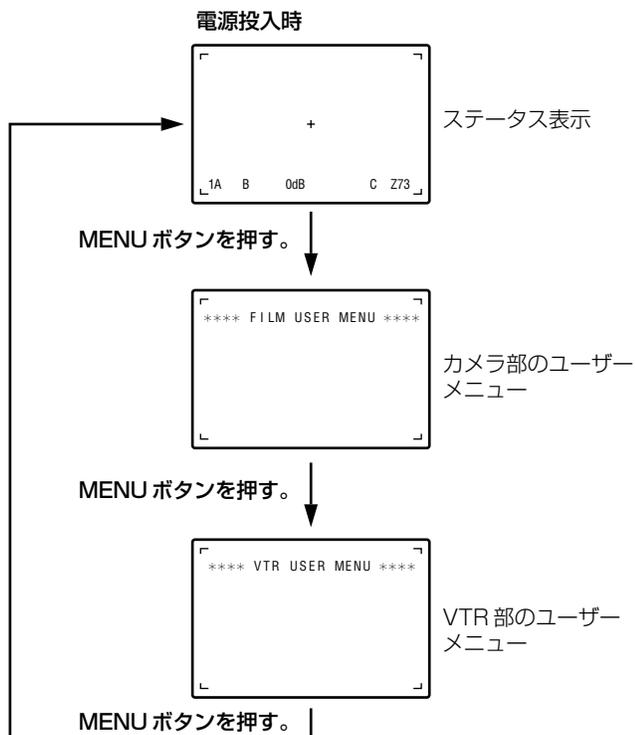
① セットアップカード挿入部

別売品のセットアップカードを挿入します。

② MENU ボタン

このボタンを押すと、出荷時に設定されたカメラ部のユーザーメニュー画面が表示されます。再度押すと VTR 部のユーザーメニュー画面が表示されます。

さらに押すと、メニュー画面の表示が消えます。ユーザーメニューへのメニュー選択は、USER MENU SELECT の画面で、変更が可能です。



③ JOG ダイヤルボタン

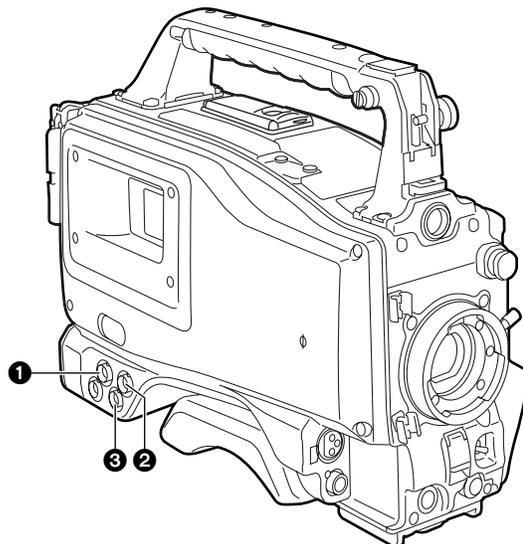
メニュー画面が表示されている状態でこのダイヤルボタンを回すと、各設定項目にカーソルが移動します。

メニューの設定は、このダイヤルボタンの操作によって行います。

メニューには、MAIN メニューと SUB メニューがあり、ページ単位で表示されます。

メニューの構成は、目的に応じて変更ができます。詳しいメニューの操作方法は、「メニュー操作」88～90 ページを参照してください。

タイムコード関連部 (1)



① GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部にゲンロックをかけるときや、タイムコードを外部ロックするときに、アナログ HD 基準信号をこの端子に入力します。

<ノート>

本機のフレーム周波数 (59.94Hz または 60.0Hz) と同じ周波数の基準信号を入力してください。

② TC IN 端子 (BNC)

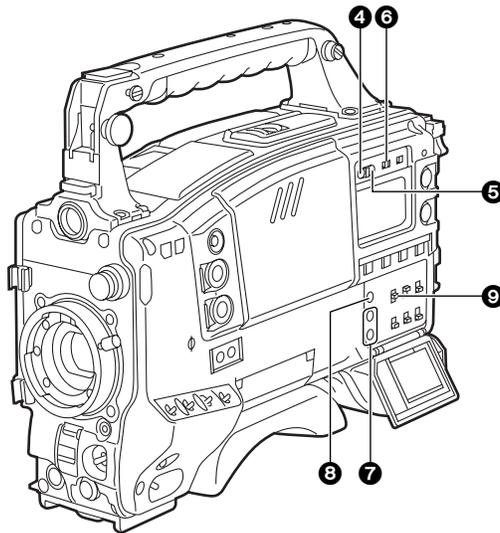
タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

③ TC OUT 端子 (BNC)

外部 VTR のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部 VTR のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

各部の名称と働き

タイムコード関連部 (2)



④ HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。(ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます。) 再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影した時刻を知りたいときなどに使用します。

<ノート>

DISPLAY スイッチ ⑥ が UB に設定されているときにこの HOLD ボタンを押すと、押している間カウンタ表示部の HOLD が点滅し、ビデオ AUX エリアに記録されている VITC のユーザーズビット情報をカウンタ表示部に表示する機能として動作します。

⑤ RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータを“00:00:00:00”にリセットします。また、TCG スイッチ ⑨ を「SET」の位置にしてこのボタンを押すと、タイムコードデータやユーザーズビットデータをそれぞれ“00:00:00:00”、“00:00:00:00”にリセットします。

⑥ DISPLAY スイッチ

このスイッチと TCG スイッチ ⑨ の設定位置に応じて、タイムコードや CTL、ユーザーズビットをカウンタ表示部に表示させます。

UB : ユーザーズビットを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTL を表示します。

⑦ +ボタン、-ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、SHIFT ボタン ⑧ で点滅させた桁の数値を1つずつ増減させます。

⑧ SHIFT ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、設定したい桁を点滅させます。

⑨ TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

F-RUN : VTR の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。

タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどこの位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときを使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。

つなぎ撮りをしたテープ上のタイムコードは、連続して記録されます。

電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたは AC 電源が使用できます。

バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、

- ・パナソニック製
- ・アントン・バウアー社製
- ・IDX 社製
- ・ソニー社製

のバッテリーが使用できます。

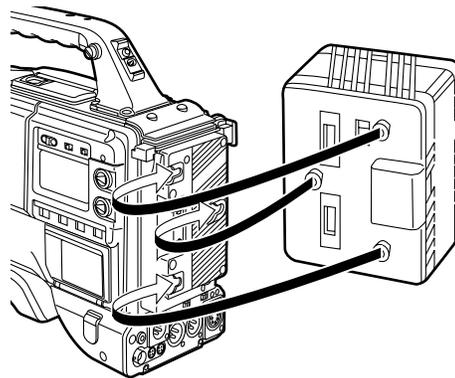
<ノート>

他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はできません。

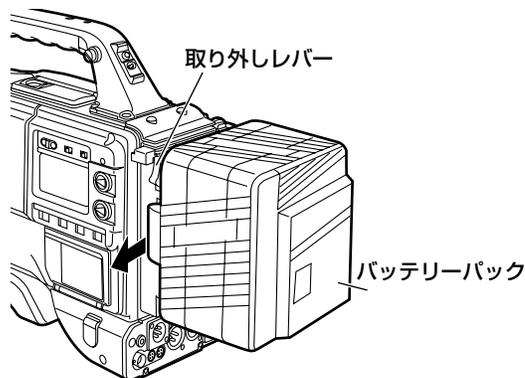
バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。
(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください。)

アントン・バウアー社製バッテリーパックの使用

- 1 バッテリーパックを取り付けます。
矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



- 2 バッテリーを取り外すときは、バッテリーマウントの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせてください。



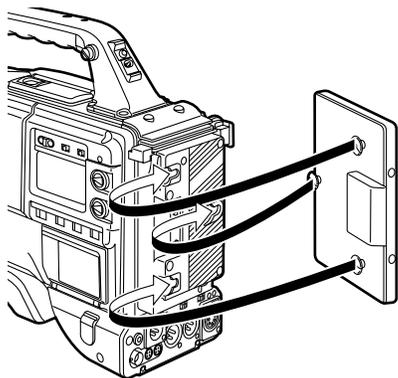
<ノート>

インテリジェントバッテリーシステム/ウルトラライトシステムに対応しています。
ビューファインダー内のバッテリー残量は、通常パーセント表示で表示されますが、バッテリー消耗間近になると、電圧表示に切り替わります。

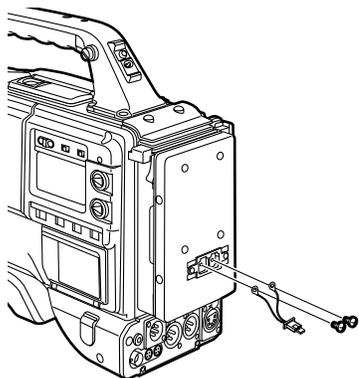
電源の供給

パナソニック製バッテリーパック AJ-BP490 の使用

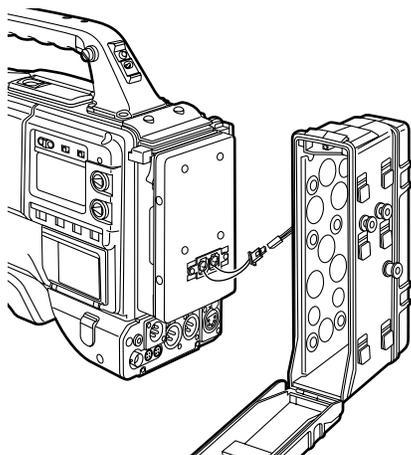
1 NP/BP アダプタープレートを取り付けます。矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



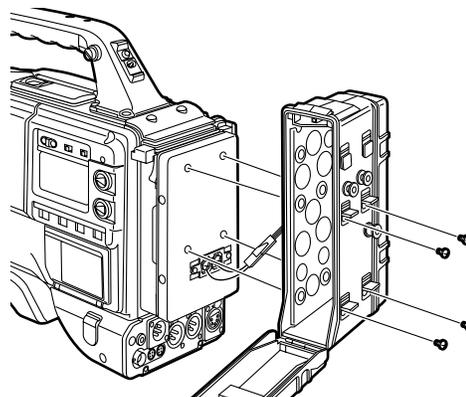
2 NP/BP アダプタープレートに付属されている接続端子を、図の位置に取り付けます。



3 接続端子とバッテリーケース AU-M402H のコネクタを接続します。



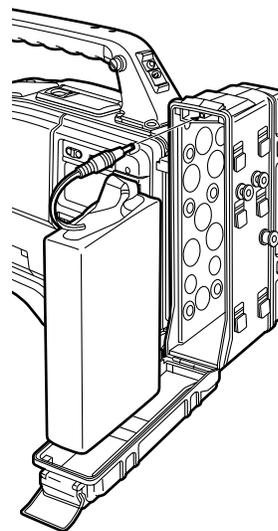
4 バッテリーケース AU-M402H を取り付けます。バッテリーケースのフタを開け、ゴムキャップ上に持ち上げると、ネジ穴が見えます。ドライバーでネジを締めて、ケースを NP/BP アダプタープレートに取り付けてください。ネジは最後まで正確に締めてください。



<ノート>

- ・ゴムキャップは強く引っ張らないでください。
- ・バッテリーケースを取り付ける時は、接続コードがガミ込まないように注意して取り付けてください。

5 バッテリーパックのプラグとケース内の端子を接続し、バッテリーパックを入れます。



<ノート>

プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

電源の供給

ソニー社製バッテリーパック NP-1/BP-90の使用

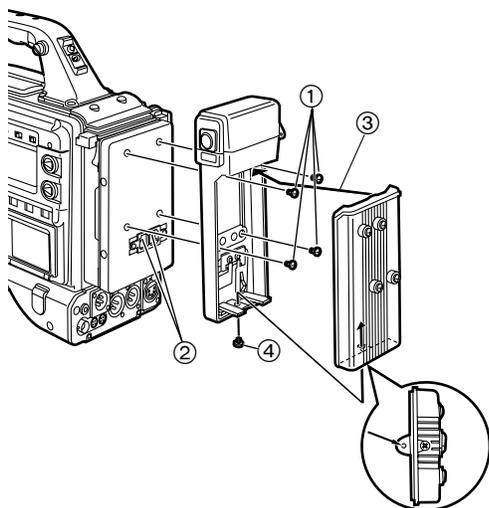
NP/BP アダプタープレートを取り付け、Sony バッテリーケースを取り付けます。

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

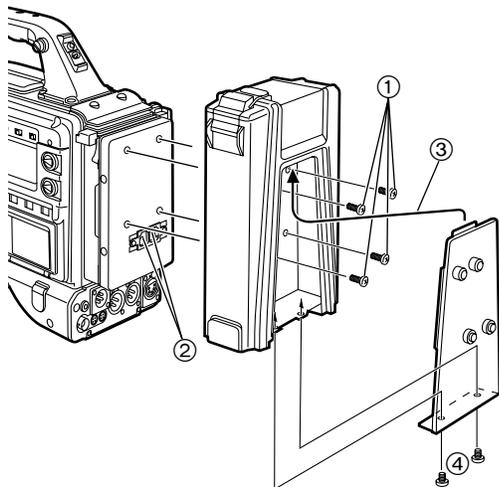
<ノート>

バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

NP-1 用バッテリーケース

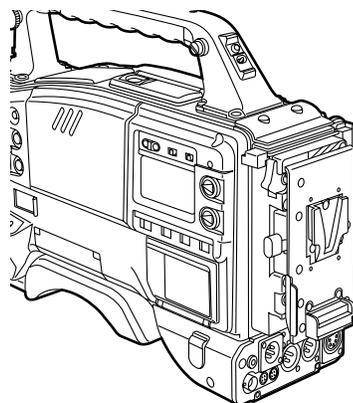
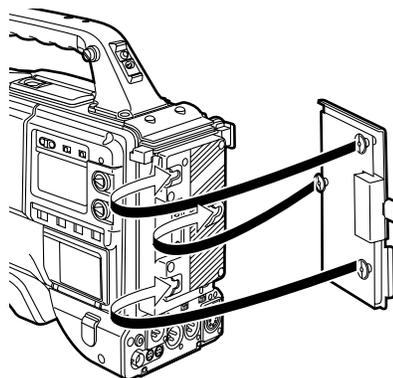


BP-90 用バッテリーケース



V-マウント方式バッテリーパック の使用

V-マウントアダプタープレートを取り付けます。矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



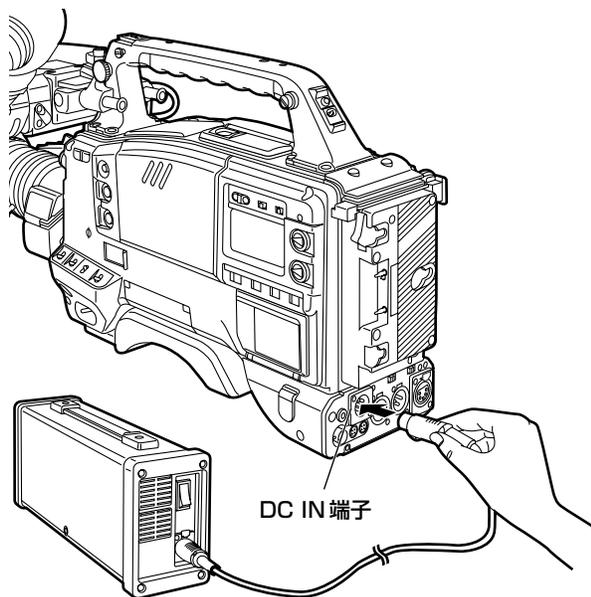
NP/BP アダプタープレートや V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源の供給

AC 電源の使用

AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合

1 本機の DC IN 端子と AC アダプタ AJ-B75 の DC OUT 端子を接続します。



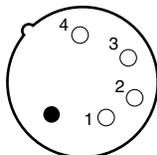
2 AC アダプタの電源を「ON」にします。

3 本機の POWER スイッチを「ON」にします。

< ノート >

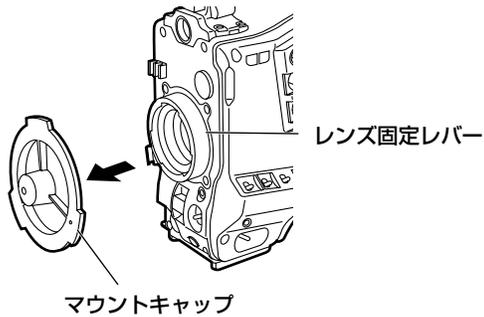
- ・ AC アダプタ AJ-B75 (DC12V、8.5A) 以外の外部電源を使用するときは、DC IN 端子のピン信号を確認してください。
誤って GND 端子に +12V の電源を加えると、発火して火災を起こしたり、けがをする恐れがあります。
- ・ バッテリーパックと AC アダプタの両方接続した場合は、AC アダプタの電源が優先されます。
- ・ AC アダプタを使用するときは、必ず AC アダプタの電源を「ON」にした後、本機の POWER スイッチを「ON」にしてください。
逆の操作を行った場合、AC アダプタの出力電圧がゆっくり立ち上がるために、本機が誤動作することがあります。

ピン番号	信号
1	GND
2、3	—
4	+12V

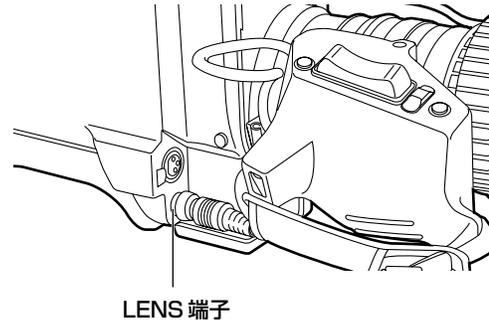


レンズの取り付け

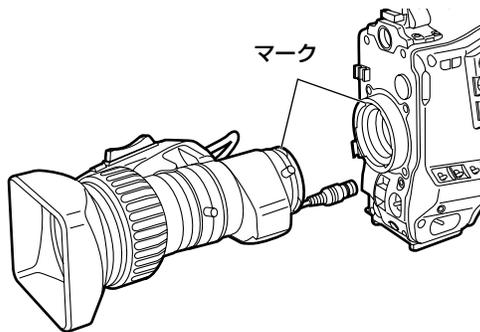
1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



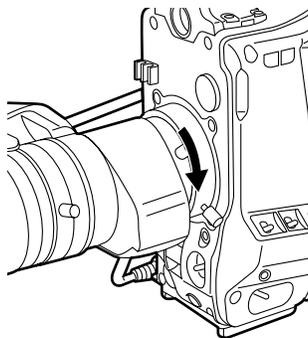
4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続します。



2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



<ノート>

- レンズの取り扱いについては、レンズに付属の取扱説明書をお読みください。
- 取り付けるレンズによって、下記のレンズ調整やカメラ調整が必要となることがあります。
 1. レンズのフランジバック調整
 2. レンズのオートアイリス動作スピード調整
 3. レンズのホワイトシェーディング調整（本機で調整）

レンズのフランジ調整

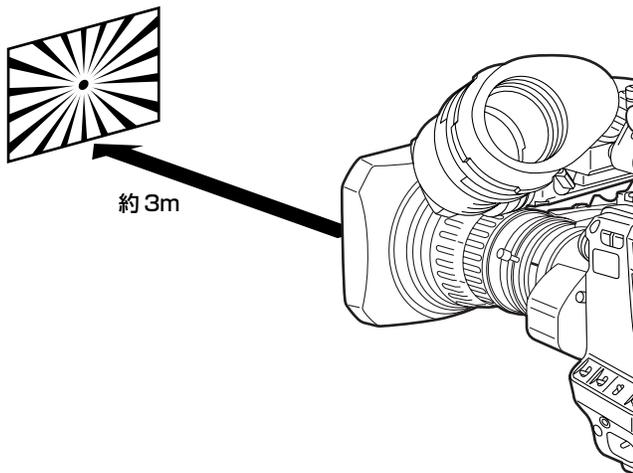
ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

調整方法

<ノート>

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。



- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。
- 3 フランジバック調整用チャートから3mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。
- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめます。
<ノート>
レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。
- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせます。
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

ホワイトシェーディング調整

本機には、ホワイトシェーディングの補正値をホワイトシェーディングファイルとして、8個まで記憶することができます。

このデータを使えば、レンズを取り替えても、適切なホワイトシェーディング調整を素早く再現することができます。

ホワイトシェーディング調整を再度行うときや、ホワイトシェーディングファイルを新しく作成する場合は、下記の要領で行ってください。

ホワイトシェーディングファイルの操作

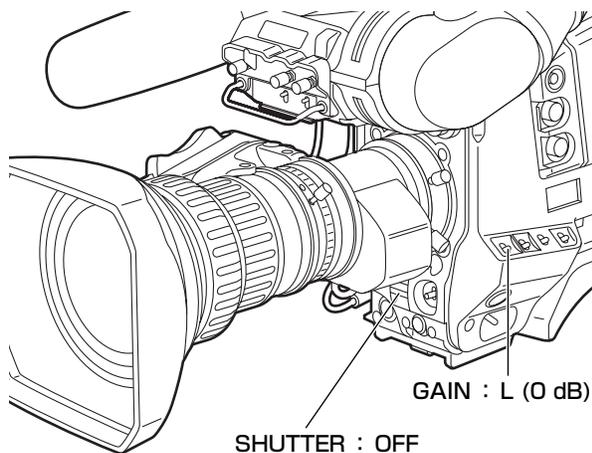
取り替えるレンズ毎のホワイトシェーディング調整値を記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作はメニューを用いて行います。

<ノート>

- 一般的なレンズでは、下記の方法でホワイトシェーディング調整が行えますが、極めて特殊なレンズの場合は、調整方法が異なる場合があります。
- ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放（open）付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

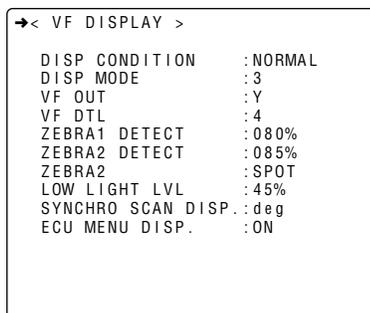
ホワイトシェーディング調整値の記憶

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L (0dB)」にします。

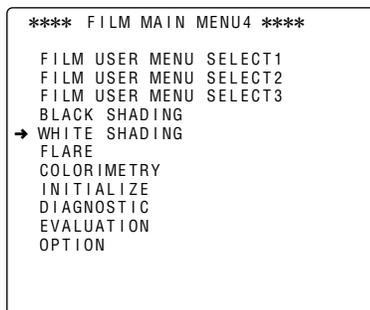


- 3 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を外してください。

- 4 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「VF DISPLAY」画面を開きます。



- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「ZEBRA1 DETECT」の項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、70%を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。
- 7 再度5・6と同様の操作を行い、ZEBRA2 DETECTを85%、ZEBRA2をSPOTに設定します。
- 8 矢印（カーソル）を<VF DISPLAY>の項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をFILM (CAM) MAIN MENU 2の項目に移動します。
- 10 FILM (CAM) MAIN MENU 4が表示するまでJOGダイヤルボタンを押し、JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WHITE SHADING」に移動してJOGダイヤルボタンを押します。

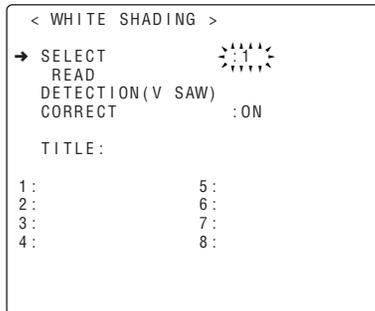


ホワイトシェーディング調整

ファイルNo. を選択する

11 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SELECT」項目に移動します。

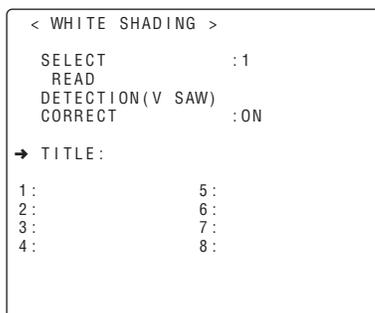
12 JOG ダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOG ダイヤルボタンを回して記録するファイル（1～8）を選択します。



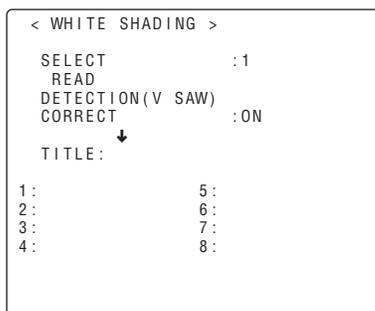
13 JOG ダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したファイルにタイトルを付ける

14 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE :」の項目に移動します。



15 JOG ダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。



16 再度 JOG ダイヤルボタンを押し、設定したい文字が現れるまで JOG ダイヤルボタンを回します。

JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース：□

↓
アルファベット：A～Z

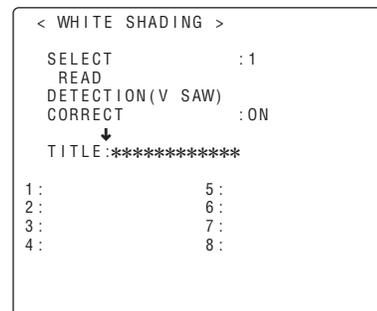
↓
数字：0～9

↓
記号：'、>、<、/、-、.、x
の順に切り替わります。

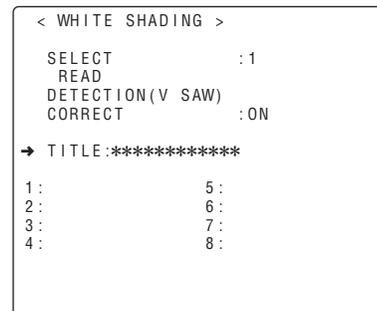
17 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

18 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、**16・17**の操作を繰り返して、文字を設定します。（12文字以内）

19 タイトルの入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



20 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。



21 MENU ボタンを2度押して、メニュー画面を閉じます。

ホワイトシェーディング調整

ホワイトシェーディングの調整を行う

22 ビューファインダーの ZEBRA スイッチを「ON」にします。

23 色ムラの無い白い紙を撮影します。

<ノート>

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

24 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体に ZEBRA がかかるように、レンズ絞りを調整します。

レンズ絞りが、F4～F11の間になっていることを確認してください。

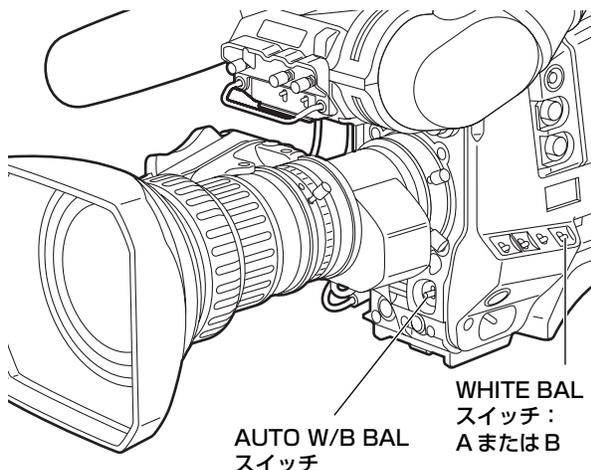
<ノート>

- 照明にムラがあると、画面の一部に ZEBRA がかかなくなりますが、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

25 ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。

② AUTO W/B BAL スイッチでブラックバランスの自動調整（ABB）を行います。

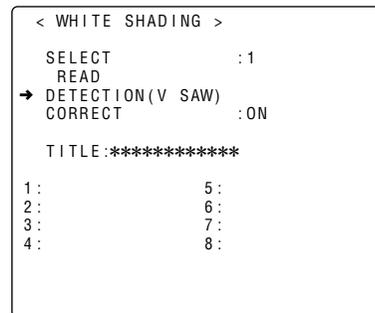
③ 再度 AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。



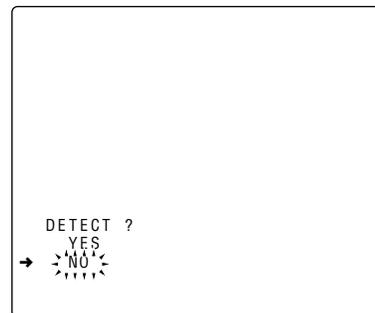
26 再度 **24** の操作を行います。

27 メニュー操作（88～90 ページ）を行い、CAM MAIN MANU 4 の「WHITE SHADING」画面を開きます。

28 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「DETECTION (V SAW)」の項目に移動します。



29 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



30 JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。

画面上に「ACTIVE」が表示され、ホワイトシェーディングの自動調整を行っていることを示します。

調整が終了すると「END」が表示されます。

31 調整が終了すると、MENU ボタンを 2 度押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

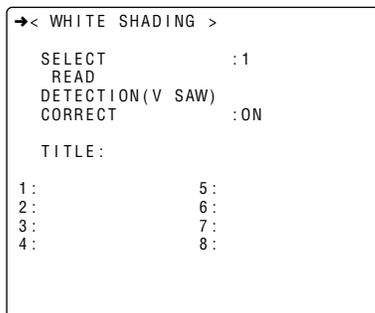
ホワイトシェーディング調整

32 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を入れて、再度**24**～**31**の操作を行います。
レンズエクステンダ機能がある場合と無い場合の両方の補正值が、1つのファイルに記憶されます。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。
調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

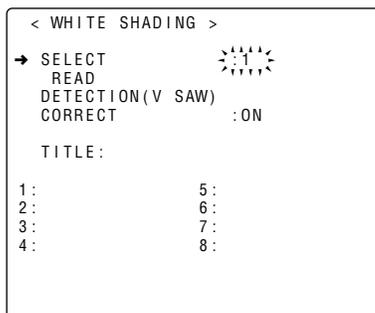
ホワイトシェーディングファイルの読み出し

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「WHITE SHADING」画面を開きます。



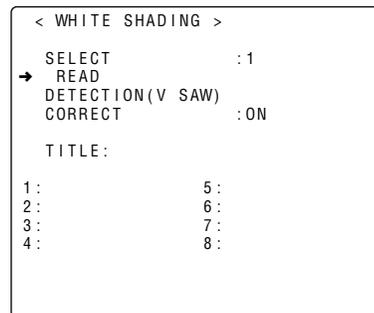
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SELECT」項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。

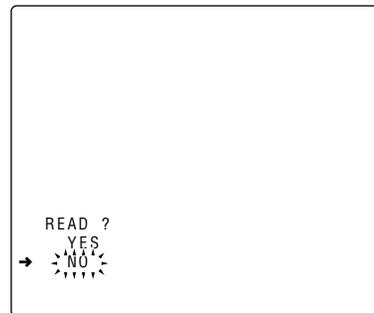


4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREADの項目に移動します。



6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
記録されているホワイトシェーディングファイルのデータが読み出されます。

8 MEMUボタンを2度押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ビューファインダーの調整 (ビューファインダーは別売品です。)

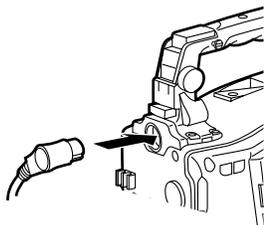
ビューファインダーの取り付け

1 カメラのPOWERスイッチが「OFF」であることを確認します。

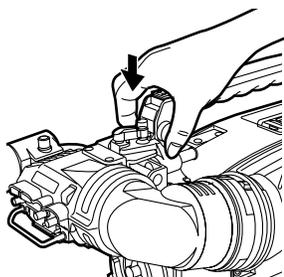
2 ビューファインダー接続端子にプラグを接続します。

<ノート>

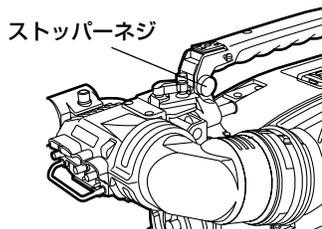
ビューファインダー接続端子にプラグを接続するときは、しっかり確実に押し込んでください。



3 ビューファインダーを押し下げます。



4 ストッパーネジを確実に締めます。



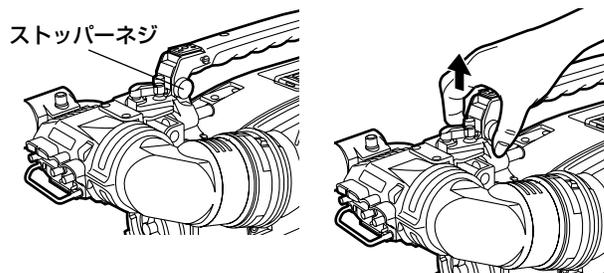
ビューファインダーの取り外し

1 カメラのPOWERスイッチが「OFF」であることを確認します。

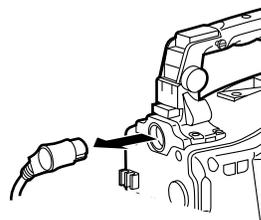
2 ストッパーネジを緩め、ビューファインダーを真上に引き上げて、抜き取ります。

<ノート>

ビューファインダーを抜き取る時は、両手で行ってください。片手ではスムーズに取り外すことができない場合があります、またファインダーが破損するおそれがあります。



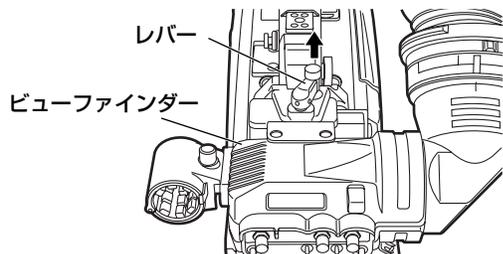
3 ビューファインダーケーブル端子からプラグを抜き取ります。



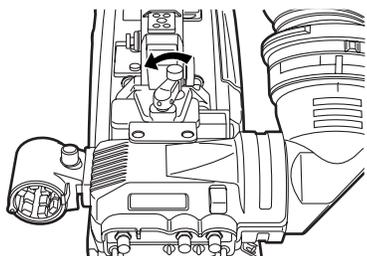
ビューファインダーの調整 (ビューファインダーは別売品です。)

位置調整

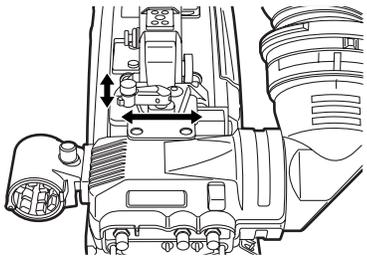
- 1 ビューファインダー前後左右位置固定レバーを引き上げるとロックがはずれます。



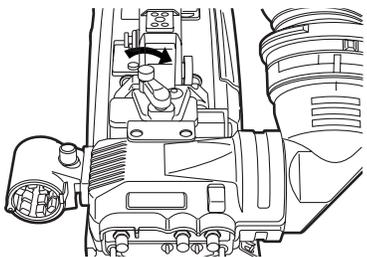
- 2 前後左右位置固定レバーをゆるめます。



- 3 ビューファインダーを前後左右に移動させ、位置を調整します。



- 4 ビューファインダー前後左右位置固定レバーをロック位置まで締めます。

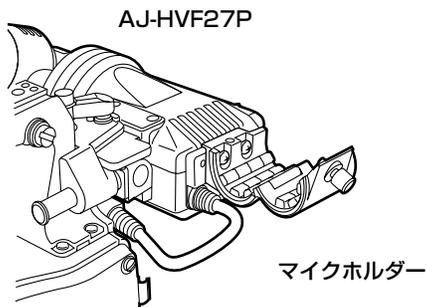


音声入力の準備

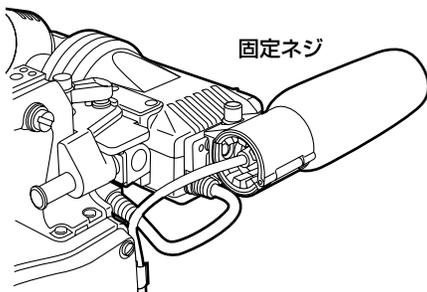
マイクをビューファインダー（別売品）に取り付けて使用する場合

マイクキット AJ-MC700P（別売品）のマイクを取り付けることができます。

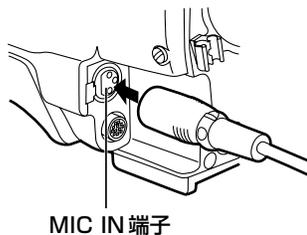
1 マイクホルダーを開きます。



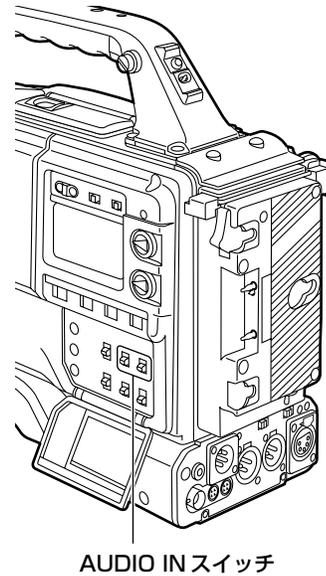
2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。



3 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。

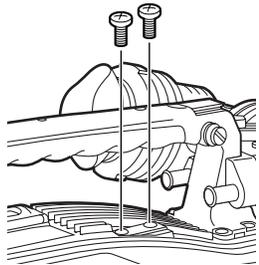


音声入力の準備

マイクを本体に取り付けて使用する場 合

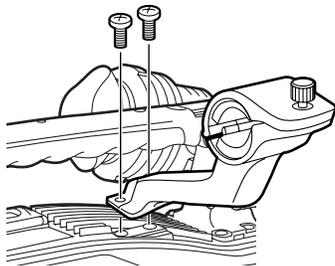
マイクホルダー AJ-MH700P (別売品) の取り付け

1 マイクホルダー取り付け用ネジを外します。

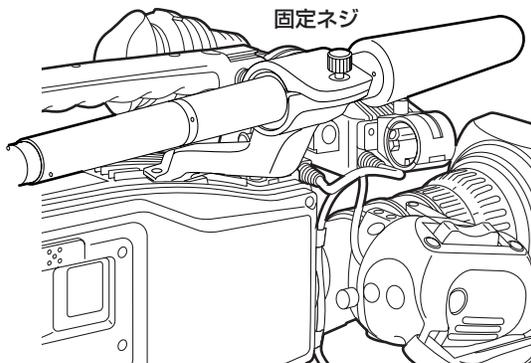


2 マイクホルダー AJ-MH700P (別売品) に付属のネジで、マイクホルダーを本体に取り付けます。

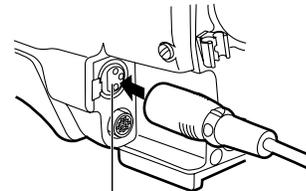
マイクホルダーに付属のネジ



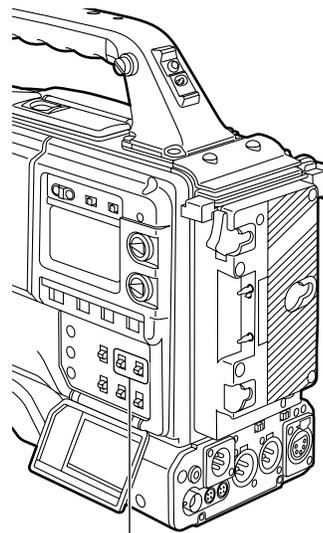
3 マイクをマイクホルダーに取り付け、固定ネジを締めます。



4 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



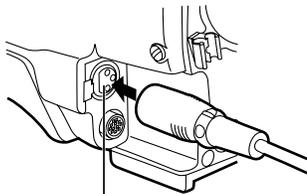
5 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。



音声入力の準備

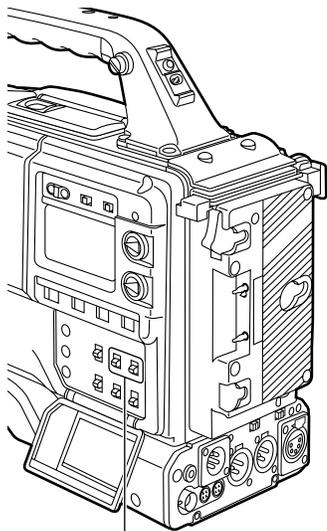
マイクを MIC IN 端子に接続する場合

- 1 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



MIC IN 端子

- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。



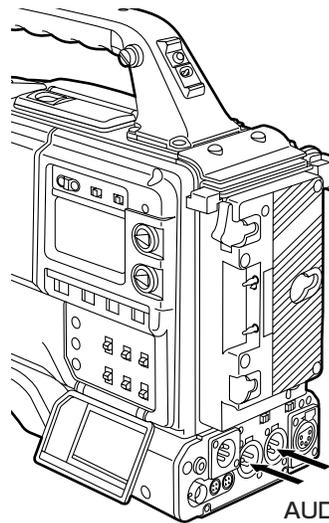
AUDIO IN スイッチ

<ノート>

マイクの接続ケーブルを延長する場合は、ファントム電源の給電方式に対応したケーブルを使用してください。

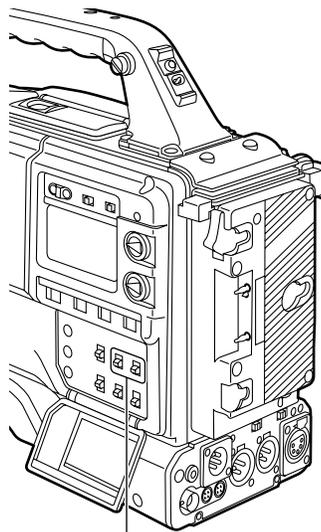
マイクを AUDIO IN 端子に接続する場合

- 1 マイクの接続ケーブルをカメラの AUDIO IN 端子に接続します。
CH1 と CH2 の 2 本まで接続できます。



AUDIO IN 端子

- 2 マイクを接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。



AUDIO IN スイッチ

<ノート>

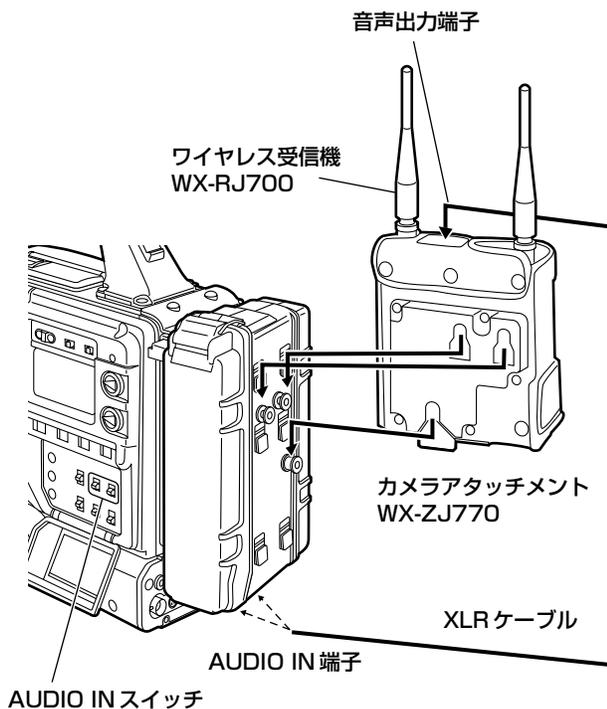
LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「+48V」にすると、ファントム電源の給電方式に対応します。

音声入力の準備

ワイヤレスマイクを使用する場合

パナソニックワイヤレスシステムを使用するときは、ワイヤレス受信機 WX-RJ700 を取り付けます。

- 1 ワイヤレス受信機 WX-RJ700 をカメラアタッチメント WX-ZJ770 に取り付けます。
- 2 バッテリーケース等のピンにカメラアタッチメントの溝を合わせて、ワイヤレス受信機を取り付けます。



- 3 ワイヤレス受信機とカメラの AUDIO IN 端子を XLR ケーブルで接続します。
- 4 XLR ケーブル接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。
- 5 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「MIC」に切り替えます。

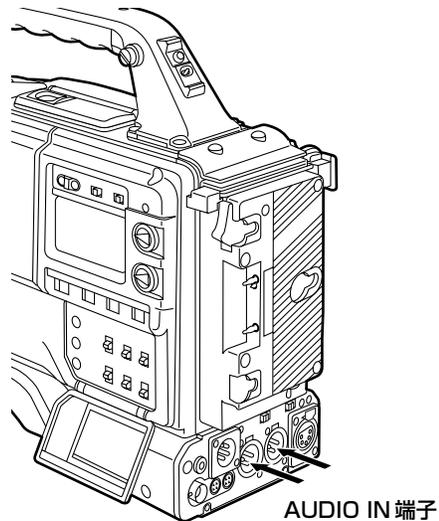
ワイヤレス受信機を取り外すときは、カメラアタッチメント底面のレバーを押し上げて取り外します。

<ノート>

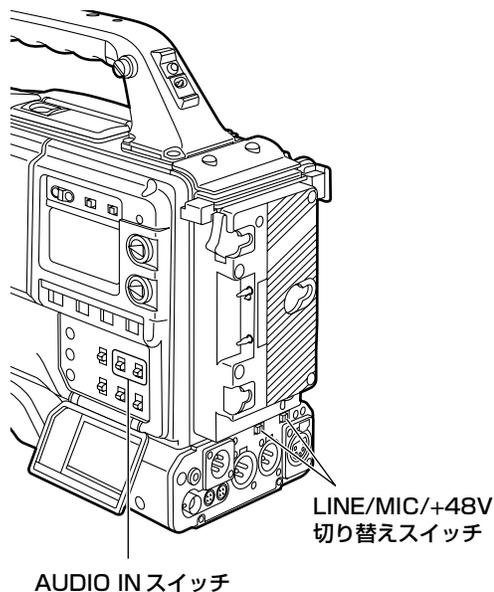
ワイヤレス受信機 WX-RJ700 の操作などについては、ワイヤレス受信機の取扱説明書をお読みください。

オーディオ機器を接続する場合

- 1 オーディオ機器とカメラの AUDIO IN 端子を XLR ケーブルで接続します。



- 2 XLR ケーブル接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。



三脚への取り付け

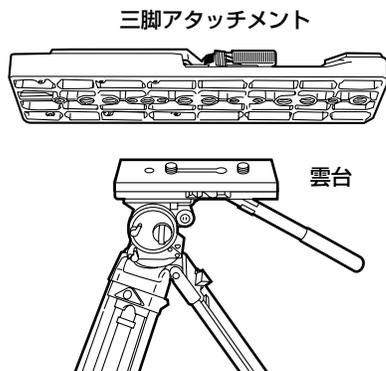
本機を三脚へ取り付ける場合は、別売品の三脚アタッチメントを使います。

1 三脚アタッチメントを、三脚に取り付けます。

<ノート>

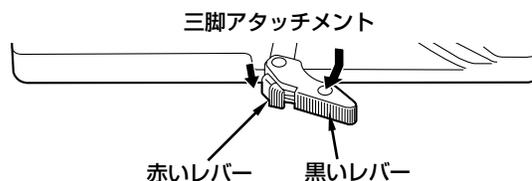
本機と三脚アタッチメントの重心を考慮して、アタッチメントの穴を選んでください。

また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。



本機を三脚アタッチメントから取り外す

赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。



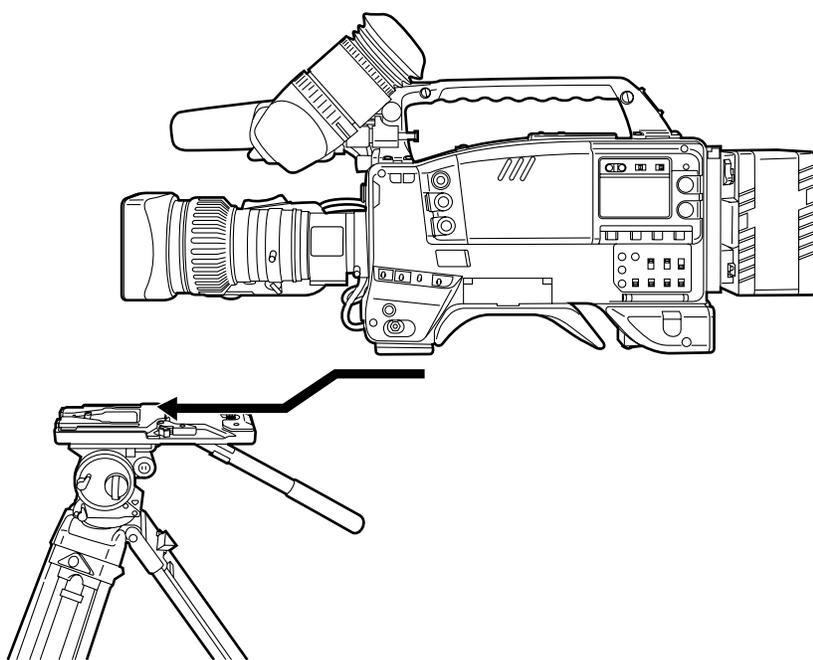
<ノート>

カメラを取り外した後、三脚アタッチメントのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。

ピンが中央に残ったままでは、カメラの取り付けができませんのでご注意ください。

2 カメラを三脚アタッチメントに取り付けます。

溝に沿って、カチッと音がするまでカメラを前方へ滑らせませす。

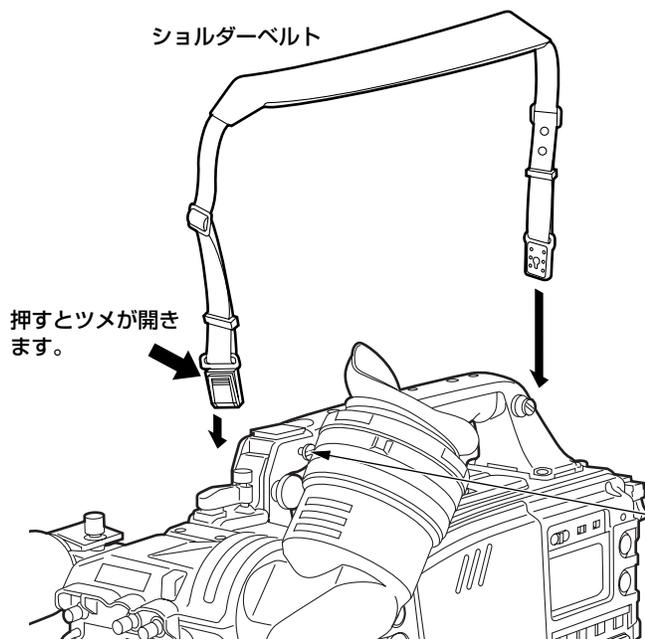


ショルダーベルトの取り付け

1 ショルダーベルト取り付けフックにショルダーベルトを取り付け、ベルトの長さを調節します。

<ノート>

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。



ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

押すとツメが開きます。



<ノート>

被写体の距離を測るときのメジャーを取り付けるフックです。
ショルダーベルト用のフックではありません。

ショルダーパッドの位置調整

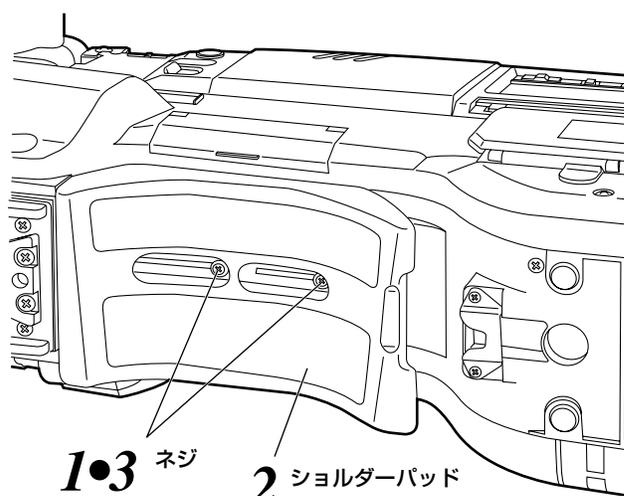
ショルダーパッドは、中央位置（出荷された状態）から前後方向に、それぞれ15mmの範囲でスライドさせることができます。

操作しやすいように、ショルダーパッドの位置を調節します。

1 ネジ2本をゆるめます。

2 前後方向にショルダーパッドをスライドさせ、適切な位置を選びます。

3 ネジを締め、ショルダーパッドを固定します。



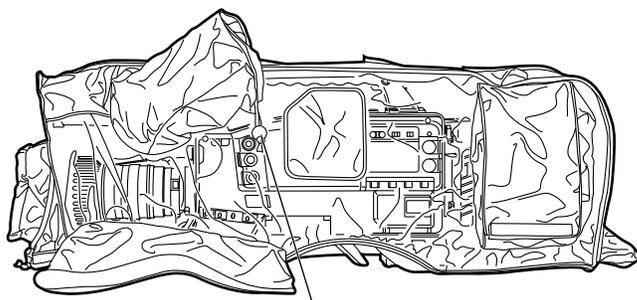
1・3 ネジ

2 ショルダーパッド

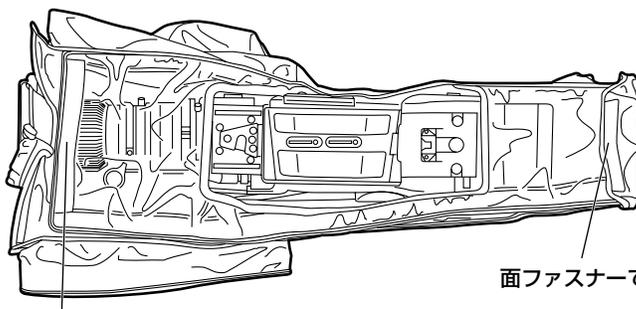
底 部

レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700 の使用例



ひもを締めます



面ファスナーで止めます。

面ファスナーで止めます。

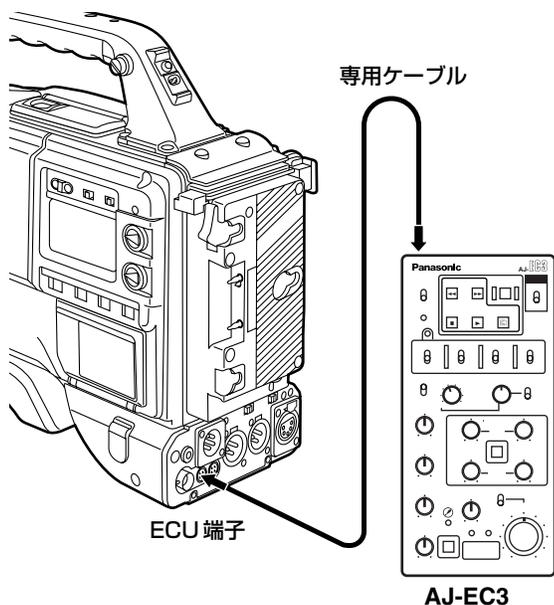
エクステンションコントロールユニットの接続

エクステンションコントロールユニット AJ-EC3 (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

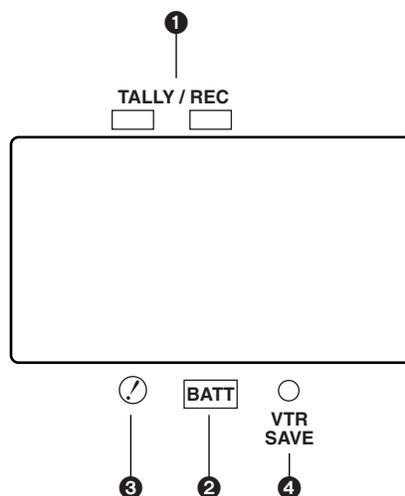
AJ-EC3 を接続して本機および、AJ-EC3 の POWER スイッチを「ON」にすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

<ノート>

- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機と AJ-EC3 の POWER スイッチを必ず「OFF」にしてください。
- FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「CAMERA SW MODE」画面の ECU DATA SAVE の設定が「OFF」の場合：
AJ-EC3 を使って行った調整や設定は、本機の POWER スイッチを「OFF」にすると全て取り消されます。また、セットアップカードへの書き込みもできません。
ただし、メニュー内容の設定は、セットアップカードへの書き込みが可能です。
再度、AJ-EC3 と接続されると、AJ-EC3 の設定値に戻ります。
- FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「CAMERA SW MODE」画面の ECU DATA SAVE の設定が「ON」の場合：
AJ-EC3 を使って行った調整や設定は、本機の POWER スイッチを「OFF」にしても消えません。



ビューファインダーのランプ表示



表示例は AJ-HVF27P の表示です。
(ビューファインダーに関する内容は、別売の
ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。)

① TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に点灯 (赤) します。
また、異常が発生したときには点滅します。
詳しくは、「警告システム」(127、128 ページ)
をお読みください。

② BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数
分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯しま
す。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間
近になる前に、バッテリーを交換してください。
詳しくは、「警告システム」(127、128 ページ)
をお読みください。

③ ① (変則動作状態警告) ランプ

設定メニューの「!LED」画面で「ON」に設定し
た項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯
します。
① ランプ表示の対象となる項目の選択について
は、「① ランプ表示の設定」(次ページ)をお読み
ください。

④ VTR SAVE (VTR 節電) ランプ

VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にすると点
灯します。
記録中は消灯します。

<ノート>

記録一時停止時は、自動的に SAVE 状態になり、
ポーズタイマー (一時停止時間) の設定時間にラ
ンプが点灯します。

また、再生一時停止 2 分後には、自動的に SAVE
状態になり、ランプが点灯します。

ビューファインダーのランプ表示

① ランプ表示の設定

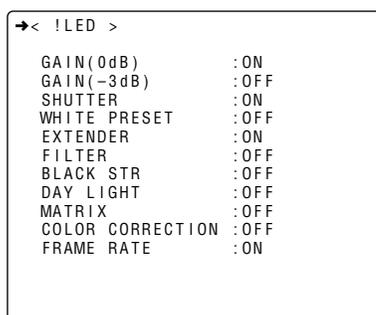
FILM (CAM) MAIN MENU2 画面の「!LED」画面の設定で、①ランプ表示の対象となる項目を選択します。(出荷時の設定では「!LED」画面は表示されません。)

「!LED」画面を操作するときは、本機をエンジニアモードメニューに切り替えるか、FILM (CAM) MAIN MENU 4 画面の「FILM (CAM) USER MENU SELECT 2」画面で「!LED」画面を選択します。

<ノート>

エンジニアモードメニューと表示画面の選択については、「メニュー操作」(88～90 ページ)をお読みください。

1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「!LED」の画面を開きます。



```
→< !LED >
GAIN(0dB)          : ON
GAIN(-3dB)         : OFF
SHUTTER            : ON
WHITE PRESET       : OFF
EXTENDER           : ON
FILTER             : OFF
BLACK STR          : OFF
DAY LIGHT          : OFF
MATRIX             : OFF
COLOR CORRECTION  : OFF
FRAME RATE        : ON
```

設定項目	設定内容
GAIN (0dB)	ゲインが「0dB」以外の値に設定されているときのランプ表示
GAIN (-3dB)	ゲインが「-3dB」以外の値に設定されているときのランプ表示
SHUTTER	SHUTTERスイッチが「ON」のときのランプ表示
WHITE PRESET	ホワイトバランスメモリーのチャンネルが「PRST」のときのランプ表示
EXTENDER	レンズエクステンダーが使用されているときのランプ表示
FILTER	フィルターが「3200K」以外の値に設定されているときのランプ表示
BLACK STR	ブラックストレッチが「ON」のときのランプ表示
DAY LIGHT (FILM MENU)	ホワイトバランスのプリセット値が DAY LIGHT のときのランプ表示
D5600K (CAM MENU)	ホワイトバランスのプリセット値が 5600K のときのランプ表示
MATRIX	マトリックスが「ON」のときのランプ表示
COLOR CORRECTION	COLOR CORRECTIONが「ON」のときのランプ表示
FRAME RATE	フレームレートが 11fps 以下に設定されているときのランプ表示

2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印 (カーソル) を希望する項目に移動します。

3 選択した項目について、JOG ダイアルボタンを押して、ビューファインダー画面への表示を設定します。

JOG ダイアルボタンを回して、表示 (ON) と非表示 (OFF) を選択し、JOG ダイアルボタンを押して確定します。

4 他の項目についても点灯/消灯を設定するときは、再度 **2・3** の操作を行います。

5 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すメッセージが表示されます。

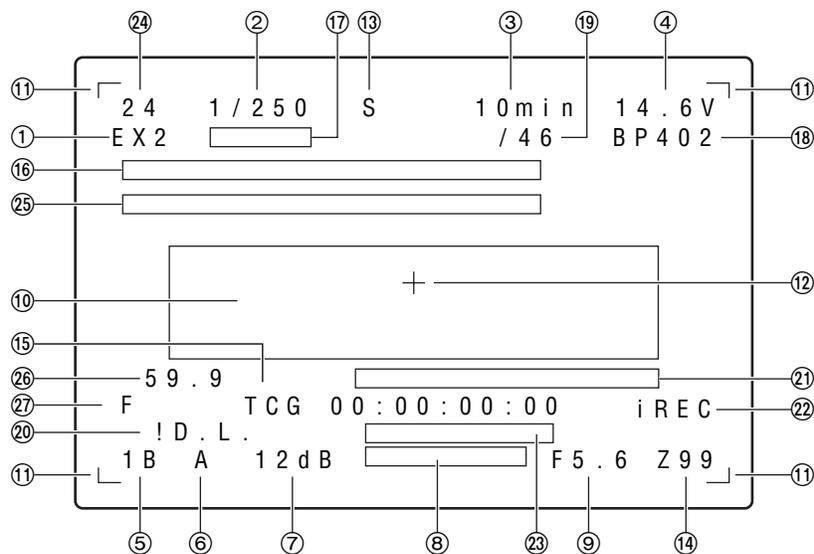
また、センターマーカ―やセーフティーゾーンマーカ―などが表示されます。

また、画面の上端と下端には、設定メニューのVF DISPLAY 画面や、ビューファインダー表示に関連するスイッチで「ON」に設定された項目が表示されます。

また、設定を変更したときや調整をしたときに、設定内容・調整の経過状態・調整結果を知らせるメッセージを約3秒間表示させることができます。

■ 表示項目と表示位置

- ① エクステンダー表示
- ② シャッタースピード／モード表示
- ③ テープ残量表示
- ④ バッテリー電圧表示
- ⑤ フィルター表示
- ⑥ ホワイトバランスメモリー表示
- ⑦ ゲイン値表示
- ⑧ 音声レベル表示
- ⑨ 絞り値表示
- ⑩ カメラ警告／情報表示
- ⑪ セーフティーゾーンマーカ―
- ⑫ センターマーカ―
- ⑬ スーパーアイリス ON 表示
- ⑭ ズーム位置表示
- ⑮ TCG 表示
- ⑯ マスターゲイン設定表示
- ⑰ 色温度表示 PRE/A/B
- ⑱ バッテリーの種類
- ⑲ 全テープ長さ
- ⑳ プリセット色温度表示
- ㉑ VTR 警告／情報表示
- ㉒ インターバル記録モード表示（点滅）
- ㉓ AUDIO CH1/CH2 入力表示
- ㉔ フレームレート情報表示
- ㉕ ランプ情報表示
- ㉖ フレーム周波数表示
- ㉗ 動作モード表示



ビューファインダー画面の状態表示

①エクステンダー表示

レンズエクステンダーが使用されているときに表示します。

②シャッタースピード/モード表示

シャッタースピードやシャッターモードの設定を表示します。

表示する単位は、FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「VF DISPLAY」画面で設定できます。

- **OFF (表示無し) :**
シャッター未使用
- **1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 (180d、172.8d、144d、120d、90d、45d) :**
固定モードでのシャッタースピード
- **3.0d ~ 350.0d/0.8% ~ 97.2% (SYNCHRO SCAN) :**
シンクロスキャンモードの選択
シンクロスキャンモードのときは、表示される数字の先頭位置に「▶」が表示されます。

③テープ残量表示

記録中、VTRのテープ残量(分)を表示します。テープ残量が2分以下になると、数値が点滅しなくなります。

④バッテリー電圧表示

使用中のバッテリー電圧(V)が表示されます。デジタルバッテリーの場合は、%で表示されます。

⑤フィルター表示

選択されているフィルターの種類を表示します。

⑥ホワイトバランスメモリー表示

選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーを表示します。

A : WHITE BAL スイッチが「A」に設定されています。

B : WHITE BAL スイッチが「B」に設定されています。

P : WHITE BAL スイッチが「PRST」に設定されています。

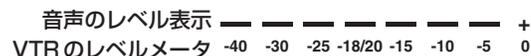
⑦ゲイン値表示

GAIN スイッチによる映像アンプのゲイン設定値(dB)を表示します。

⑧音声レベル表示

音声レベルを表示します。(音声 CH1/CH2 それぞれの表示が可能です。)

正弦波入力時、VTRのレベルメータの表示と、おおよそ次のように対応します。



⑨絞り値表示

絞り設定(Fナンバー)の概略値を表示します。

<ノート>

絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。

⑩カメラ警告/情報表示

ブラックバランス、ホワイトバランス、オート二機能、スーパーアイリス、スーパーゲインなどの警告表示や、その他のワーニングを表示します。

⑪セーフティーゾーンマーカー

ビューファインダー画面の面積80%または90%(出荷時の設定)の範囲を示します。

表示範囲の割合は、設定メニューのVF DISPLAY画面で設定します。

詳しくは、「マーカー表示の設定」(51ページ)をお読みください。

⑫センターマーカー

ビューファインダー画面中心を示します。

設定メニューのVF DISPLAY画面で表示のON/OFFを設定します。

⑬スーパーアイリスON表示

スーパーアイリスがONのとき「S」が表示されます。

⑭ズーム位置表示

ズームレンズのWIDE端からTEL端を0~99の数値で表示します。

⑮TCG表示

タイムコードジェネレータ値を表示します。

⑯マスターゲイン設定表示

MODE CHECK ボタンを押すと、現在設定されているGAIN L/M/Hの値を表示します。

⑰色温度表示PRE/A/B

ホワイトバランスメモリーAまたはBで、AWBを実行したときの色温度を表示します。

ビューファインダー画面の状態表示

⑱ バッテリーの種類

選択されているバッテリーの種類を表示します。

⑲ 全テープ長さ

カセットテープのテープ総量を表示します。

⑳ プリセット色温度表示

ホワイトバランスのプリセット値を表示します。

㉑ VTR 警告／情報表示

SLACK、REC WARNING、HUMID、SERVO、RF などの警告表示や、その他のワーニングを表示します。

㉒ インターバル記録モード表示

㉓ AUDIO CH1/CH2 入力表示

音声チャンネル 1/2 に記録する入力信号を表示します。

㉔ フレームレート情報表示

設定されたフレームレートを表示します。

㉕ ランプ情報表示

ランプが点灯したときの情報を表示します。

㉖ フレーム周波数表示

設定されたフレーム周波数（59.9Hz または 60.0Hz）を表示します。

㉗ 動作モード表示

設定された本機の動作モード（F：FILM または V：VIDEO）を表示します。

表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示させる項目は、FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「VF INDICATOR」画面と VTR MENU の「VTR VF INDICATOR」画面で、項目別に表示の ON/OFF を選択します。

選択できる項目

FILM (CAM) MENU の「VF INDICATOR」画面

- エクステンダー表示 (EXTENDER)
- シャッタースピード/モード表示 (SHUTTER)
- フィルター表示 (FILTER)
- ホワイトバランスメモリー表示 (WHITE)
- ゲイン値表示 (GAIN)
- 絞り値とスーパーアイリス ON 表示 (IRIS)
- カメラ ID 表示 (CAMERA ID)
- ズームポジション表示 (ZOOM LVL)
- 色温度表示 (COLOR TEMP)
- フレームレート表示 (FRAME RATE)
- ガンマカーブ表示 (VERSION ID)

<ノート>

カメラ ID は、OUTPUT/AUTO KNEE スイッチの設定により、カラーバーを記録するときに表示されます。

詳しくは、「カメラ ID の設定」(52 ページ)をお読みください。

```
→< VF INDICATOR >
EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS          :S+IRIS
CAMERA ID     :ON
ZOOM LVL     :OFF
COLOR TEMP    :ON
FRAME RATE    :ON
VERSION ID    :ON
```

ビューファインダー画面の状態表示

VTR MENU [VTR VF INDICATOR] 画面

- テープ残量表示 (TAPE)
- バッテリー残量表示 (BATTERY)
- レベルメータ表示 (LEVEL METER)
- タイムコード表示 (TC)
- VTR 警告表示 (VTR WARNING)
- SAVE ランプ表示 (SAVE LED)

```
→< VTR VF INDICATOR >
TAPE(IND)           :ON
BATTERY(IND)        :ON
LEVEL METER(IND)    :CH1
AUDIO IN(IND)       :OFF
TC(IND)             :OFF
VTR WARNING(IND)    :NORMAL
SAVE LED            :SAVE
```

表示項目を選択する

1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「VF INDICATOR」の画面を開きます。

```
→< VF INDICATOR >
EXTENDER           :ON
SHUTTER            :ON
FILTER             :ON
WHITE              :ON
GAIN               :ON
IRIS               :S+IRIS
CAMERA ID          :ON
ZOOM LVL           :OFF
COLOR TEMP         :ON
FRAME RATE         :ON
VERSION ID        :ON
```

```
→< VTR VF INDICATOR >
TAPE(IND)           :ON
BATTERY(IND)        :ON
LEVEL METER(IND)    :CH1
AUDIO IN(IND)       :OFF
TC(IND)             :OFF
VTR WARNING(IND)    :NORMAL
SAVE LED            :SAVE
```

2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を希望する項目に移動します。

3 選択した項目について、JOG ダイヤルボタンを押して、ビューファインダー画面への表示を設定します。

JOG ダイヤルボタンを回して、表示 (ON) / 非表示 (OFF) を選択し、JOG ダイヤルボタンを押して確定します。

4 他の項目についても点灯/消灯を設定するときは、再度 **2・3** の操作を行います。

5 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

表示モードと設定変更メッセージ

設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、表示される項目を一部に限定したり全く表示させなくすることができます。

設定変更／調整結果メッセージと表示モード

メッセージが表示される状況	メッセージ	表示モードの設定		
		1	2	3
フィルターの選択を変更したとき	フィルター：n (n=1, 2, 3, 4)、m (m=A, B, C, D)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN：n dB (n=-6, -3, 0, 3, 6, 9, 12, 18, 24, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE：n (n=ACH, BCH, PRESET)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき <ノート> 本機の電源を入れた直後にも約3秒間表示されます。	AUTO KNEE：ON (またはOFF)	×	○	○
シャッター速度/モードの設定を変更したとき	SS：1/100 (または1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, S.SCAN, 3.0d ~ 350.0d, 0.8% ~ 97.2%)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB: OK 詳しくは、「ホワイトバランスの調整」(55~58ページ)をお読みください。	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB: OK 詳しくは、「ブラックバランスの調整」(59ページ)をお読みください。	×	○	○

○：メッセージが表示されます。
×：メッセージが表示されません。

<ノート>

メッセージの表示は、他のメニュー設定の状態にもよります。

例えば、フィルターの選択を「1 (表示しない)」に設定していても、VF INDICATOR 画面で FILTER を「ON」に設定すると表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

表示モードを切り替える

表示モードの設定は、「VF DISPLAY」画面で切り替えます。

- 1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「VF DISPLAY」画面を開きます。

→< VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	:NORMAL
DISP MODE	:3
VF OUT	:Y
VF DTL	:4
ZEBRA1 DETECT	:080%
ZEBRA2 DETECT	:085%
ZEBRA2	:SPOT
LOW LIGHT LVL	:45%
SYNCHRO SCAN DISP.	:deg
ECU MENU DISP.	:ON

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「DISP MODE」の項目に移動します。

- 3 JOGダイヤルボタンを押して、希望する表示モードを設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、表示内容を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

- 4 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

マーカー表示の設定

センターマーカーとセーフティゾーンマーカーの表示は、「VF MARKER」画面で設定します。

- 1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「VF MARKER」画面を開きます。

→< VF MARKER >	
SAFETY ZONE	:3
CENTER MARK	:ON
FRAME SIG	:4:3
MARK	:OFF
LVL	:15

- 2 「VF DISPLAY」画面と同様の操作を行い、各項目を設定します。

ビューファインダー画面の状態表示

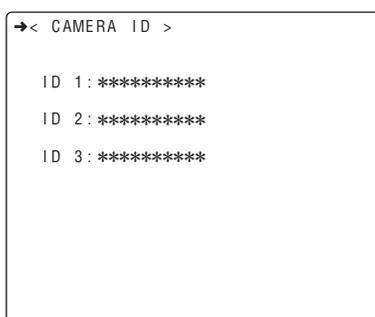
カメラIDの設定

カメラIDの設定は、「CAMERA ID」画面で設定します。
10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できません。

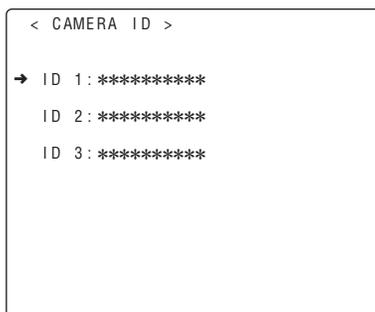
<ノート>

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラIDは表示されません。

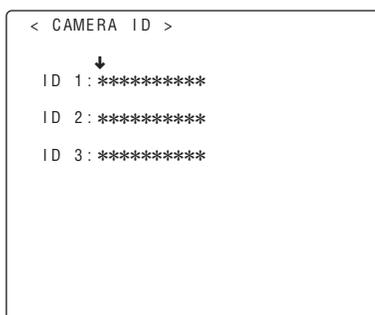
1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「CAMERA ID」画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~ 3 :」の項目に矢印（カーソル）を移動します。



3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がID入力エリアに移動して入力モードになります。



4 再度JOGダイヤルボタンを押し、設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：□



アルファベット：A～Z



数字：0～9



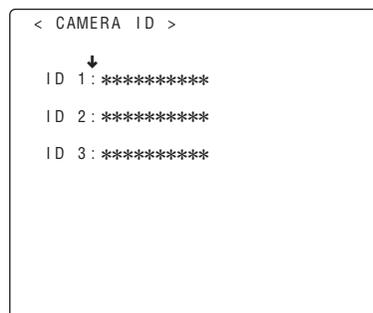
記号：'、>、<、/、_

の順に切り替わります。

5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、**4・5**の操作を繰り返して、文字を設定します。

7 文字の入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~ 3 :」の項目に戻ります。

9 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

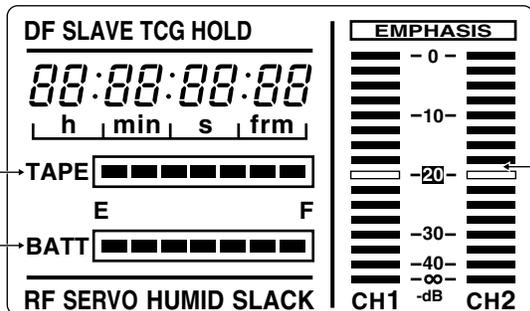
VF INDICATOR画面の「CAMERA ID」をONに設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。

ディスプレイ表示

バッテリー残量と音声レベルの表示

テープ残量表示

テープ残量を7個のセグメントで表示します。
1個のセグメントが示すテープ残量時間は、VTR MENU「BATTERY/TAPE」画面のTAPE REMAIN/■で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。(117ページ)



バッテリー残量表示

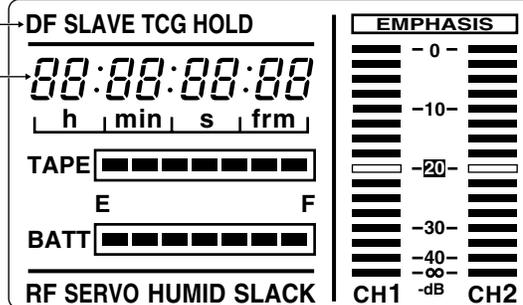
デジタル表示(%表示)のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときに「F」の位置までセグメントが7個点灯します。
バッテリー残量が70%未満より、10%減る毎にセグメントが1個ずつ消えていきます。

音声チャンネルレベルメータ

タイムコードに関する表示

タイムコード、CTL、実時刻のときに点灯

DF: ドロップフレームモード
SLAVE: タイムコードの外部ロック
HOLD: タイムコードジェネレータがホールド状態 (HOLD ボタンが押されたとき)



タイムカウンター表示

タイムコード、CTL、ユーザーズビット、実時刻を表示。表示される項目とスイッチの関係については、次項を参照してください。

タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

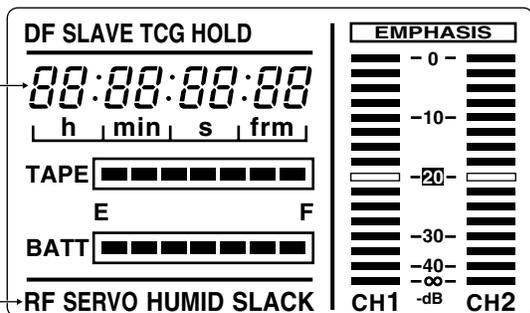
TCG スwitchの位置	DISPLAY スwitchの位置	表示項目
SET	TCまたは、CTL	タイムコード
	UB	ユーザーズビット
F-RUN または R-RUN	CTL	CTL
	TC	タイムコード
	UB	ユーザーズビット

<ノート>

DISPLAY スwitchがUB に設定されているときに HOLD ボタンを押すと、押している間カウンタ表示部の HOLD が点滅し、ビデオ AUX エリアに記録されている VITC のユーザーズビット情報を、カウンタ表示部に表示します。

エラーや警告に関する表示

エラーコード表示



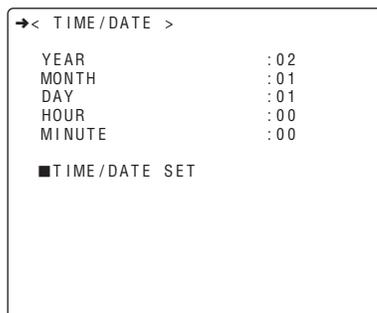
警告表示

RF: ビデオヘッドの目詰まり
SERVO: サーボの乱れ
HUMID: ヘッドドラムの結露発生
SLACK: テープの巻き取り異常

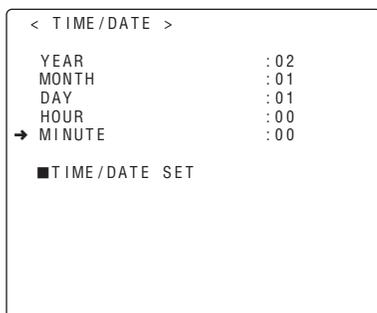
詳しくは「警告システム」(127、128ページ)をお読みください。

設定メニューによる調整とセットアップ

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、VTR MAIN MENUの「TIME/DATE」画面を開きます。

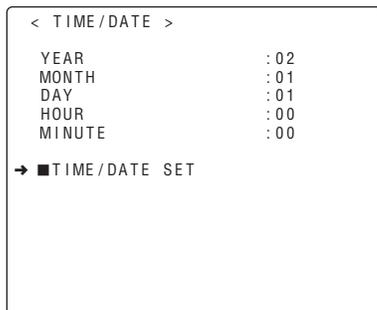


2 JOGダイヤルボタンを回して変更する項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。



3 JOGダイヤルボタンを回して設定値を変更し、JOGダイヤルボタンを押して設定値を確定します。

4 設定が終了すると、JOGダイヤルボタンを回して■TIME/DATE SETを選び、JOGダイヤルボタンを押します。



5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

秒設定は行えません。必ず0秒スタートになります。

ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスとブラックバランスの調整はAWB（ホワイトバランス調整）▶ABB（ブラックバランス調整）▶AWBの順に行った方がより良い画像を得られます。

ブラックバランスは、通常、電源を再投入した場合でも調整し直す必要はありません。

ホワイトバランスは、照明条件が変わったときには必ず調整し直して下さい。

表示モードが「2」や「3」に設定されている場合、ブラックバランスやホワイトバランスの調整を始めるとビューファインダー画面に、調整経過や結果を知らせるメッセージが表示されます。メッセージを表示させたくないときは、表示モードを「1」にして下さい。

- 表示モードの設定については、「表示モードと設定変更メッセージ」（50ページ）をお読み下さい。

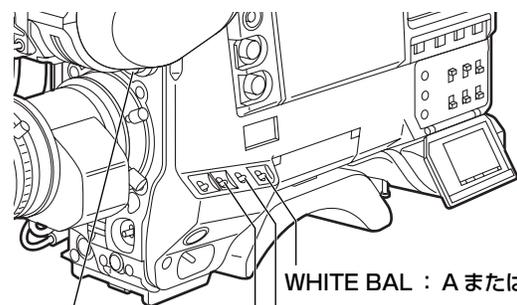
<ノート>

- FILM (CAM) MAIN MENU 1の「LOW SETTING」「MID SETTING」「HIGH SETTING」画面のMASTER GAIN値を変更したときや、USERボタンを使用してスーパーゲインの設定を変更したときや、「CAMERA SETTING」画面でのGAMMA (ON/OFF) を切り替えたときは、必ずABBを再実行してください。
- 人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、輝度が一定のように見えても、電源周波数に同期してR・G・B各色の強さが変化しています。特に電源周波数が50Hzの地域では、本機の垂直同期周波数（約60Hz）と照明の周波数（50Hz）が互いに干渉するため、色相が時間とともに変化する現象やフリッカーが生じ、正常にホワイトバランスをとることができません。

下記の表に示す設定でホワイトバランスをとることをおすすめします。

電源周波数	シャッター速度
50Hz	1/100
60Hz	OFF

1 図のようにスイッチを設定します。



OUTPUT : CAM

GAIN : 通常は0dB。

暗すぎるときには適切なゲインに設定します。

GAINおよびWHITE BALスイッチの設定を変更すると、ビューファインダー画面の設定変更メッセージに表示部に、設定した位置を知らせるメッセージが表示されます。（ただし、表示モードが「3」に設定されているときに限ります。）

2 照明条件に合わせて、FILTERつまみの設定を切り替えます。

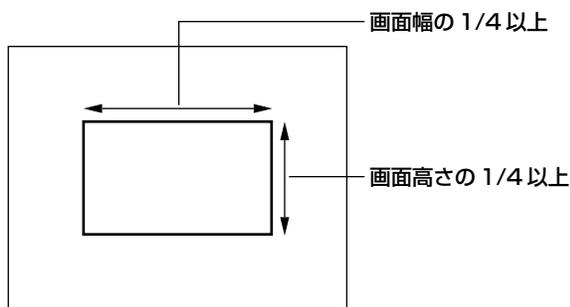
- FILTERつまみの設定例については「撮影・記録／再生機能部」のFILTERつまみ（17ページ）をお読みください。

FILTERつまみの設定を変更すると、ビューファインダー画面の設定変更メッセージに表示部に、設定した位置を知らせるメッセージが表示されます。（ただし、表示モードが「3」に設定されているときに限ります。）

ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

- 3** 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を写します。
被写体近くの白い物（白布、白壁）を代用することもできます。
必要な白の大きさは下図の通りです。

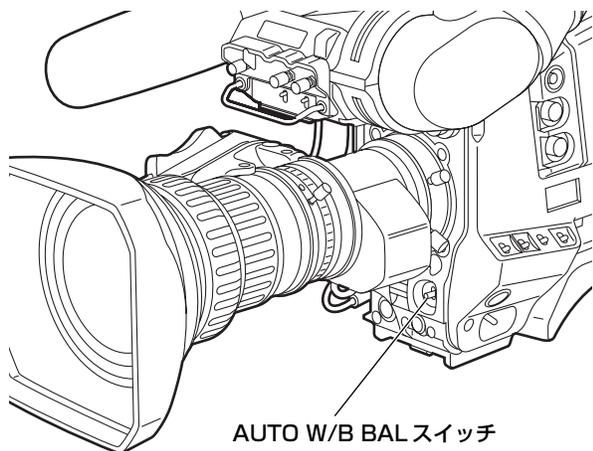


<ノート>

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。

- 4** レンズの絞りを調整します。

- 5** AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。



<ノート>

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（AWB ACTIVE）に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に切り替えると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

- 6** 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます（ただし、表示モードが「2」または「3」に設定されているとき）。



調整中のメッセージ

- 7** 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます。）
調整値は、ステップ 1 で設定したメモリー（A または B）に自動的に記憶されます。



調整終了時のメッセージ

- 8** 被写体の色温度が、2300K よりも低い場合や 5600K よりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。
矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。



2300K よりも低い場合



5600K よりも高い場合

<ノート>

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチングを起こすことがあります。レンズについている絞りのゲインつまみ（IG、IS、S などと表示されている）を調整してください。

・詳しくは、レンズの取扱説明書をお読みください。

ハンチング：

オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりします。

ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスの自動調整ができていないとき

ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示します。(表示モードが「2」または「3」に設定されているとき)

ホワイトバランスに調整に関するメッセージ

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
UNSTABLE CONDITION	撮影条件が不安定。(蛍光灯下、カメラ姿勢など)	フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件にする。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。

上記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、販売店にご相談ください。

<ノート>

AWBが調整できずに、NG表示になるときもまれにあります。この場合は、再度AWBを実行してください。

ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。FILTER つまみ (外側) の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスのメモリーについて

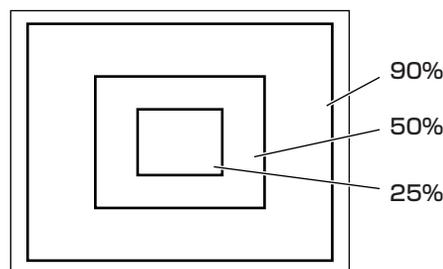
ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

FILM (CAM) MAIN MENU 2の「CAMERA SW MODE」画面でFILTER INHの設定が「ON」の場合(初期設定)、A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。

FILTER INHを「OFF」にすると、WHITE BAL スイッチの設定(AまたはB)に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個(4×2)の調整値を記憶します。

ホワイトバランスの検出領域について

FILM (CAM) MAIN MENU 4の「OPTION」画面でAWB AREAの設定でホワイトバランスの検出領域を「90%」、「50%」、「25%」に切り替えることができます。



本機をフィルムモードで使用する場合

CCフィルターの設定と被写体の色温度が大きく異なると、映像信号のダイナミックレンジを十分に生かせない場合があります。

CCフィルターの設定は、被写体の色温度に近い設定でを使用することをお奨めします。

ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

FILTER INHを「ON」にした場合

AWBを調整すると、その時の色温度とフィルター番号が表示されます。

次にフィルターを回すと色温度とフィルターの番号が表示されます。

この時、色温度表示している近傍の色温度で被写体が照明されていれば、ホワイトバランスはほぼ合っています。

(表示例)

AWB A OK 3.2K

照明色温度 3200K の被写体フィルター (B) で AWB を調整します。



フィルター (C) に変更します。



CC : C
4.3K

4.3K と表示されます。

(1) : フィルターで AWB を調整したことを示します。



この状態で被写体の色温度が 4.3K 近傍であれば、ホワイトバランスは合っているので使用することができます。



フィルター (B) に戻します。



3.2K

3.2K と表示され、初めに AWB を調整したときの状態を示します。

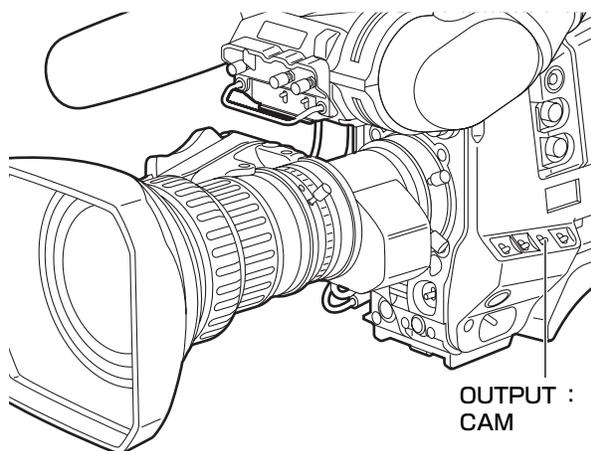
ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ブラックバランスの調整

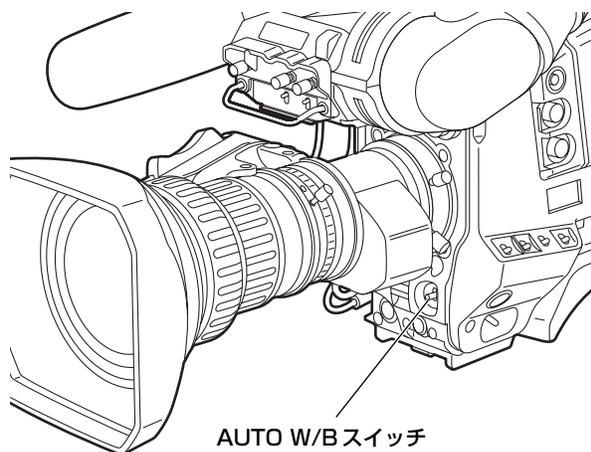
ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- USER ボタンを使用してスーパーゲインの設定をしたとき
- ガンマの ON/OFF を変更したとき
- フレームレートを変更したとき

1 図のようにスイッチを設定します。



2 AUTO W/B BAL スイッチを「ABB」側に倒した後、離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。



3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます（ただし、表示モードが「2」または「3」に設定されているとき）。

<ノート>

調整中はレンズ絞りが自動的に「CLOSE」になります。



調整中のメッセージ

4 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます。）

調整値は自動的にメモリーに記憶されます。



調整終了時のメッセージ

<ノート>

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りが「CLOSE」になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- ABB OK でもブラックシェーディングが気になる場合は、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「BLACK SHADING」画面を開いて、ブラックシェーディング調整を実行してください。（111ページを参照してください）
- スーパーゲインを「ON」にしているときは、ホワイトバランスメモリーのプリセット位置でブラックバランスが実行されます。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき（ABB ACTIVE）に、再度AUTO W/B BALスイッチをABB側に切り替えると、調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

設定できるシャッターモードとシャッタースピード

モード	シャッタースピード	用途
固定	POSITION 1～6	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合
SYNCHRO SCAN	開口角度 3.0° から 350.0° (フレームレートの 0.8%から 97.2%)	モニター画面を、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合

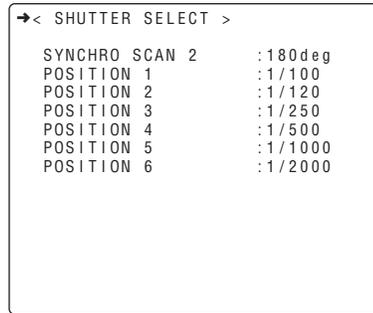
<ノート>

- 電子シャッターを、どのモードで使用してもシャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

シャッタースピードの登録

シャッタースピードは、あらかじめ FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「SHUTTER SELECT」画面で登録しておきます。

- 1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「SHUTTER SELECT」の画面を開きます。



- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を希望する項目に移動します。

- 3 JOG ダイヤルボタンを押して、使用するシャッタースピードを設定します。
JOG ダイヤルボタンを回して、ON/OFF を選択し、JOG ダイヤルボタンを押して確定します。

SYNCHRO SCAN 2 には、90.0～225.0deg (0.5deg 単位) の範囲で、固定したスピードを設定できます。

POSITION 1 から 6 には、6 段階のシャッタースピードが設定できます。

1/100秒、1/120秒、1/250秒、1/500、1/1000秒、1/2000秒
(または、180.0deg、172.8deg、144.0deg、120.0deg、90.0deg、45.0deg)

- 4 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

電子シャッターの設定

シャッターモード/スピードの設定

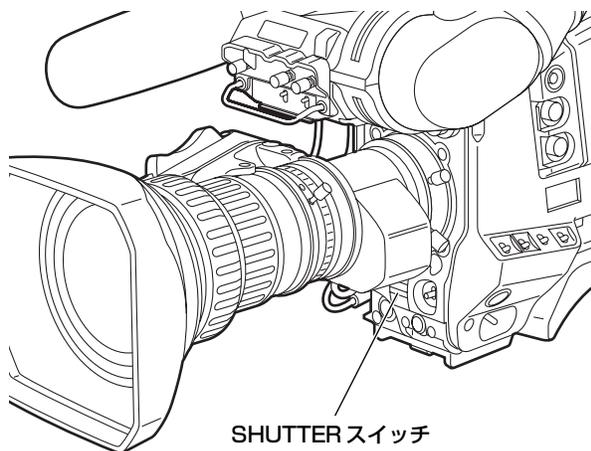
- シャッタースピードおよび固定モードにおけるシャッタースピードは、SHUTTER スイッチを切り替えて設定します。
- SYNCRO SCAN モードにおけるシャッタースピードは、SYNCRO (+、-) ボタンで簡単に変更することができます。
- FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「SHUTTER SPEED」画面でシャッタースピードの設定範囲に必要な範囲に制限したり、特殊操作モード (SYNCRO SCAN) を使用するかどうかを選択しておくことができます。

1 「表示モードを切り替える」(51 ページ) の操作にしたがい、FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「VF DISPLAY」画面で DISP MODE を「2」または「3」に設定します。

2 SHUTTER スイッチを、「ON」から「SEL」側に押します。

ビューファインダー画面の設定変更メッセージ表示部に、シャッターの現在の設定が表示されます。

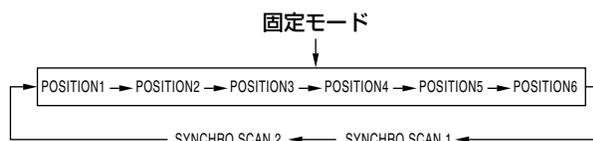
例：「1/120」、「50.0%」など。



3 もう一度 SHUTTER スイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードが表示されるまで繰り返します。

全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。

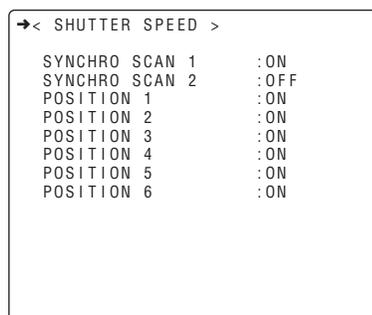
あらかじめ必要なシャッタースピードとモードを指定している場合は、指定したスピードまたは、モードだけが表示されます。



シャッタースピード/モードの選択範囲を変える

シャッタースピードの選択範囲を制限したり、特殊動作モードを使用するかどうかを、FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「SHUTTER SPEED」画面で選択できます。

1 メニュー操作 (88 ~ 90 ページ) を行い、「SHUTTER SPEED」の画面を開きます。



2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を希望する項目に移動します。

3 JOG ダイヤルボタンを押して、使用する項目を設定します。

JOG ダイヤルボタンを回して、ON/OFF を選択し、JOG ダイヤルボタンを押して確定します。

4 メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

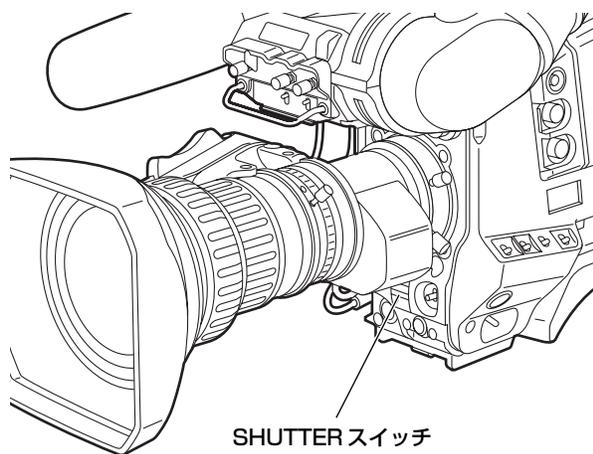
<ノート>

- 本機をエクステンションコントロールユニット AJ-EC3 (別売品) から操作する場合は、本機で SHUTTER SPEED 画面を操作しても、実際のシャッタースピードは AJ-EC3 のスイッチが優先されます。
- エンジニアモードと表示画面の選択については、「メニュー操作」(88 ~ 90 ページ) をお読みください。

電子シャッターの設定

シンクロスキャンモードの設定

- 1 SHUTTERスイッチを、「ON」から「SEL」側に押し、SYNCRO SCANに設定します。



- 2 SYNCRO SCANモード時は、SYNCRO (+、-) ボタンを押して、3.0deg ~ 350.0deg (0.8% ~ 97.2%) の範囲内で連続的に切り替えることができます。

シャッタースピード表示の切り替え

本機では、ビューファインダー画面に表示する SYNCRO SCAN の単位を「1/*** (秒)」、「***%」、「***d (角度)」に FILM (CAM) MAIN MENU 2 の「VF DISPLAY」画面で切り替えることができます。

- 1 メニュー操作 (88 ~ 90 ページ) を行い、「VF DISPLAY」の画面を開きます。

```
<< VF DISPLAY >>
DISP CONDITION :NORMAL
DISP MODE      :3
VF OUT         :Y
VF DTL         :4
ZEBRA1 DETECT  :070%
ZEBRA2 DETECT  :085%
ZEBRA2         :SPOT
LOW LIGHT LVL  :45%
SYNCHRO SCAN DISP.:deg
ECU MENU DISP. :ON
```

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「SYNCHRO SCAN DISP.」の項目に移動します。

```
< VF DISPLAY >
DISP CONDITION :NORMAL
DISP MODE      :3
VF OUT         :Y
VF DTL         :4
ZEBRA1 DETECT  :070%
ZEBRA2 DETECT  :085%
ZEBRA2         :SPOT
LOW LIGHT LVL  :45%
→ SYNCHRO SCAN DISP.:deg
ECU MENU DISP. :ON
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押して、SYNCRO SCAN の表示モードを設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、表示内容を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

sec (秒) : 1/***
% : *** %
deg (角度) : *** d

例)

フレームレートを 24fps に設定し、露出時間を半分に設定する場合：

$$1/48\text{sec} = 50\% = 180\text{deg}$$

- 4 メニュー操作を終了するとき、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

フィルムトーンガンマ

本機では、2種類のシネガンマ（フィルム用/ビデオ用）と従来のビデオガンマ、計3種類のガンマカーブを搭載しており、用途に合わせて選択が可能です。

FILM (CAM) MAIN MENU 4「OPTION」画面のCAM MENU SEL項目で、フィルムモードとビデオモードを切り替えることができます。

フィルムモードには、2種類のシネガンマ（フィルム用/ビデオ用）があります。FILM MAIN MENU 1の「GAMMA」画面CINE GAMMA SEL項目で、2種類のガンマを選択できます。

ビデオモード (VIDEO MENU)

テープに記録した映像を、ビデオ機器で再生する場合に最適なモードです。

従来のビデオガンマ特性を用いて、映像処理を行います。

フィルムモード (FILM MENU)

2種類のフィルムライクな映像を得ることができます。

FILM REC (フィルム用：フィルムガンマ)

テープに記録された映像を、フィルムに焼き付けて上映する場合に最適なモードです。

独自で開発したフィルム用シネガンマ特性を用いて、映像処理を行います。

VIDEO REC (ビデオ用：フィルムトーンガンマ)

テープに記録された映像を、ビデオ機器で再生する場合でも、広いダイナミックレンジを確保することで、従来のビデオよりもフィルム映像に近いモードで再生できます。

独自で開発したビデオ用シネガンマ特性を用いて、映像処理を行います。

メニューの設定値は、フィルムモードとビデオモードの設定が、それぞれに保存されます。

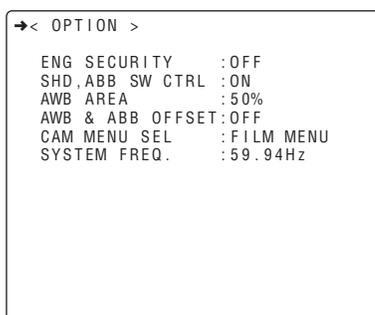
フレーム周波数の切り替え

本機は、フレーム周波数を60.0Hzと59.94Hzに切り替えることができます。

映像方式の違う地域でも対応できます。

FILM (CAM) MAIN MENU 4の「OPTION」画面で、フレーム周波数を切り替えることができます。

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、「OPTION」の画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SYSTEM FREQ」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押して、使用する項目を設定します。

JOGダイヤルボタンを回して、周波数を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

このとき **TURN OFF POWER** が点滅して表示されます。

4 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

5 一度POWERスイッチを「OFF」にして電源を切ります。

再度電源を「ON」にしたときにフレーム周波数が切り替わります。

MODE CHECKボタンを押して、フレーム周波数が切り替わったことを確認してください。

バリアブルフレームレート

本機は、フレームレート（撮影速度）を4fpsから60fpsに設定することができます。

テープへの記録やHD SDI OUT 端子への出力は、720P/59.94Hzまたは720P/60.00Hzフォーマットで行われますので、より鮮明なスロー映像やBlur効果が表現でき、今までフィルム制作でしかできなかった映像の世界を、ビデオ制作で実現することができます。

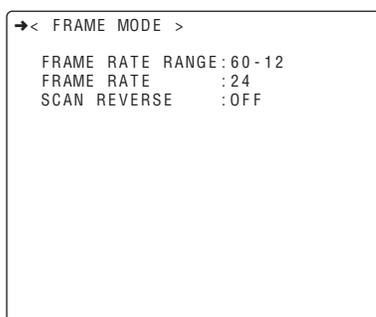
本機は、撮影速度を示すフレームレート情報と、フレーム映像が切り替わった先頭フレームを示すアクティブフレーム情報が、テープ管理情報としてサブコードトラック領域（従来のLTC領域）のユーザズビットに自動的に格納されます。これらの情報は、TC OUT 端子やHD SDI OUT 端子から出力されます。なお、アクティブフレーム情報は、ユーザズビットの最下位の桁に格納され、フレームレート情報は、下位3桁目と4桁目に格納されます。

フレームレートの設定

フレームレートの設定方法には2通りの方法があります。

メニュー操作での設置

- 1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「FRAME MODE」の画面を開きます。

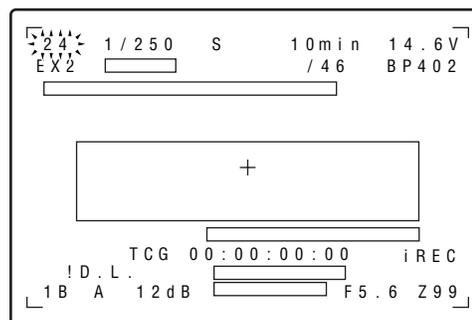


- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「FRAME RATE」の項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押して、希望するフレームレートを設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、フレームレートを選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

- 4 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

シンクロスキャン調整スイッチ（+、-）での設置

- 1 本機をメニュー操作以外の状態にします。
- 2 JOGダイヤルボタンを押すと、ビューファインダー画面の左上フレームレート情報表示が点滅を開始します。



- 3 シンクロスキャン調整スイッチ（+、-）を押して、希望するフレームレートを設定します。
<ノート>
フレームレート情報表示の点滅は、約5秒間で点灯状態に変わります。点滅している間にシンクロスキャン調整スイッチ（+、-）を押してください。
- 4 JOGダイヤルボタンを押して、フレームレートを確定します。
そのまま放置すると、約5秒後にビューファインダー画面のフレームレート情報表示の点滅が終了し、フレームレートが設定されます。

<ノート>
フレームレートを変更した場合は、再度ブラックバランスを調整してください。

バリアブルフレームレート

<ノート>

本機は、CCDが受光する光信号の蓄積時間を変えてフレームレートを設定しています。

フレームレートの設定値により、次の現象が現れることがあります。

① 白キズ

CCDの画素を構成するフォトダイオードの暗電流（dark current）が原因で欠陥画素が発生し、画面に白いキズが見えることがあります。暗電流は、CCDの温度上昇やフォトダイオードへの蓄積時間に比例して大きくなります。

つまり、フレームレートの設定値に反比例して、白キズが大きくなります。

フレームレートの設定値を小さくする場合、マスタゲインの設定を低くし、できるだけ直射日光などを避けて涼しい環境下で使用してください。

② 自動処理の応答時間

フレームレートの設定値を小さくした場合、自動処理（オートホワイトバランス、フレア補正、オートニー、オートアイリスなど）の応答時間が遅くなり、違和感が生じることがあります。

特に、フレームレートを20fps以下にした場合、自動処理の応答時間が遅くなります。

フレームレートを20fps以下にした場合は、自動処理を解除して操作することをおすすめします。

③ 映像の乱れ

フレームレートを24fps、25fps、30fpsにした場合、タイムコードをレックランモードで歩進させているときにつなぎ撮りを行うと、映像が一瞬乱れることがあります。

テープに記録するタイムコードの連続性を保つために、カメラからの映像信号をリセットするために発生します。

映像の乱れは、テープ上には記録されませんが、HD SDI OUT 端子から出力する信号には影響しません。

また、フレームレートを24fps、25fps、30fpsにした場合、タイムコードをフリーランモードで歩進させているときにタイムコードをプリセットしたり、外部の信号にタイムコードをロックした瞬間に映像が一瞬乱れることがあります。

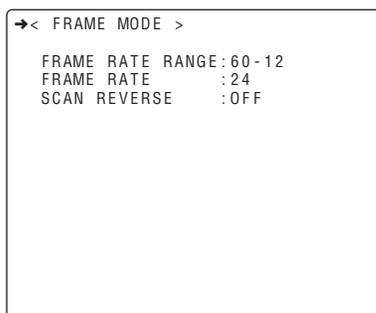
ただし、記録中にフレームレートを24fps、25fps、30fpsに切り替えても、映像が乱れることはありません。

スキャンリバーズ

本機は、アンジェニュー社のHDレンズアダプターにより、フィルム用ウルトラプライムレンズに標準で対応します。また、HDレンズアダプター使用時の映像補正（映像の天地左右を反転）をキャンセルするスキャン・リバーズ機能を切り替えることができます。

スキャンリバーズの設定

- 1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「FRAME MODE」の画面を開きます。



- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SCAN REVERSE」の項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押して、スキャンリバーズを設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、ON/OFFを選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。
- 4 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

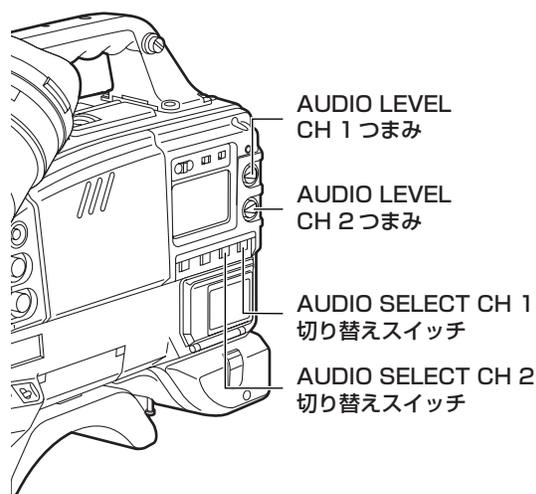
音声レベルの調整

AUTO SELECT CH 1/CH 2切り替えスイッチを「AUTO」にすると、音声CH 1/CH 2の入力レベルは自動的に調整されます。

音声チャンネル1, 2のレベルを手動で調整する場合は、次の操作を行います。

音声レベルの手動調整

- 1 AUDIO SELECT CH 1/CH 2切り替えスイッチを「MAN」にします。
- 2 音声入力時のレベルメーターが、最大時でもOdBuまで表示しないように、AUDIO LEVEL CH 1/CH 2つまみを調整します。



リミッターについて

音声レベルを手動調整した場合、過大入力に対してリミッター回路が動作します。

VTR MENUの「MIC/AUDIO」画面でリミッター回路のON/OFFが行えます。

（出荷時の設定はOFFです）

タイムデータの設定

ユーザズビットとタイムコードの両方を使う場合は、ユーザズビットを先に設定します。タイムコードを先に設定すると、ユーザズビットを設定している間にタイムコードジェネレータが停止するため、設定したタイムコードがずれてしまいます。タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29です。

ユーザズビットの設定

内蔵カラーバー信号の記録モードのときは、ユーザズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。

1 OUTPUT（出力信号切り替え）／AUTO KNEEスイッチを「BARS」にします。

2 DISPLAYスイッチを「UB」にします。

3 TCGスイッチを「SET」にします。

4 「SHIFT ボタン」「+ボタン」「-ボタン」でユーザズビットを設定します。

SHIFT ボタン：

設定したい桁を点滅させるときに使用します。押すたびに、点滅する桁が右に移ります。

+ボタン：

点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。

-ボタン：

点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

16進数のA～Fは次のように表示されます。

16進数	A	B	C	D	E	F
表示	A	b	c	d	E	F

5 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。

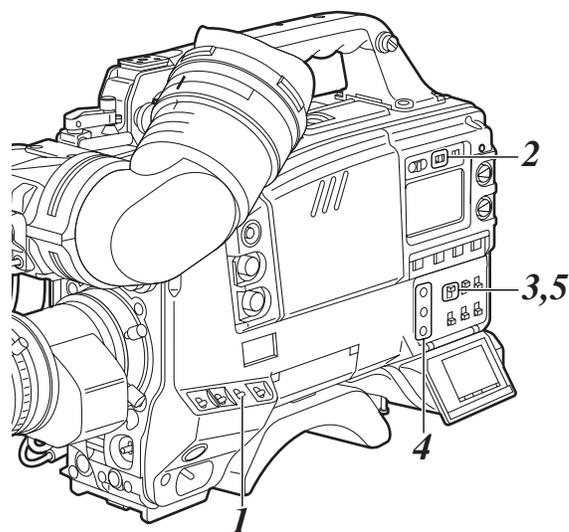
6 VTR MENUの「TC/UB」画面でUB MODEの項目を選択します

ユーザズビットのメモリー機能について

ユーザズビットの設定内容（実時刻以外）は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

<ノート>

- カメラ映像の記録モードのときは、70ページに示すテープ管理情報が出力されます。
- UB MODEの項目で「DATE」を選択したときは、TIME/DATE画面の年/月/日のリアルタイム動作に従います。
- UB MODEの項目で「TIME」を選択したときは、TIME/DATE画面の時/分/秒のリアルタイム動作に従います。
- ユーザズビットの設定内容は、VIDEO AUX領域（従来のVITC領域）のユーザズビットの上位6桁に出力されます。また、内蔵カラーバー信号の記録モードのときは、LTCのユーザズビットの上位6桁にも出力されます。
- ユーザズビットの下位2桁には、常にアクティブフレーム情報などのテープ管理情報が出力されますので、ユーザズビットを設定することができません。



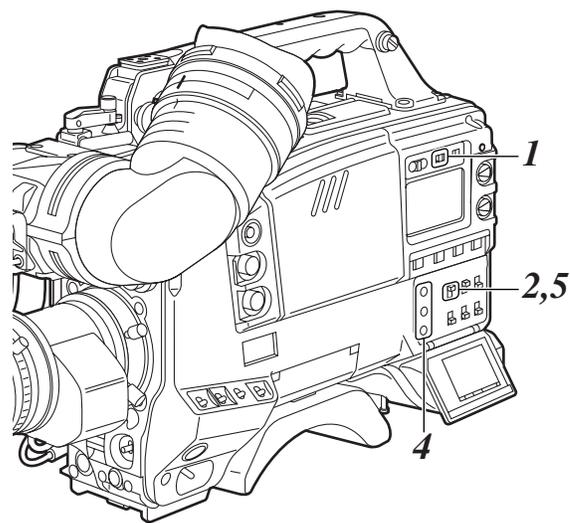
タイムデータの設定

タイムコードの設定

- 1 DISPLAY スイッチを「TC」にします。
- 2 TCG スイッチを「SET」にします。
- 3 VTR MENU の「TC/UB」画面で TC MODE を「DF」または、「NDF」に切り替えます。
ドロップフレームモードでタイムコード歩進させるときは「DF」に切り替え、ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「NDF」に切り替えます。
- 4 「SHIFT ボタン」「+ボタン」「-ボタン」でタイムコードを設定します。
SHIFT ボタン：
設定したい桁を点滅させるときに使用します。
押すたびに、点滅する桁が右に移ります。
+ボタン：
点滅している桁の数値を 1 ずつ大きくします。
-ボタン：
点滅している桁の数値を 1 ずつ小さくします。
- 5 TCG スイッチを切り替えます。
タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。
- 6 VTR MENU の「TC/UB」画面にある TC DISP SEL 項目で、タイムコードのフレームの桁に表示される 1 秒間のフレーム数 (24/25/30) を設定します。
設定したフレーム数に変換して、タイムコードが表示されます。

<ノート>

- フレームレートを 24fps に設定したときは、タイムコードをドロップフレームモードに設定していても、フレームの連続性を保持するためにノンドロップフレームモードで本機は処理します。
また、タイムコードの歩進が不連続になると映像が乱れるために、フレームレートを 24fps に設定したときは、記録中にタイムコードを設定することができません。
- フレーム周波数が 60.00Hz に設定されている場合、本機は常にノンドロップフレームモードで処理します。



バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレータは長時間 (約 1 年間) 動作を続けます。

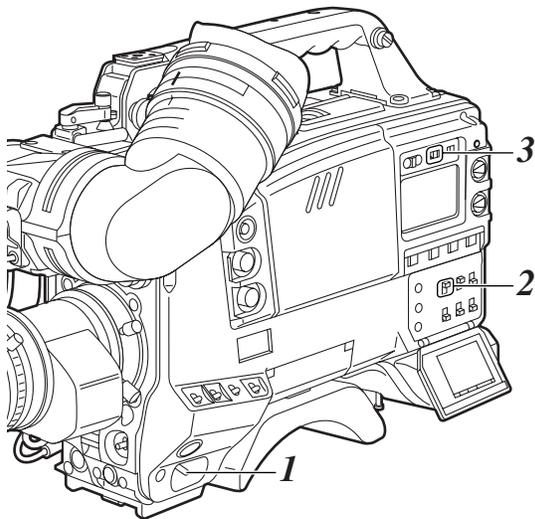
<ノート>

POWER スイッチを ON → OFF → ON と切り替えた場合、タイムコードのバックアップ精度は約 ± 2 フレームです。

タイムデータの設定

タイムコードを外部ロックさせる

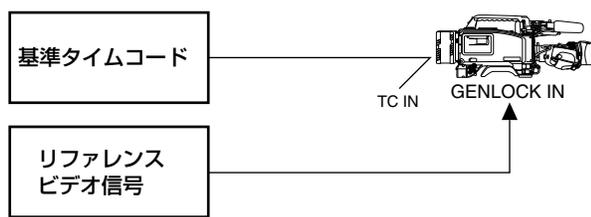
- 1 POWER スイッチを「ON」にします。
- 2 TCG スイッチを「F-RUN」にします。
- 3 DISPLAY スイッチを「TC」にします。
- 4 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN 端子と GENLOCK IN 端子へそれぞれ供給します。



外部ロックのための接続例

VTR 部のタイムコードジェネレータを、外部のジェネレータにロックさせることができます。

外部の信号にロックさせる場合



これで内蔵タイムコードジェネレータは、基準タイムコードにロックします。
ロックしてから約 10 秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。ただし、記録 (REC) 中に接続したり外したりすると、サーボロックが乱れます。

<ノート>

外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部コードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。

シンクジェネレータが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。

外部ロック時のユーザズビットの設定について

タイムコードの外部ロックでは、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

従って、ユーザズビットは、各機ごとに個別に設定することができます。

ユーザズビットも、外部からのタイムコードのユーザズビットにロックさせることができます。

詳しくは販売店にご相談ください。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCG スイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替えるとき

タイムコードジェネレータの電源の連続性を保つため、DC IN 端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、カメラ部は GEN LOCK IN 端子に入力されるリファレンスビデオ信号によりゲンロックがかかります。

<ノート>

- フレームレートを 24fps に設定したときは、タイムコードをドロップフレームモードに設定していても、フレームの連続性を保持するためにノンドロップフレームモードで本機は処理します。また、フレーム周波数を 60.00Hz に設定した場合も、本機はノンドロップフレームモードで処理を行います。外部のタイムコードジェネレーターを使用する場合は、外部のタイムコードジェネレーターをノンドロップフレームモードにしてください。
- 本機と基準タイムコード、リファレンスビデオ信号のフレーム周波数は、全て同じ周波数にしてください。フレームレートを 24fps で使用した場合、フレーム周波数が異なると映像が乱れることがあります。

テープ管理情報

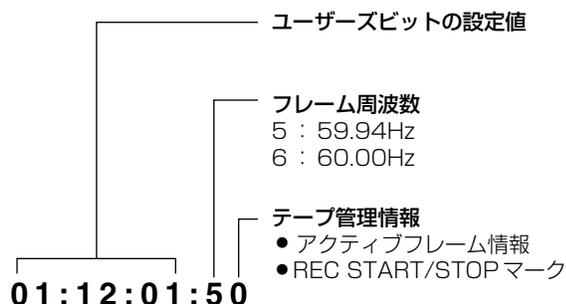
本機は、撮影速度を示すフレームレート情報と、フレーム映像が切り替わった先頭フレームを示すアクティブフレーム情報が、テープ管理情報としてサブコードトラック領域（従来のLTC領域）のユーザズビットに自動的に格納されます。これらの情報は、TC OUT 端子やHD SDI OUT 端子から出力されます。

なお、アクティブフレーム情報は、ユーザズビットの最下位の桁に格納され、フレームレート情報は、下位3桁目と4桁目に格納されます。

表示例：

LTCのユーザズビット

● 内蔵カラーバー信号を記録しているとき



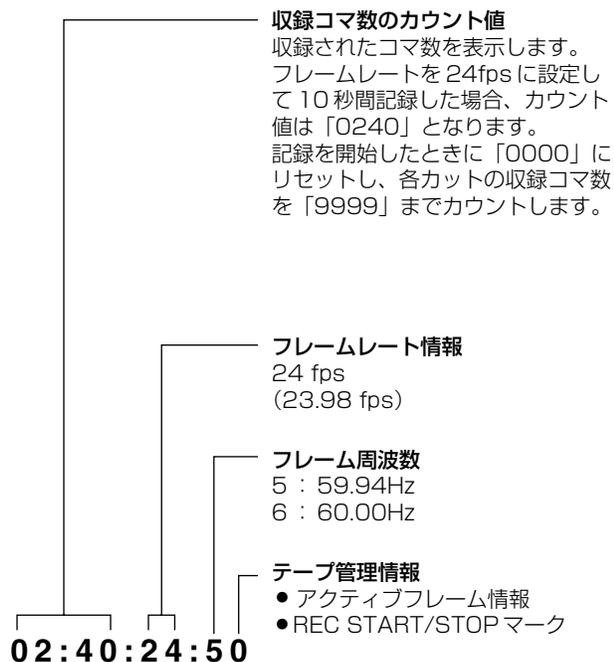
VITCのユーザズビット



VITCのユーザズビットを確認するときは、DISPLAYスイッチをUBに設定し、HOLDボタンを押します。

HOLDボタンを押している間、VITCのユーザズビット情報をカウンタ表示部に表示します。

● カメラの映像信号を記録しているとき



ユーザーデータの使い方

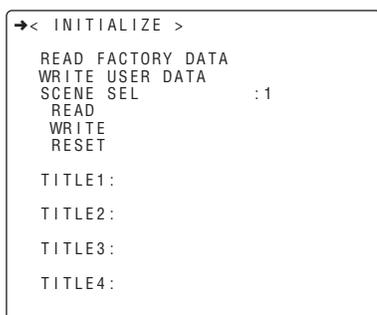
カメラのメモリーのユーザーエリアに、設定メニューの内容を記憶させ、読み出すことができます。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

ユーザーデータの操作

カメラのメモリーのユーザーエリアに、設定メニューの内容を記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作はメニューを用いて実行します。

ユーザーデータの記憶

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「INITIALIZE」の画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE USER DATA」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

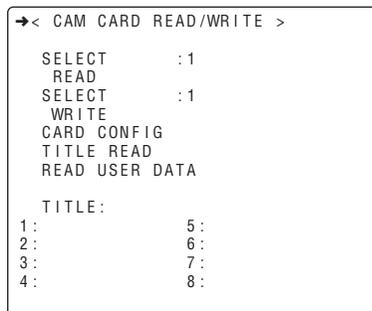


4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータがカメラのメモリーのユーザーエリアに記憶されます。

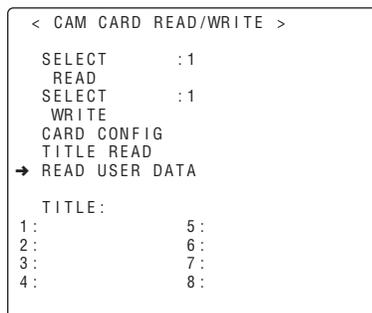
5 記憶後、MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ユーザーデータの読み出し

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU3の「CAM CARD READ/WRITE」画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ USER DATA」の項目に移動します。



3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。カメラのメモリーのユーザーエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。

5 MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

6 フレーム周波数の設定は、本機を再起動したときに切り替わります。設定を変更した場合は、一度POWERスイッチを「OFF」にして電源を切り、再度電源を「ON」にします。

シーンファイルの使い方

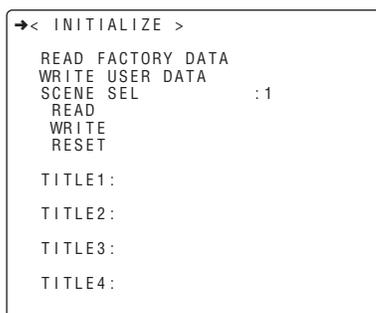
カメラのメモリーのシーンファイルエリアに、設定メニューの内容を記憶させ、読み出すことができます。本機には、4つのシーンファイルが準備されています。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

シーンファイルの操作

カメラのメモリーのシーンファイルエリアに、設定メニューの内容を記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作はメニューを用いて実行します。

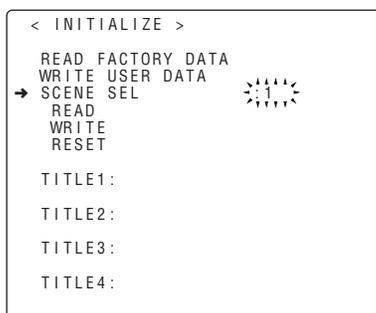
シーンファイルの記憶

1 メニュー操作（88～90ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「INITIALIZE」の画面を開きます。



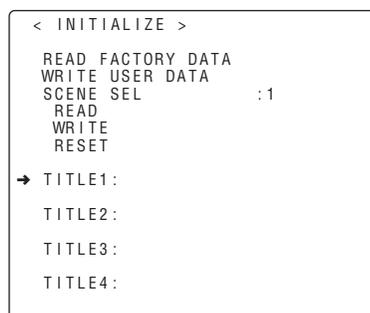
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SCENE SEL」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択します。

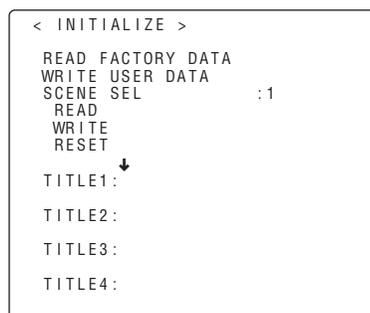


4 JOGダイヤルボタンを押して、シーンファイルを確認します。

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルを付けるシーンファイル「TITLE 1～4」の項目に移動します。



6 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。



7 再度JOGダイヤルボタンを押して、設定したい文字が現れるまでJOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：□



アルファベット：A～Z



数字：0～9



記号：'、>、<、/、_

の順に切り替わります。

8 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確認します。

9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、7・8の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

シーンファイルの使い方

10 タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
↓
TITLE1:*****
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

11 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE 1～4」の項目に戻ります。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
→ TITLE1:*****
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

12 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
→ WRITE
RESET
TITLE1:*****
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

13 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE ?
YES
→ NO
```

14 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

設定したデータとタイトルがカメラのメモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

<ノート>

「WRITE」を実行しないで、他のメニュー画面に移動したりメニューを終了した場合は、設定が無効になります。

15 記憶後、MENU ボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

シーンファイルの使い方

シーンファイルの読み出し

1 メニュー操作（88～90 ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「INITIALIZE」の画面を開きます。

```
→< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL          :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SCENE SEL」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
→ SCENE SEL          :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」の項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL          :2
→ READ
WRITE
RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ ?
YES
→ NO
```

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。カメラのメモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。

8 MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

シーンファイルの使い方

シーンファイルのリセット

1 メニュー操作（88～90 ページ）を行い、FILM (CAM) MAIN MENU 4の「INITIALIZE」の画面を開きます。

```
→< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL          :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SCENE SEL」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
→ SCENE SEL          :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「RESET」の項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
SCENE SEL          :2
READ
WRITE
→ RESET

TITLE1:
TITLE2:
TITLE3:
TITLE4:
```

6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
RESET ?
YES
→ NO
```

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。カメラのメモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。

8 MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

セットアップカードの操作

セットアップメモリーカード（別売品）を使用すると、設定メニューの内容を記憶させることができます。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

・セットアップカードとしてSDメモリーカードやマルチメディアカードが使用できます。

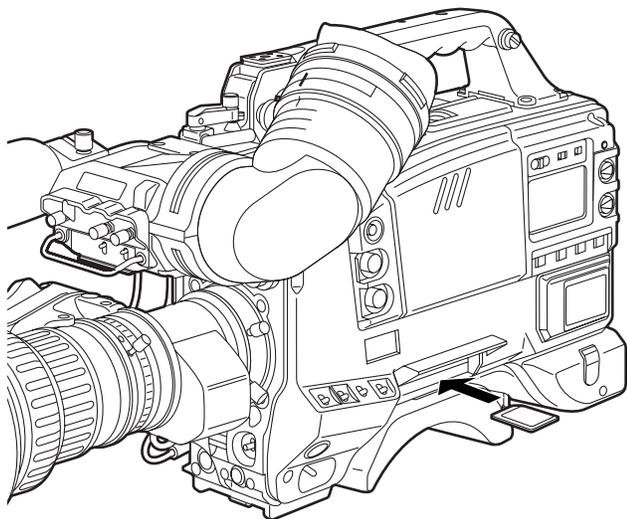
セットアップカードの入れかた

ロゴのある面を手前にして、セットアップカード挿入口にセットアップカードを差し込み、ふたを閉めます。

<ノート>

ロゴ面を手前にし、文字の天地が正しいことを確認して、カードを挿入してください。

挿入の際、カードの向きを確認してください。入りにくい時は、カードが裏向きまたは、カードの上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、カードの裏表および上下を確認して入れ直してください。

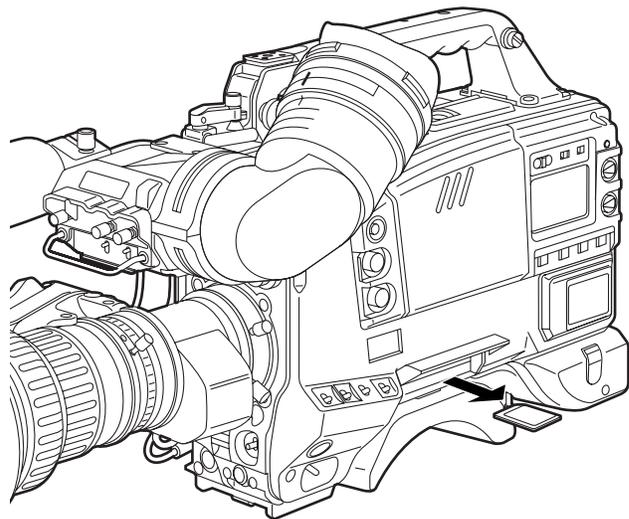


セットアップカードの取り出しかた

ふたの下端を持ち上げてふたを開け、セットアップカードを取り出します。

<ノート>

セットアップカード先端の端子に直接触れないように注意してください



使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

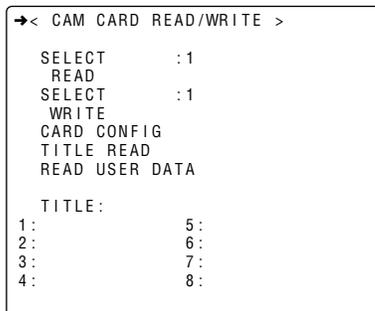
セットアップカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

セットアップカードの操作

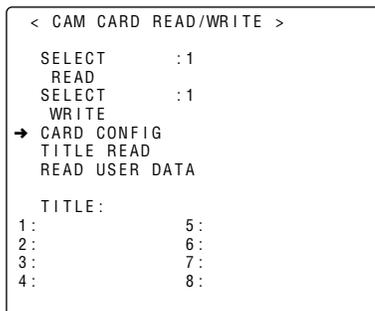
セットアップカードに設定データを記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作は、FILM (CAM) MAIN MENU 3の「CAM CARD READ/WRITE」画面で行います。

セットアップカードのフォーマット

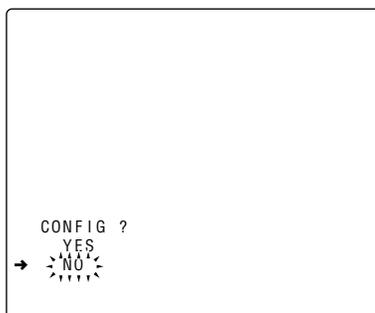
1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。



2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を CARD CONFIG の項目に移動します。



3 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



4 セットアップカードのフォーマットを行う場合は、JOG ダイヤルボタンを回して矢印 (カーソル) を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。セットアップカードのフォーマットが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

<ノート>

フォーマットすると、その時の設定状態も同時にメモリーされます。



JOG ダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません。)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。

5 メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

「CAM CARD READ/WRITE」の画面が開いている状態でセットアップカードを挿入したときは、データのタイトルを認識できません。

TITLE READ の項目に矢印 (カーソル) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押してください。

データのタイトルを認識し、タイトルを表示します。

セットアップカードの操作

設定したデータをカードに書き込む

1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。

```
→< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

ファイル No. を選択する

2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE 上段の「SELECT」項目に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
→ SELECT    :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

3 JOG ダイアルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOG ダイアルボタンを押します。

選択したファイルにタイトルを付ける

4 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE:」の項目に移動します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

→ TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

5 JOG ダイアルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:
↓
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

6 再度 JOG ダイアルボタンを押し、設定したい文字が現れるまで、JOG ダイアルボタンを回します。

JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が
スペース：□



アルファベット：A～Z



数字：0～9



記号：'、>、<、/、—

の順に切り替わります。

7 JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

8 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6・7の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

セットアップカードの操作

選択したファイルにデータを書き込む

9 タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

```

< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA
↓
TITLE:*****
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
    
```

10 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。

```

< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA
→ TITLE:*****
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
    
```

11 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

```

< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
→ WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:*****
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
    
```

12 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```

WRITE ?
YES
→ NO
TITLE      :*****
    
```

13 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```

WRITE OK

TITLE      :*****
    
```

VTR 部のデータを書き込む場合は、「VTR CARD READ/WRITE」の画面を開き、**11**～**13**の操作を行います。

JOG ダイアルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います。)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません。)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。

14 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

セットアップカードの操作

カードに記憶されているデータを 読み出す

1 メニュー操作 (88～90 ページ) を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。

```
→< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

データを書き込むときにタイトルを付けておくとタイトルも表示されます。

<ノート>

フィルムモードで設定されたタイトルの先頭には“F_”が表示され、ビデオモードで設定されたタイトルの先頭には“V_”が表示されます。データの読み出しが終了すると、本機は読み出したデータの動作モードになります。

ファイル No. を選択する

2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ 上段の SELECT 項目に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
→ SELECT    ☼☼☼☼☼
  READ
  SELECT      :1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ
  READ USER DATA

TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

3 JOG ダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOG ダイヤルボタンを押します。

選択したファイルのデータを読み出す

4 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
→ READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
READ USER DATA

TITLE:
1:          5:
2:          6:
3:          7:
4:          8:
```

5 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ ?
  YES
→ NO
```

6 JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ OK

TITLE      :*****
```

VTR 部のデータを読み出す場合は、「VTR CARD READ/WRITE」の画面を開き、**4～6**の操作を行います。

セットアップカードの操作

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対 策
READ NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います。)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません。)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。

- 7** メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、カードから読み出されたデータに基づく設定状態が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

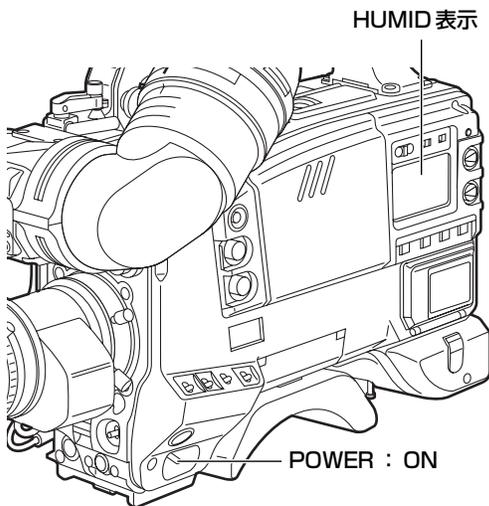
カセットテープについて

カセットテープを入れる

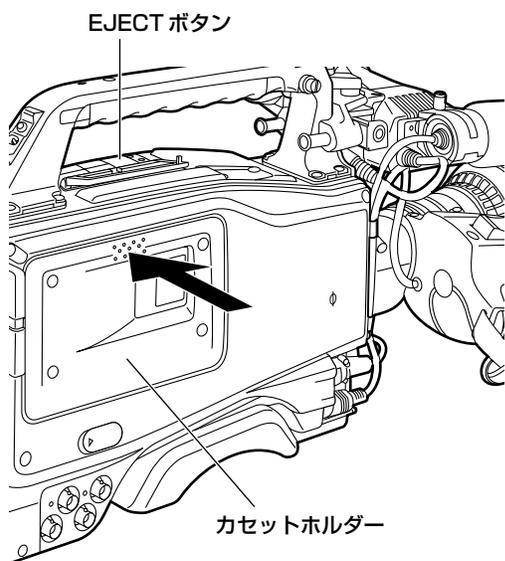
1 カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認して、POWER スイッチを「ON」にします。

<ノート>

内部に結露が発生していると、HUMID 表示が点灯します。HUMID 表示が消えるまで待ち、操作を行ってください。



2 EJECT ボタンを押します。
カセットホルダーが開きます。



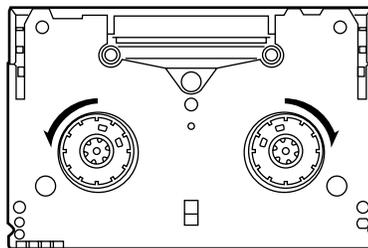
3 カセットテープを挿入し、矢印の部分を押して、カセットホルダーをしっかりと閉めます。

<ノート>

テープにたるみがないことを確認してください。

テープのたるみを確認する

指でリールを押し込みながら矢印の方向へ軽く回し、リールが回らなければテープのたるみはありません。



カセットテープを取り出す

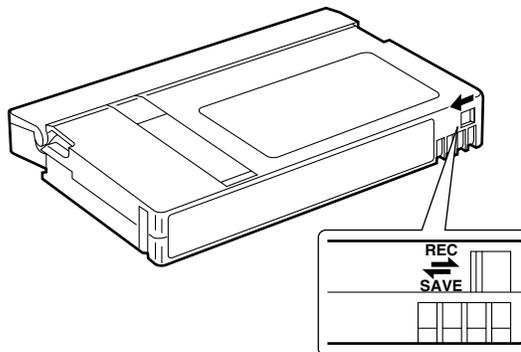
電源が入った状態で EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを取り出します。取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。

バッテリー消費時のカセットの取り出しについて

一度 POWER スイッチを「OFF」にして電源を切ります。再度電源を入れ、すぐに EJECT ボタンを押し続けてください。バッテリーに電源が残っているときは、カセットが取り出せません。ただし、この動作を繰り返し行わないでください。

誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



記 録

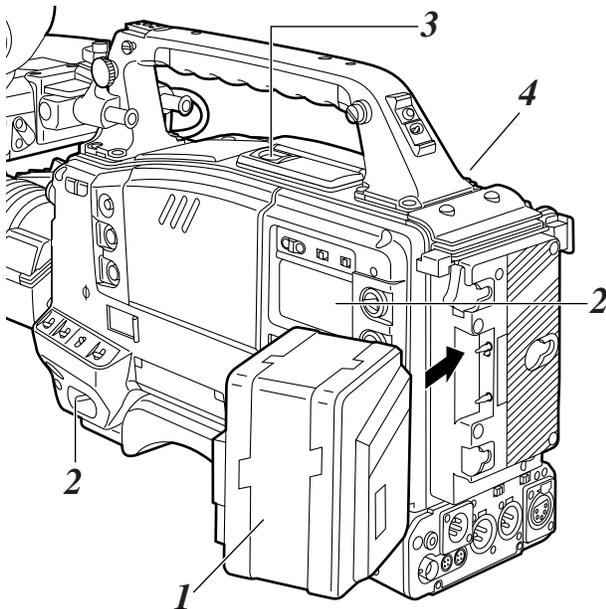
ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。

実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

- 点検のしかたについては、「撮影前の点検」(131～134 ページ)をお読みください。

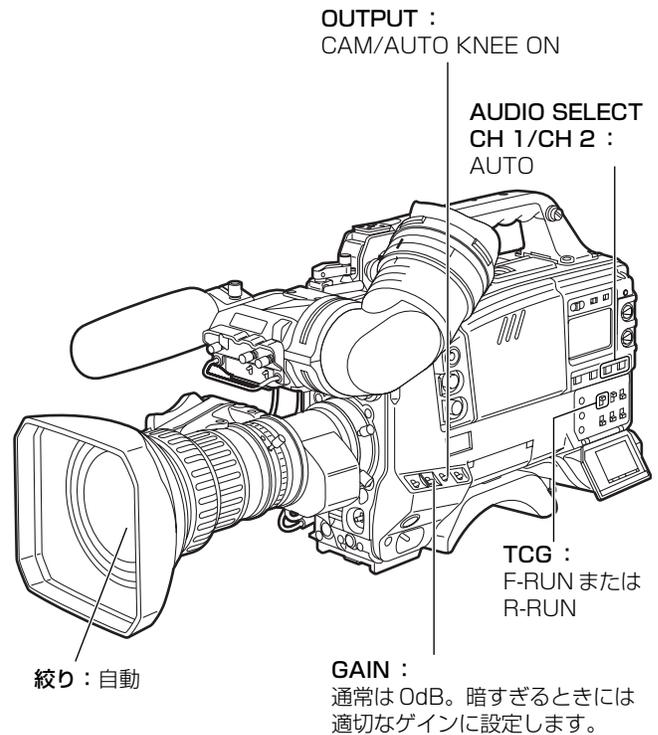
電源の準備からカセットを入れるまで

- 1** 充電済みのバッテリーパックを入れます。
- 2** POWER スイッチを「ON」にし、HUMID 表示が出ないことやBATTERY 残量表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - HUMID 表示が出たときは、表示が消えるまで待ってください。
 - BATTERY 残量表示が5個以上点灯していないときは、完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3** カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認してから、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開きます。
- 4** 次のことを確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉じます。
 - 誤消去防止用のツメ
 - テープのたるみ



ホワイトバランス／ブラックバランスの調整から記録停止まで

電源を入れ、カセットを挿入した後、各位スイッチを次のように設定します。



撮影

1-1 照明条件に合わせてフィルターを選び、ホワイトバランスがあらかじめメモリーされているときは、WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。

ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされていないとき、ホワイトバランスを調整する時間のないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。FILTERつまみ（外側）の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

1-2 その場でホワイトバランスを調整する場合

照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして次の手順でホワイトバランスを調整します。

- (1) AUTO W/B BALスイッチをAWB側に押し、ホワイトバランスを調整します。
- (2) AUTO W/B BALスイッチをABB側に押し、ブラックバランスを調整します。
- (3) AUTO W/B BALスイッチをAWB側に押し、再度ホワイトバランスを調整します。

ホワイトバランスの調整の仕方については、「ホワイトバランス／ブラックバランスの調整」（55～59ページ）をお読みください。

2 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。

3 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード／動作モードを設定します。

- 詳しくは電子シャッターの設定（60～62ページ）をお読みください。

4 VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。

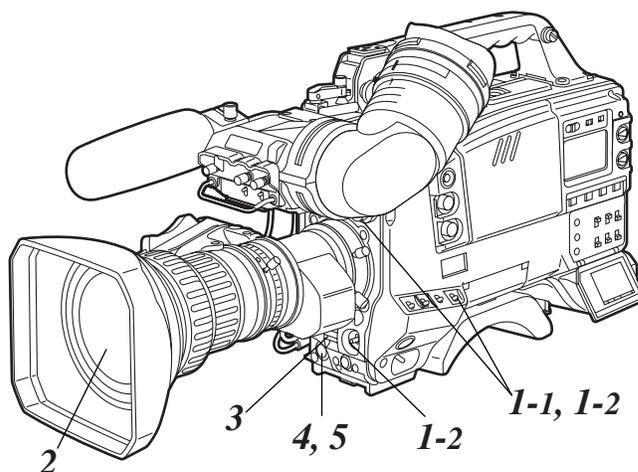
記録中は、ビューファインダー内のRECランプが点灯します。

5 停止するときは、再度VTR START ボタンを押します。

ビューファインダー内のRECランプが消えます。

テープ操作ボタンについて

記録中は、テープ操作ボタン（EJECT、REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP）は動作しません。



つなぎ撮り

記録一時停止中であれば、VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押すだけで、0～+1フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

記録一時停止中以外の場合は、記録を始める前に、つなぎ撮りのポイントを頭出しする必要があります。

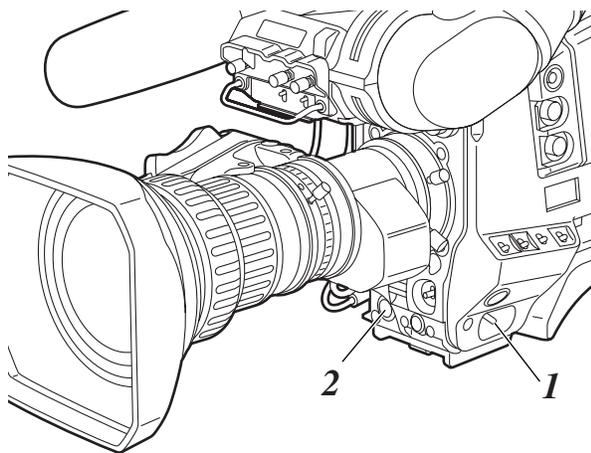
記録一時停止中

つなぎ撮りのタイミングは、自動的に頭出しされます。ただし、VTR SAVE/STBY スイッチの設定によって、記録開始までの時間が異なります。

- VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」に設定していると、VTR START ボタンを押してから約2秒後に記録が始まります。
- VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」に設定していると、VTR START ボタンを押すとすぐに記録が始まります。

記録一時停止中に電源を切った場合のつなぎ撮り

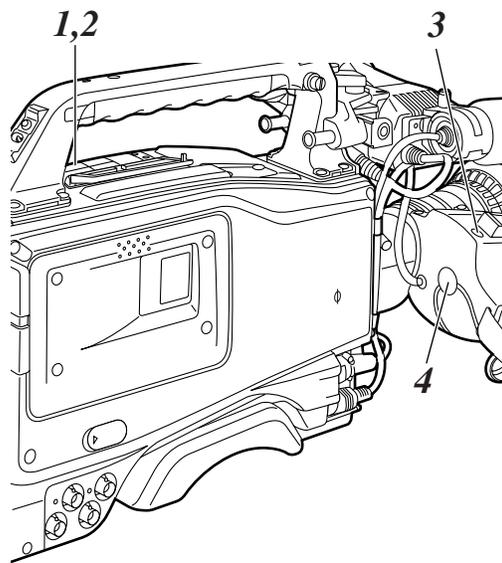
- 1 再び電源を入れます。
- 2 VTR START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。



その他の場合のつなぎ撮り

テープを走行させた後や、カセットを取り出した後、また、途中までしか記録されていないテープでつなぎ撮りをしたいときは、次の手順に従ってください。

- 1 ビューファインダーの画面を見ながら、PLAY/PAUSE ボタンを押し、テープを再生します。
- 2 つなぎ撮りを行う箇所で、再度PLAY/PAUSE (またはSTOP) ボタンを押し、テープを止めます。
- 3 レンズのRET ボタンを押します。約2秒後につなぎ撮りの準備が整います。
- 4 VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押すと、記録を開始します。



FILM (CAM) MAIN MENU 2の「CAM SW MODE」画面で、本機サイドパネルのUSER1/USER2 ボタンにVTR START/STOP ボタンとしての機能を割り当てて、操作を行うことができます。

再生 (記録内容のチェック)

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画面を見ることができます。このほか再生画像を見る方法は2通りあります。

レックレビュー

記録を一時停止し、レンズのRET ボタンを押すと、最後の2秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに出ます。これにより、記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。RET ボタンを押し続けると、最高10秒間まで巻き戻して再生します。

<ノート>

1秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません。

FILM (CAM) MAIN MENU 2の「CAM SW MODE」画面で、本機サイドパネルのUSER1/USER2ボタンにレンズのRETボタンとしての機能を割り当てて、操作を行うことができます。

カラー再生

本機のHD SDI OUT端子にHDカラーモニターを接続すると、カラーの再生画像を見ることができます。巻き戻し(REW)や早送り(FF)中でも、再生信号はビューファインダーに出力されます。再生信号の音声出力の選択や音量の調節は、MONITORスイッチやつまみ(15ページ)で行います。

レンズのRETボタンの働き

RETボタンの機能は、内部VTRの状態により、ビューファインダー画面に表示される内容が、次のように変わります。

内部VTRの状態	ビューファインダー画面に表示される内容
記録中	カメラが撮影している映像 (RETボタンは動かない)
記録一時停止中	記録された内容(2秒間のレックレビュー)の確認ができます。
再生中	内部VTRの再生画像 (RETボタンは動かない)
再生一時停止中	つなぎ撮りするための頭出し動作画像

FILM (CAM) MAIN MENU 2の「CAM SW MODE」画面で、本機サイドパネルのUSER1/USER2ボタンにレンズのRETボタンとしての機能を割り当てて、操作を行うことができます。

その他の VTR 機能

NEWS REC 機能

NEWS REC 機能は、VTR MENU 「FUNCTION」画面の NEWS REC MODE で設定します。

記録中、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御（最大 2 秒まで）することにより、記録モードから記録一時停止モードに移行する時間を遅らせることができます。

つまり、記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンス映像の抜けを、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御することで、記録を停止する事なく継続して記録をすることを可能にします。

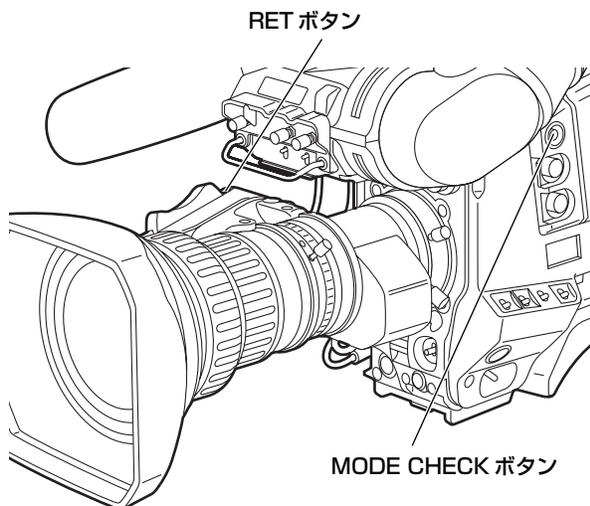
RETAKE 機能

RETAKE 機能は、VTR MENU の「FUNCTION」画面で RETAKE MODE を ON に設定します。

記録終了時の記録一時停止モードのときや、その後の STOP モードのときに、MODE CHECK ボタンを押しながらレンズの RET ボタンを押すと、前回記録した最終映像のほぼ開始点（記録開始から約 10 フレーム進んだ位置）までテープを巻き戻して、記録一時停止モードになります。

撮影時間に余裕があり、明らかに NG と判断した場合に、この点から記録を開始することができるため、NG 部分のカットが消去される事になります。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。



INTERVAL REC (間欠記録) 機能

簡易のインターバル撮影（間欠記録）をすることが可能です。

特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

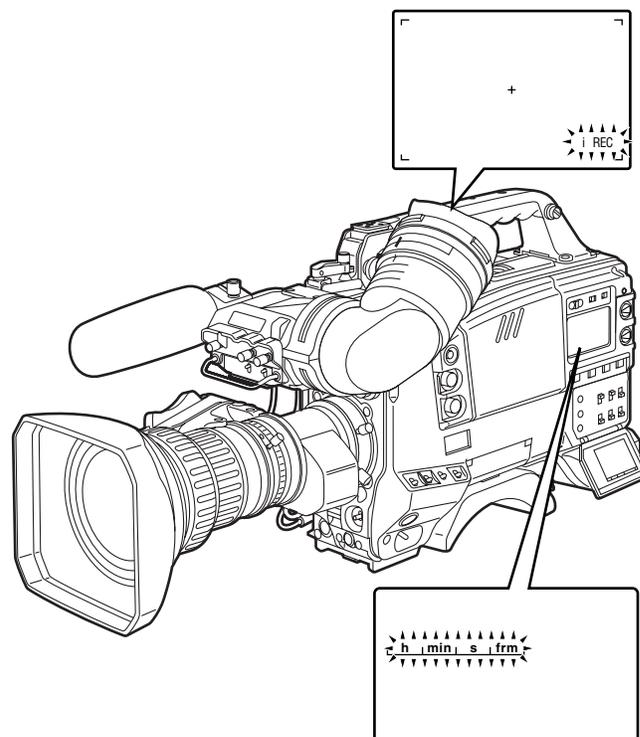
INTERVAL REC 機能は、VTR MENU 「FUNCTION」画面で設定します。

- INTERVAL REC MODE
INTERVAL REC 機能の ON/ONE SHOT/OFF を設定します。
- INTERVAL REC TIME
インターバル撮影の記録時間（1 カット）を設定します。
- INTERVAL PAUSE TIME
インターバル撮影の記録一時停止時間を設定します。

上記の項目が設定されると、INTERVAL REC モードになり、ビューファインダー内の「i」が点滅を始めます。

VTR START ボタンを押すと、インターバル撮影が開始され、「i」が「i REC」に切り替わり点灯します。また、カウンター表示部の時間単位（h/min/s/frm）表示が点滅状態になります。

最初のインターバル撮影が終了して、記録一時停止状態になると、ビューファインダー内の「i REC」が点滅に切り替わります。カウンター表示部の時間単位表示は点滅状態のままです。



メニュー操作

設定メニューの操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。

メニューの構成は、カメラ部の設定メニューと VTR 部の設定メニューに分かれます。

また、設定メニューの全項目を設定できるエンジニアメニューと、使用頻度の高いメニューだけを選択して、独自のメニューを構成するユーザーメニューを設定することができます。

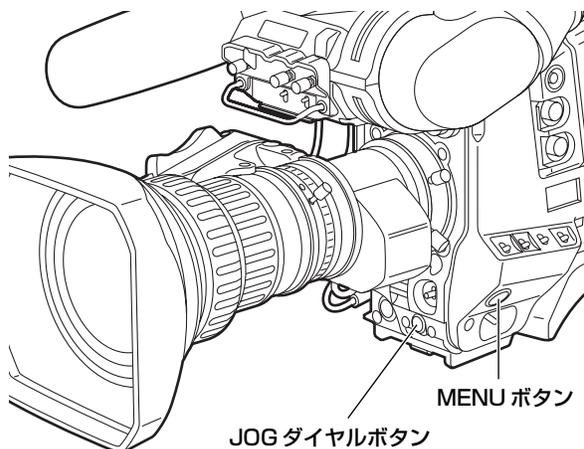
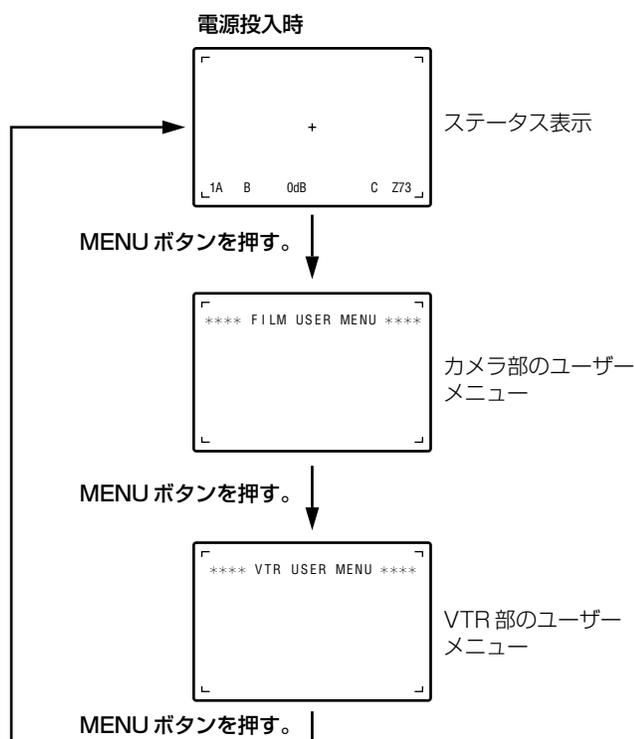
ユーザーメニュー

出荷時に、ユーザーメニューを設定していますが、使用されるユーザーが、使用頻度の高いメニューだけを選択して、独自のメニュー構成を変えることができます。

ユーザーメニューは、エンジニアメニューの USER MENU SELECT 1～3 の画面で設定してください。設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、長期間保存されます。フィルムモードとビデオモードの設定が、それぞれに保存されます。

表示方法：

- MENU ボタンを押すと、出荷時に設定されたカメラ部の USER メニュー画面が表示されます。
- 再度 MENU ボタンを押すと VTR 部の USER メニュー画面が表示されます。
- さらに MENU ボタンを押すと、メニュー画面の表示が消えます。



エンジニアメニュー

設定メニューの全項目を設定できます。設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、長期間保存されます。

表示方法：

- MENU ボタンを3秒間以上押し続けます。
- 再度 MENU ボタンを押すと VTR 部の MAIN MENU 画面が表示されます。
- さらに MENU ボタンを押すと、メニュー画面の表示が消えます。

<ノート>

本機にエクステンションコントロールユニット AJ-EC3 (別売品) を接続して、外部から操作する場合は、常にエンジニアメニューが表示されます。

フィルムモードとビデオモード

FILM (CAM) MAIN MENU 4 の「OPTION」画面で、本機をフィルムモードとビデオモードに切り替えることができます。

OPTION 画面の CAM MENU SEL で「VIDEO MENU」を選択すると FILM USER MENU や FILM MAIN MENU の表示が CAM USER MENU と CAM MAIN MENU に変わります。

メニューの設定値は、フィルムモードとビデオモードの設定が、それぞれに保存されます。

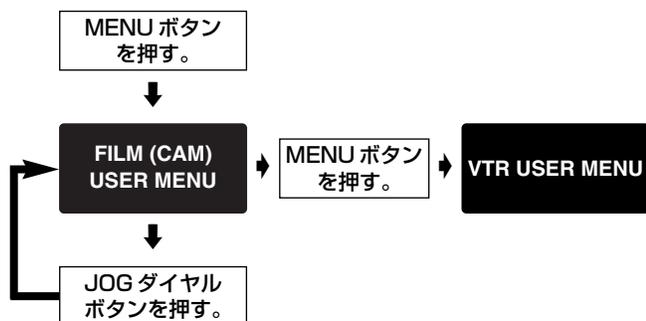
メニュー操作

設定メニューの基本操作

メニューを表示する

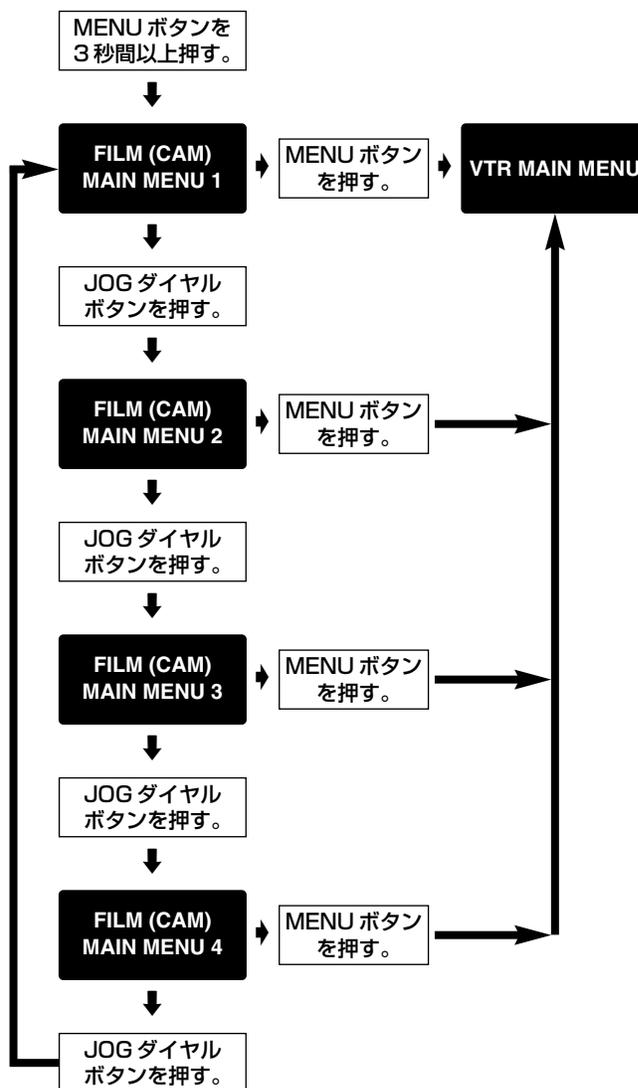
ユーザーメニュー：

- 1 MENU ボタンを押します。
カメラ部の USER メニュー画面が表示されます。
- 2 再度 MENU ボタンを押すと、VTR 部の USER メニュー画面が表示されます。



エンジニアメニュー：

- 1 MENU ボタンを 3 秒間以上押し続けます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを押すと、次の MAIN メニュー画面（カメラ部）が表示されます。
- 3 MENU ボタンを押すと、VTR 部の MAIN メニュー画面が表示されます。



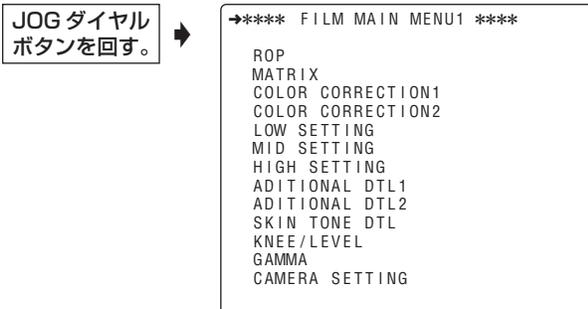
メニュー操作

SUB メニューを表示し、設定値を決める

ユーザーメニュー/エンジニアメニュー共通

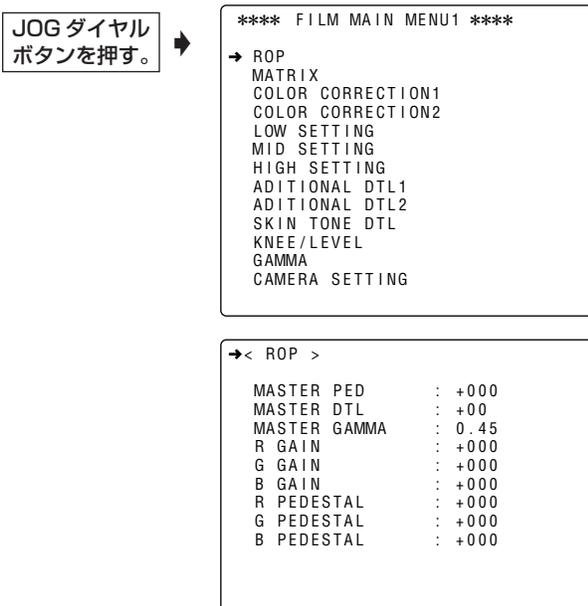
1 USERメニュー画面または、MAINメニュー画面が表示されている状態で、JOGダイヤルボタンを回します。
SUBメニューの項目にカーソルが移動します。

例：



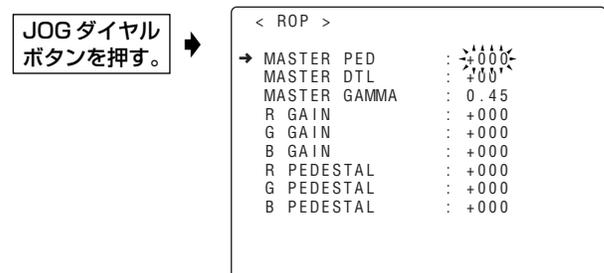
2 希望するSUBメニューの項目にカーソル (→) を移動して、JOGダイヤルボタンを押します。
SUBメニュー画面が表示されます。(カーソルはSUBメニューのタイトル部分に表示されます。)

例：



3 JOGダイヤルボタンを回して、設定を希望する項目にカーソルを移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
設定値する桁が、点滅します。

例：



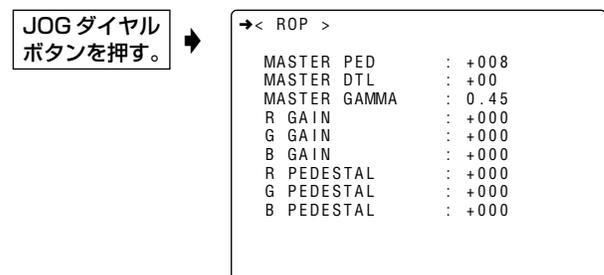
4 JOGダイヤルボタンを回して、設定値を変更します。

5 希望の設定値で、JOGダイヤルボタンを押します。
設定値が確定します。

6 他に設定を希望する項目がある場合は、JOGダイヤルボタンを回してカーソルを移動し、**3**～**5**の手順で、設定値を決めます。

7 他のSUBメニューに移動する場合は、JOGダイヤルボタンを回してカーソルをSUBメニューのタイトル部分に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
USERメニュー画面または、MAINメニュー画面が表示されますので、同様の手順で操作を行ってください。

例：



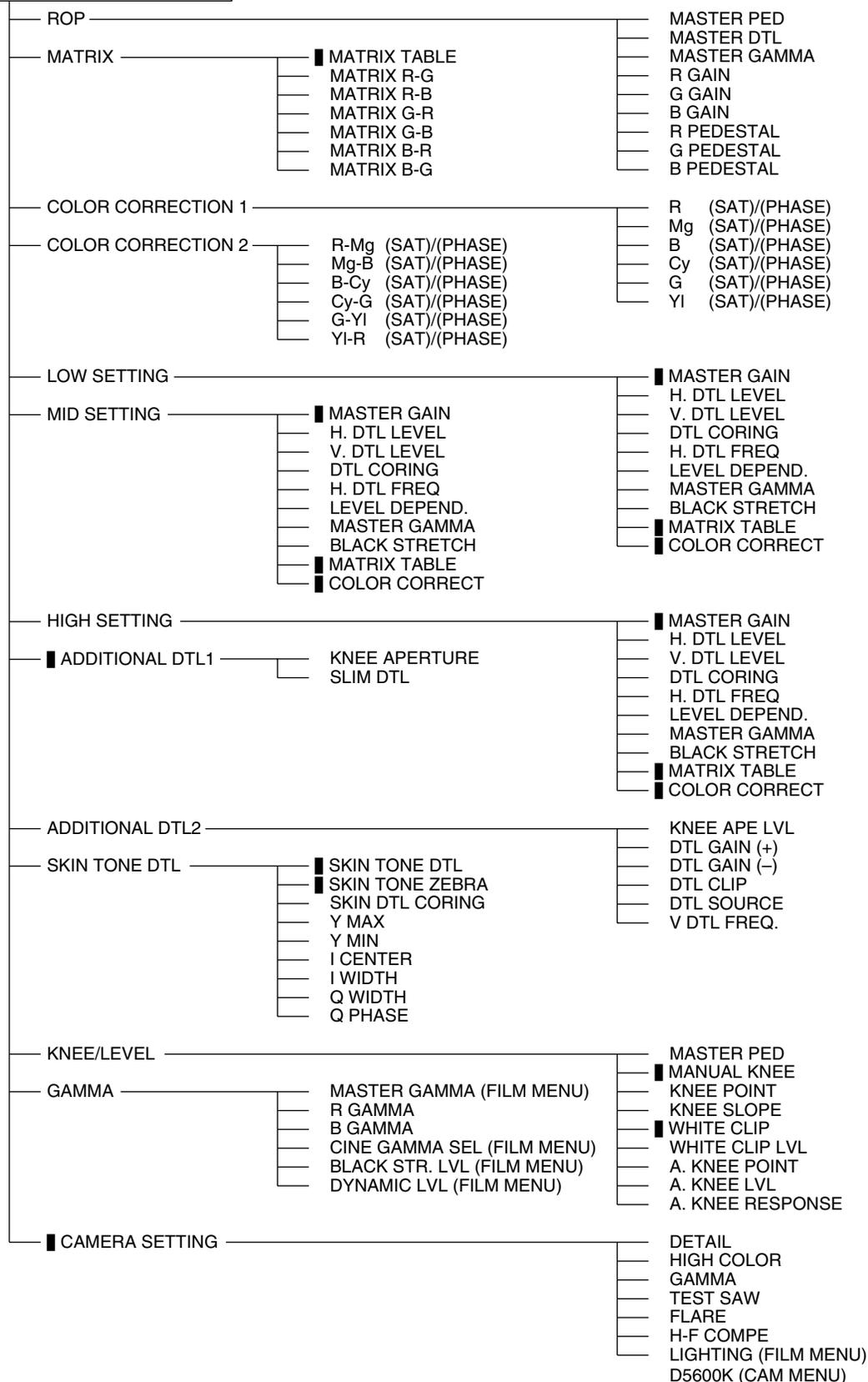
8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
設定値が記録され、設定メニューモードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

<ノート>

カメラ部のメニューを終了するときには、MENUボタンを2度押します。MENUボタンを1度押したときには、VTR部のメニューに移行します。

設定メニューの構成

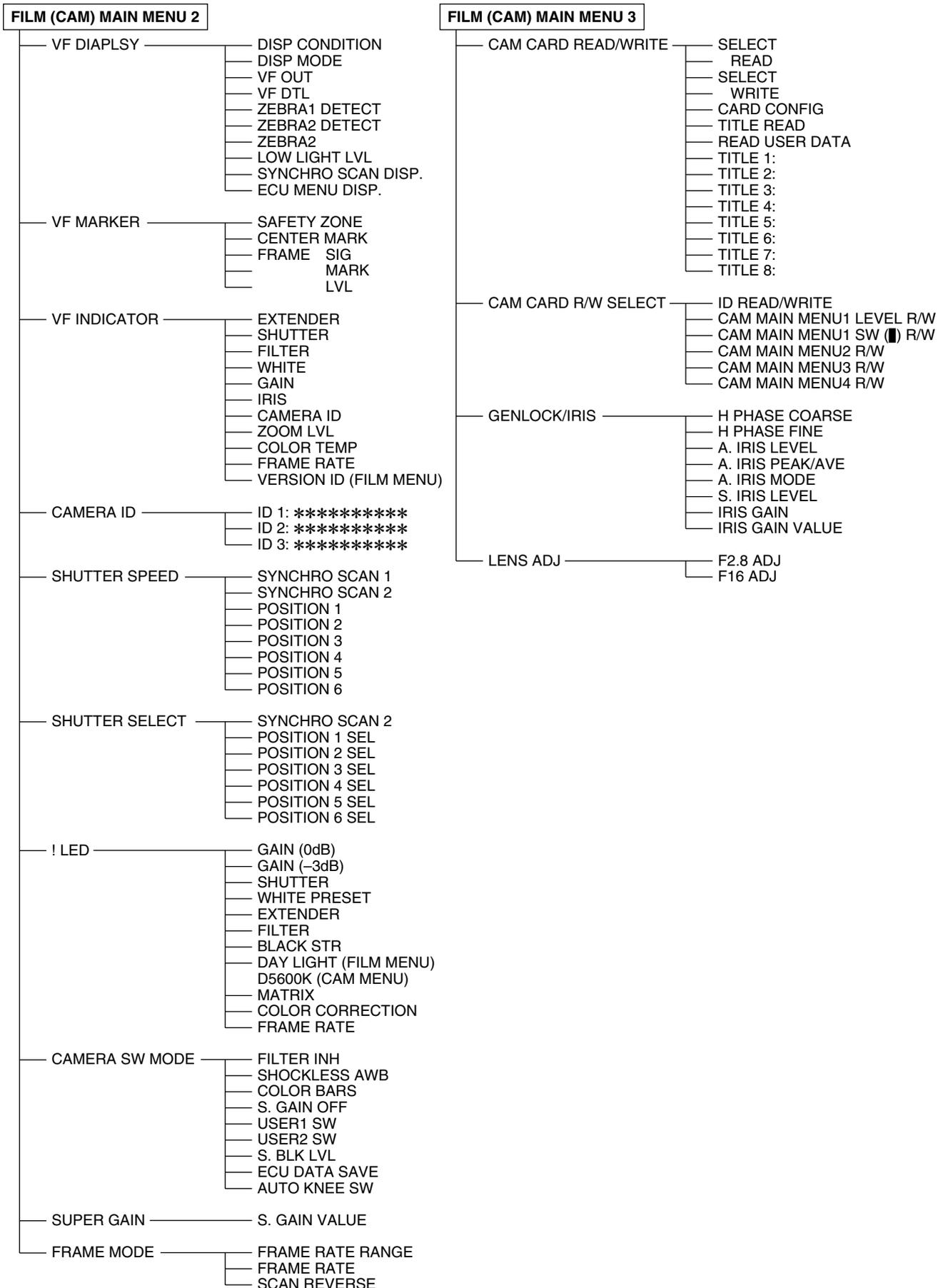
FILM (CAM) MAIN MENU 1



<ノート>

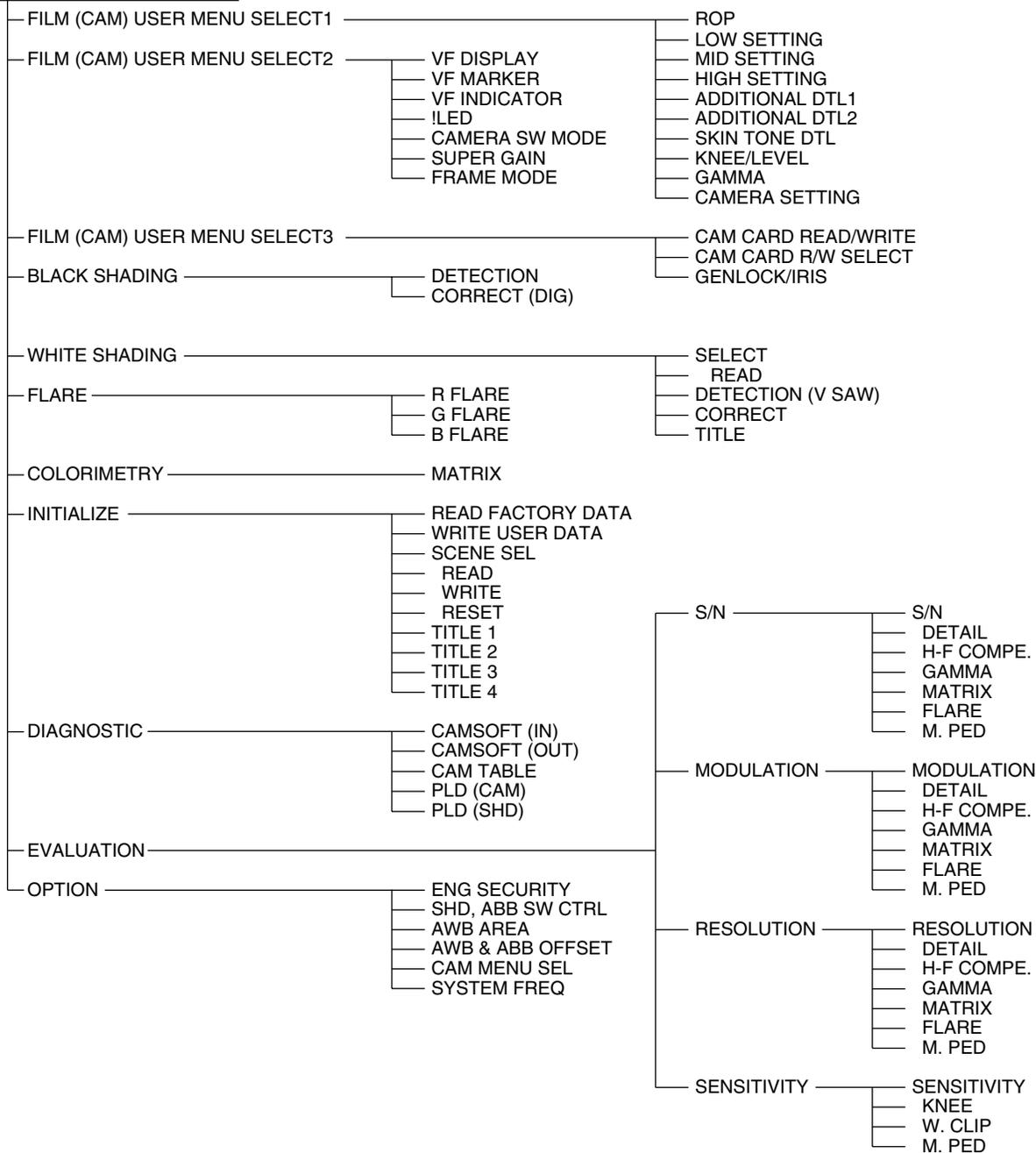
マークの項目は、可変範囲の設定を ON と OFF で切り替える項目です。

設定メニューの構成

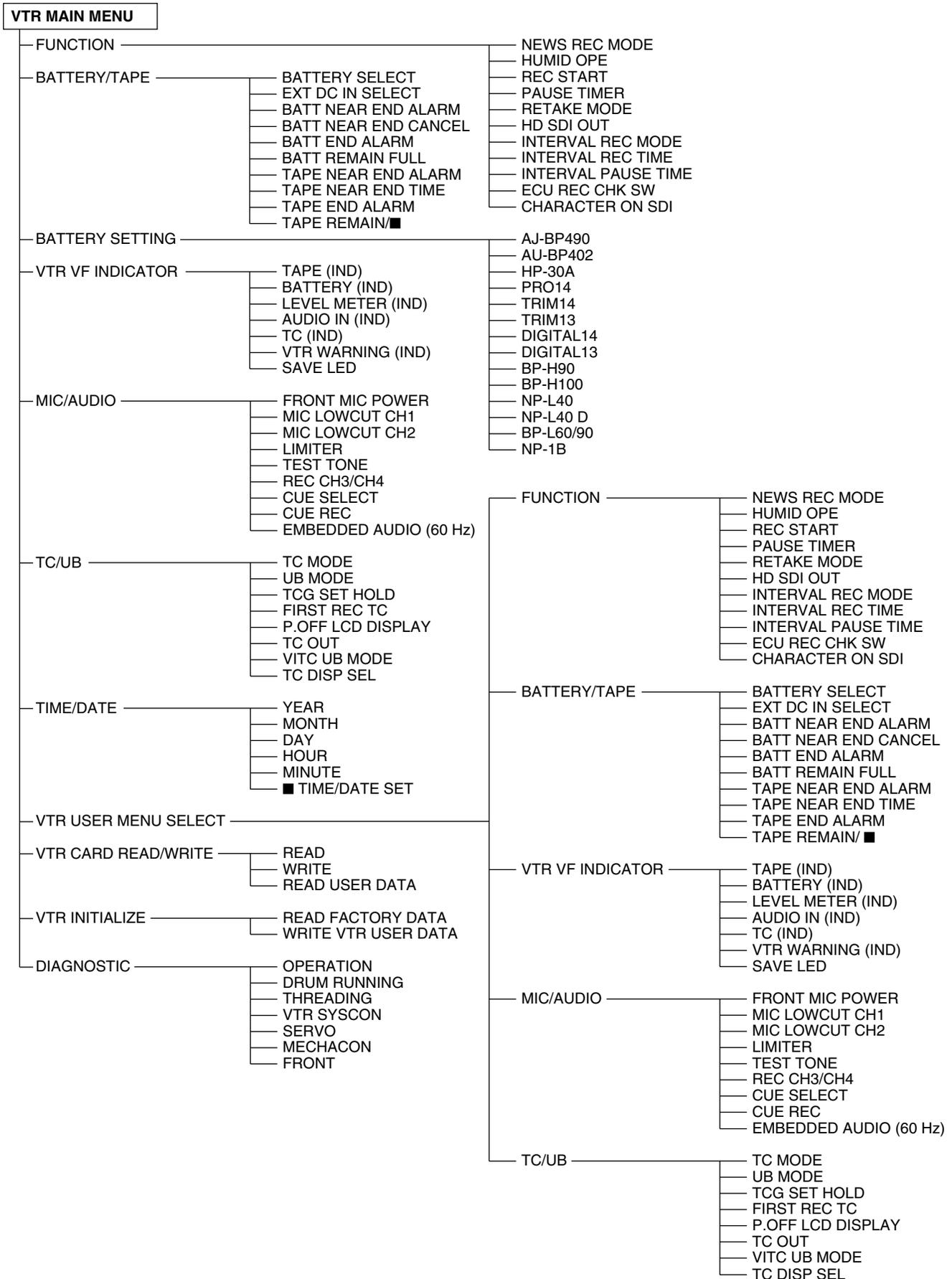


設定メニューの構成

FILM (CAM) MAIN MENU 4



設定メニューの構成



設定メニュー画面 FILM (CAM) MENU

MAIN メニューは、カメラ部の FILM (CAM) MAIN MENU (1 ~ 4) と VTR 部の VTR MAIN MENU で構成されています。これらの画面は、サブメニューを開くためのインデックス画面です。

設定メニューの操作は、MENU ボタンと JOG ダイヤルボタンで操作します。

「メニュー操作」(88 ~ 90 ページ) を参照してください。

FILM (CAM) MAIN MENU 1 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
ROP	USER ENG	ROP 画面を開くインデックスです。
MATRIX	ENG	MATRIX 画面を開くインデックスです。
COLOR CORRECTION1	ENG	COLOR CORRECTION1 画面を開くインデックスです。
COLOR CORRECTION2	ENG	COLOR CORRECTION2 画面を開くインデックスです。
LOW SETTING	USER ENG	LOW SETTING 画面を開くインデックスです。
MID SETTING	USER ENG	MID SETTING 画面を開くインデックスです。
HIGH SETTING	USER ENG	HIGH SETTING 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL1	USER ENG	ADDITIONAL DTL1 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL2	USER ENG	ADDITIONAL DTL2 画面を開くインデックスです。
SKIN TONE DTL	USER ENG	SKIN TONE DTL 画面を開くインデックスです。
KNEE/LEVEL	USER ENG	KNEE/LEVEL 画面を開くインデックスです。
GAMMA	USER ENG	GAMMA 画面を開くインデックスです。
CAMERA SETTING	USER ENG	CAMERA SETTING 画面を開くインデックスです。

FILM (CAM) MAIN MENU 2 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
VF DISPLAY	USER ENG	VF DISPLAY 画面を開くインデックスです。
VF MARKER	USER ENG	VF MARKER 画面を開くインデックスです。
VF INDICATOR	USER ENG	VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
CAMERA ID	ENG	CAMERA ID 画面を開くインデックスです。
SHUTTER SPEED	ENG	SHUTTER SPEED 画面を開くインデックスです。
SHUTTER SELECT	ENG	SHUTTER SELECT 画面を開くインデックスです。

SUB メニュー	VF表示	備考
!LED	USER ENG	!LED 画面を開くインデックスです。
CAMERA SW MODE	USER ENG	CAMERA SW MODE 画面を開くインデックスです。
SUPER GAIN	USER ENG	SUPER GAIN 画面を開くインデックスです。
FRAME MODE	USER ENG	FRAME MODE 画面を開くインデックスです。

FILM (CAM) MAIN MENU 3 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
CAM CARD READ/WRITE	USER ENG	CAM CARD READ/WRITE 画面を開くインデックスです。
CAM CARD R/W SELECT	USER ENG	CARD R/W SELECT 画面を開くインデックスです。
GENLOCK/IRIS	USER ENG	GENLOCK/IRIS 画面を開くインデックスです。
LENS ADJ	ENG	LENS ADJ 画面を開くインデックスです。

FILM (CAM) MAIN MENU 4 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
CAM USER MENU SELECT1	ENG	FILM (CAM) USER MENU SELECT 1 画面を開くインデックスです。
CAM USER MENU SELECT2	ENG	FILM (CAM) USER MENU SELECT 2 画面を開くインデックスです。
CAM USER MENU SELECT3	ENG	FILM (CAM) USER MENU SELECT 3 画面を開くインデックスです。
BLACK SHADING	ENG	BLACK SHADING 画面を開くインデックスです。
WHITE SHADING	ENG	WHITE SHADING 画面を開くインデックスです。
FLARE	ENG	FLARE 画面を開くインデックスです。
COLORIMETRY	ENG	COLORIMETRY 画面を開くインデックスです。
INITIALIZE	ENG	INITIALIZE 画面を開くインデックスです。
DIAGNOSTIC	ENG	DIAGNOSTIC 画面を開くインデックスです。
EVALUATION	ENG	EVALUATION 画面を開くインデックスです。
OPTION	ENG	OPTION 画面を開くインデックスです。

ROP 画面

ROP (Remote Operation Panel) を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER PED (FILM MENU) (CAM MENU)	-200 ⋮ 0 ⋮ +18 ⋮ +200 (最大)	USER ENG	MASTER PEDESTAL のレベル設定。
MASTER DTL	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	USER ENG	H. DTL/V. DTLのレベル 設定。
MASTER GAMMA	0.35 ⋮ 0.45 ⋮ 0.75	USER ENG	MASTER GAMMAの設 定。(0.01 ステップ) LOW/MID/HIGHで、異 なった値を記憶させるこ とができます。
R GAIN	-200 ⋮ +000 ⋮ +200 (最大)	USER ENG	R chのゲイン設定。
G GAIN	-200 ⋮ +000 ⋮ +200 (最大)	USER ENG	G chのゲイン設定。
B GAIN	-200 ⋮ +000 ⋮ +200 (最大)	USER ENG	B chのゲイン設定。
R PEDESTAL	-100 ⋮ +000 ⋮ +100 (最大)	USER ENG	R chのPEDESTALレベ ル設定。
G PEDESTAL	-100 ⋮ +000 ⋮ +100 (最大)	USER ENG	G chのPEDESTALレベ ル設定。
B PEDESTAL	-100 ⋮ +000 ⋮ +100 (最大)	USER ENG	B chのPEDESTALレベ ル設定。

MATRIX 画面

カメラのマトリックスの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MATRIX TABLE	A B	ENG	色調整表の選択。
MATRIX R-G	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整
MATRIX R-B	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整
MATRIX G-R	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整
MATRIX G-B	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整
MATRIX B-R	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整
MATRIX B-G	-31 ⋮ +00 ⋮ +31	ENG	色調整

<ノート>

- MATRIX を変えてもホワイトバランス、ブラックバランスは変
化しません。
- MATRIX TABLE は A、B の 2 種類を記憶させることができま
す。
- MATRIX TABLE B のプリセットモードは、全て 00 です。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

COLOR CORRECTION1 画面

カメラの色飽和度調整と色相調整の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R (SAT) R (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：赤
Mg (SAT) Mg (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：マゼンタ
B (SAT) B (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：青
Cy (SAT) Cy (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：シアン
G (SAT) G (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：緑
YI (SAT) YI (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：黄

COLOR CORRECTION2 画面

カメラの色飽和度調整と色相調整の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R-Mg (SAT) R-Mg (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：赤とマゼンタの間
Mg-B (SAT) Mg-B (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：マゼンタと青の間
B-Cy (SAT) B-Cy (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：青とシアンの間
Cy-G (SAT) Cy-G (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：シアンと緑の間
G-YI (SAT) G-YI (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：緑と黄の間
YI-R (SAT) YI-R (PHASE)	-63 ⋮ <u>+00</u> ⋮ +63	ENG	色飽和度調整と色相調整 ：黄と赤の間

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

LOW SETTING 画面

LOW レベル GAIN の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER GAIN (FILM MENU)	-3dB ∴ <u>0dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	-3dB、0dB、3dB、 6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dB が 設定可能。
(CAM MENU)	-6dB ∴ <u>0dB</u> ∴ 30dB		-6dB、-3dB、0dB、 3dB、6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dB が 設定可能。
H. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>8</u> ∴ 12 ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>12</u> ∴ 16 ∴ 31		
V. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>12</u> ∴ 16 ∴ 31	USER ENG	V.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>16</u> ∴ 31		
DTL CORING	0 ∴ <u>2</u> ∴ 15	USER ENG	ディテール信号のノイズ 除去レベルを設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>22</u> ∴ 31	USER ENG	H. DTL FREQUENCY の 選択。
LEVEL DEPEND.	0 ∴ <u>2</u> ∴ 5	USER ENG	LEVEL DEPEND の設 定。 Yディテール強調時、暗 部のみディテールを除 去します。 数値が大きいくほど、除去 する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	+3, +2, +1, <u>OFF</u> , -1, -2, -3	USER ENG	黒レベルの階調を補正し ます。
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選 択。
COLOR CORRECT	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12 軸独立色補正の ON/OFF 切り替え

MID SETTING 画面

MIDDLE レベル GAIN の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER GAIN (FILM MENU)	-3dB ∴ <u>3dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	-3dB、0dB、3dB、 6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dB が 設定可能。
(CAM MENU)	-6dB ∴ <u>6dB</u> ∴ 30dB		-6dB、-3dB、0dB、 3dB、6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dB が 設定可能。
H. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>8</u> ∴ 12 ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>12</u> ∴ 16 ∴ 31		
V. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>12</u> ∴ 16 ∴ 31	USER ENG	V.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>16</u> ∴ 31		
DTL CORING	0 ∴ <u>2</u> ∴ 15	USER ENG	ディテール信号のノイズ 除去レベルを設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>22</u> ∴ 31	USER ENG	H. DTL FREQUENCY の 選択。
LEVEL DEPEND.	0 ∴ <u>2</u> ∴ 5	USER ENG	LEVEL DEPEND の設 定。 Yディテール強調時、暗 部のみディテールを除 去します。 数値が大きいくほど、除去 する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	+3, +2, +1, <u>OFF</u> , -1, -2, -3	USER ENG	黒レベルの階調を補正し ます。
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選 択。
COLOR CORRECT	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12 軸独立色補正の ON/OFF 切り替え

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

HIGH SETTING 画面

HIGHレベルGAINの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER GAIN (FILM MENU)	-3dB ∴ <u>6dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	-3dB、0dB、3dB、 6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dBが 設定可能。
(CAM MENU)	-6dB ∴ <u>12dB</u> ∴ 30dB		-6dB、-3dB、0dB、 3dB、6dB、9dB、12dB、 18dB、24dB、30dBが 設定可能。
H. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>8</u> ∴ 12 ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>12</u> ∴ 16 ∴ 31		
V. DTL LEVEL (FILM MENU)	0 ∴ <u>12</u> ∴ 16 ∴ 31	USER ENG	V.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
(CAM MENU)	<u>16</u> ∴ 31		
DTL CORING	0 ∴ <u>5</u> ∴ 15	USER ENG	ディテール信号のノイズ 除去レベルを設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>22</u> ∴ 31	USER ENG	H. DTL FREQUENCYの 選択。
LEVEL DEPEND.	0 ∴ <u>5</u>	USER ENG	LEVEL DEPENDの設定。 Yディテール強調時、暗 部のみのディテールを除 去します。 数値が大きいくほど、除去 する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	+3, +2, +1, <u>OFF</u> , -1, -2, -3	USER ENG	黒レベルの階調を補正し ます。
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選 択。
COLOR CORRECT	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12軸独立色補正の ON/OFF切り替え

ADDITIONAL DTL1 画面

カメラの特殊 DTL の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
KNEE APERTURE	ON OFF	USER ENG	ニアパチャの ON/OFF 切り替え。 ニアポイントから上のデ ィテールが強調されます。
SLIM DTL	ON <u>OFF</u>	USER ENG	ディテールを細くするモ ードの ON/OFF 切り替 え。

ADDITIONAL DTL2 画面

カメラの特殊 DTL の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
KNEE APE LVL	0 ∴ <u>5</u>	USER ENG	高輝度部のディテールレ ベルを変えます。
DTL GAIN (+)	-31 ∴ <u>+00</u> ∴ +31	USER ENG	H.ディテールの+方向の レベルを変えます。
DTL GAIN (-)	-31 ∴ <u>+00</u> ∴ +31	USER ENG	H.ディテールの- (下) 方向のレベルを変えます。
DTL CLIP	0 ∴ <u>47</u> ∴ 63	USER ENG	ディテール信号のクリッ プを変えます。
DTL SOURCE	(G+B)/2 (R+G)/2 (2G+R+B)/4 (3G+R)/4 R G	USER ENG	ディテールを作成する RGB 信号成分の比率の設 定
V DTL FREQ.	360TV 450TV 540TV <u>630TV</u> 720TV	USER ENG	V.DTL (ディテール) 周 波数の設定

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

SKIN TONE DTL 画面

カメラのSKIN TONE DTLの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SKIN TONE DTL	ON OFF	USER ENG	肌色ディテールのON/OFF切り替え。
SKIN TONE ZEBRA	ON OFF	USER ENG	SKIN TONE 範囲でのZEBRAのON/OFF切り替え。 ZEBRAの見える範囲でディテール量が変わります。
SKIN DTL CORING	0 ∴ 5 ∴ 7	USER ENG	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定。
Y MAX	0 ∴ 190 ∴ 255	ENG	ディテールを効かせる、輝度レベルの最大値を設定します。
Y MIN	0 ∴ 10 ∴ 255	ENG	ディテールを効かせる、輝度レベルの最小値を設定します。
I CENTER	0 ∴ 55 ∴ 255	ENG	ディテールを効かせる、I軸レベルの中心の値を設定します。
I WIDTH	0 ∴ 90 ∴ 255	ENG	ディテールを効かせる、I軸レベルの最小値を設定します。
Q WIDTH	0 ∴ 10 ∴ 255	ENG	ディテールを効かせる、Q軸レベルの最大値を設定します。
Q PHASE	-31 ∴ 0 ∴ +31	ENG	ディテールを効かせる、Q軸レベルの最小値を設定します。

KNEE/LEVEL 画面

カメラのKNEEの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER PED (FILM MENU) (CAM MENU)	-200 ∴ 0 ∴ +18 ∴ +200	USER ENG	MASTER PED (マスターペダスタルレベル) の設定。
MANUAL KNEE	ON OFF	USER ENG	AUTO KNEE スイッチがOFFのときのモード設定。
KNEE POINT (FILM MENU) (CAM MENU)	30% ∴ 65% ∴ 90% ----- 80% ∴ 95% ∴ 107%	USER ENG	MANUAL KNEE POINTの位置設定。 <ノート> GAMMA 画面のCINE GAMMA SEL 項目でFILM RECを選択したときは、この設定が無効になります。
KNEE SLOPE (FILM MENU) (CAM MENU)	150% ∴ 500% ∴ 600% ----- 0 ∴ 50 ∴ 99	USER ENG	MANUAL KNEEの傾きの設定。 <ノート> GAMMA 画面のCINE GAMMA SEL 項目でFILM RECを選択したときは、この設定が無効になります。
WHITE CLIP	ON OFF	USER ENG	WHITE CLIPのON/OFF切り替え。
WHITE CLIP LVL	90% ∴ 109%	USER ENG	WHITE CLIP LEVELの設定。
A. KNEE POINT (CAM MENU) (FILM MENU)	80% ∴ 95% ∴ 100% ∴ 107%	USER ENG	AUTO KNEEのPOINTの位置設定。
A. KNEE LVL	100 ∴ 108 109	USER ENG	AUTO KNEEの最大レベルの設定。
A. KNEE RESPONSE	1 2 3 4	USER ENG	AUTO KNEEの応答速度の設定。

<ノート>
GAMMA 画面のCINE GAMMA SEL 項目でVIDEO RECを選択したときは、KNEE POINT 項目とKNEE SLOPE 項目でガンマ特性を設定します。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

GAMMA 画面

カメラのガンマの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MASTER GAMMA (FILM MENU)	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	本機をフィルムモードで操作するときのマスターガンマを設定
R GAMMA	- 15 ∴ <u>+ 0</u> ∴ + 15	USER ENG	マスターガンマに対してのRch ガンマの補正值。
B GAMMA	- 15 ∴ <u>+ 0</u> ∴ + 15	USER ENG	マスターガンマに対してのBch ガンマの補正值。
CINE GAMMA SEL (FILM MENU)	FILM REC <u>VIDEO REC</u>	USER ENG	本機をフィルムモードで操作するときのガンマ特性を設定します。 FILM REC : フィルム用シネガンマ特性を使用します。 VIDEO REC : ビデオ用シネガンマ特性を使用します。
BLACK STR. LVL (FILM MENU)	<u>0%</u> ∴ 30%	USER ENG	BLACK STRECH の位置設定。 <ノート> ● CINE GAMMA SEL 項目で FILM REC を選択したときに、この設定が有効になります。 ● KNEE/LEVEL 画面の KNEE POINT 項目と KNEE SLOPE 項目の設定は、無効になります。
DYNAMIC LVL (FILM MENU)	200% 300% 400% <u>500%</u>	USER ENG	ダイナミックレンジの設定。 <ノート> ● CINE GAMMA SEL 項目で FILM REC を選択したときに、この設定が有効になります。 ● KNEE/LEVEL 画面の KNEE POINT 項目と KNEE SLOPE 項目の設定は、無効になります。

<ノート>

CINE GAMMA SEL 項目で FILM REC を選択したときは、BLACK STR. LVL 項目と DYNAMIC LVL 項目でガンマ特性を設定します。

CAMERA SETTING 画面

カメラの基本設定の ON/OFF を切り替えます。

項目	可変範囲	VF表示	備考
DETAIL	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ディテール (H、V) の ON/OFF 切り替え。 (H、V 同時に ON/OFF)
HIGH COLOR	<u>ON</u> OFF	USER ENG	色のダイナミックレンジを拡大するモードの ON/OFF 切り替え。 二ポイント以上の色を強調します。
GAMMA	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ガンマ補正の ON/OFF 切り替え。
TEST SAW	<u>ON</u> OFF	USER ENG	テスト信号の ON/OFF 切り替え。
FLARE	<u>ON</u> OFF	USER ENG	フレア補正の ON/OFF 切り替え。
H-F COMPE	<u>ON</u> OFF	USER ENG	高域周波数補正モードの ON/OFF 切り替え。
LIGHTING (FILM MENU)	<u>TUNGSTEN</u> DAY LIGHT	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値をタングステンライトタイプとデイライトタイプに切り替えます。
D5600K (CAM MENU)	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値を 5600K に切り替えます。 <ノート> 設定を変更したときは、必ずブラックバランスの調整 (59 ページ) を行ってください。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

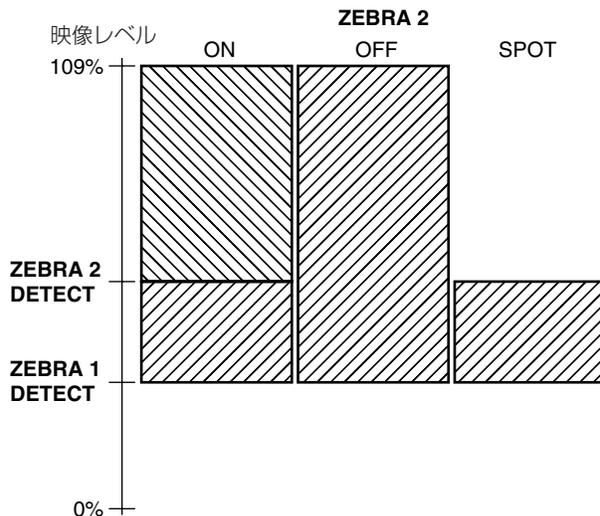
VF DISPLAY 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考																																			
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	USER ENG	NORMAL : ステータスを常に表示 HOLD : MODE CHECK SWが ONのときにステータ スを表示																																			
DISP MODE	1 2 3	USER ENG	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">変 化</th> <th colspan="3">表 示</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FILTER</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>GAIN</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>AWB</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>AUTO KNEE SW</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SHUTTER</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ABB STATUS</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>AWB STATUS</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	変 化	表 示			1	2	3	FILTER	×	×	○	GAIN	×	×	○	AWB	×	×	○	AUTO KNEE SW	×	○	○	SHUTTER	×	○	○	ABB STATUS	×	○	○	AWB STATUS	×	○	○
変 化	表 示																																					
	1	2	3																																			
FILTER	×	×	○																																			
GAIN	×	×	○																																			
AWB	×	×	○																																			
AUTO KNEE SW	×	○	○																																			
SHUTTER	×	○	○																																			
ABB STATUS	×	○	○																																			
AWB STATUS	×	○	○																																			
VF OUT	Y NAM R G B	USER ENG	VF OUTの選択。 NAM (N Additive Mix) : R、G、Bの中で一番レベ ルの大きい信号を出力し ます。																																			
VF DTL	0 : 4 5	USER ENG	VF DTLの選択。 VF用の信号ディテールを さらに強調します。 「0」の場合は本線と同じ ディテールになります。																																			
ZEBRA1 DETECT (CAM MENU) (FILM MENU)	0% : 70% : 80% : 109%	USER ENG	ZEBRA1 検出レベル (IRE 値) の設定。																																			
ZEBRA2 DETECT	0% : 85% : 109%	USER ENG	ZEBRA2 検出レベル (IRE 値) の設定。																																			
ZEBRA2	ON OFF SPOT	USER ENG	ZEBRA2のON/OFF切 り替えとSPOTの選定。 「ゼブラパターンの表示」 を参照 <ノート> SPOTで使用する場合は、 ZEBRA2 DETECTの値 をZEBRA1 DETECTの 値より大きい値に設定し てください。 ZEBRA2 DETECTの値 が、ZEBRA1 DETECT の値以下の場合は、 ZEBRA表示をしません。																																			

項目	可変範囲	VF表示	備考
LOW LIGHT LVL (FILM MENU) (CAM MENU)	OFF 20% 25% : 40% 45%	USER ENG	カメラの入力光量が低い ときにLOW LIGHTを表 示する切り替え。
SYNCHRO SCAN DISP. (CAM MENU) (FILM MENU)	sec % deg	USER ENG	SYNCHRO SCAN モー ドを表示する単位の設定。
ECU MENU DISP.	ON OFF	USER ENG	エクステンションコント ロールユニットAJ-EC3 でメニュー操作を行った ときに、メニュー画面を 表示する設定。

ゼブラパターンの表示



可変範囲の ___ はプリセットモードです。

VF MARKER 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SAFETY ZONE	OFF 1 : 3 : 12	USER ENG	セーフティーゾーンの表示切り替え。 1 : 80%と90%のコーナー表示 2 : 80%のコーナー表示 3 : 90%のコーナー表示 4 : 80%と90%のボックス表示 5 : 80%のボックス表示 6 : 90%のボックス表示 7 : 4:3モードで、80%と90%のコーナー表示 8 : 4:3モードで、80%のコーナー表示 9 : 4:3モードで、90%のコーナー表示 10 : 4:3モードで、80%と90%のボックス表示 11 : 4:3モードで、80%のボックス表示 12 : 4:3モードで、90%のボックス表示
CENTER MARK	ON OFF	USER ENG	センターマーカ表示のON/OFF切り替え。
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO	USER ENG	フレームマーカの表示切り替え。 (VISTA = 1:1.85) (CNSCO = 1:2.35)
MARK	ON OFF	USER ENG	フレームマーカ表示ON/OFF切り替え。
LVL	0 : 15	USER ENG	フレームマーカより外側の映像レベル設定。

VF INDICATOR 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
EXTENDER	ON OFF	USER ENG	エクステンダー表示のON/OFF切り替え。
SHUTTER	ON OFF	USER ENG	シャッタースピード表示のON/OFF切り替え。
FILTER	ON OFF	USER ENG	フィルターNo.表示のON/OFF切り替え。
WHITE	ON OFF	USER ENG	AWB PRE/A/B表示のON/OFF切り替え。
GAIN	ON OFF	USER ENG	現在選択されているゲイン表示のON/OFF切り替え。
IRIS	S IRIS S+IRIS OFF	USER ENG	S : スーパーアイリスON状態のみを表示します。 IRIS : 絞り値のみを表示 S+IRIS : スーパーアイリスON状態と絞り値を両方表示します。 OFF : スーパーアイリスON状態と絞り値を両方とも表示しません。
CAMERA ID	ON OFF	USER ENG	カラーバー表示中のID表示ON/OFF切り替え。
ZOOM LVL	ON OFF	USER ENG	ズームポジション数値の表示ON/OFF切り替え。
COLOR TEMP	ON OFF	USER ENG	色温度の表示ON/OFF切り替え。
FRAME RATE	ON OFF	USER ENG	フレームレートの表示ON/OFF切り替え。
VERSION ID (FILM MENU)	ON OFF	USER ENG	使用しているガンマカーブを、内蔵カラーバー信号の記録モードのときに表示します。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

CAMERA ID 画面

カメラ ID の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
ID 1: *****	—	ENG	カメラ ID の入力 (10 文字以内) <ノート> VF DISPLAY 画面の「CAMERA ID」の ON/OFF で、この設定値を MIX するかを選択します。
ID 2: *****			
ID 3: *****			

- JOG ダイヤルボタンを回して「ID 1 : ~ 3 :」の項目にカーソルを移動します。
- JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が ID 入力エリアに移動して入力モードになります。
- 再度 JOG ダイヤルボタンを押し、JOG ダイヤルボタンを回して文字を選択します。
JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース：□
↓
アルファベット：A～Z
↓
数字：0～9
↓
記号：'、>、<、/、—
の順に切り替わります。
- JOG ダイヤルボタンを押すと、文字が入力されます。
- JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、3・4 の操作を繰り返して、文字を入力します。（10 文字以内）
- 文字の入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

↓
ID 1 : *****

- JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~ 3 :」の項目に戻ります。

→ ID 1 : *****
ID 2 :
ID 3 :

SHUTTER SPEED 画面

SHUTTER SELECT 画面でシャッタースピードを設定した各 POSITION の中から、使用するシャッタースピードを選択します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SYNCHRO SCAN 1	ON OFF	ENG	SYNCHRO SCAN 1 を選択
SYNCHRO SCAN 2	ON OFF	ENG	SYNCHRO SCAN 2 を選択
POSITION 1	ON OFF	ENG	POSITION 1 を選択
POSITION 2	ON OFF	ENG	POSITION 2 を選択
POSITION 3	ON OFF	ENG	POSITION 3 を選択
POSITION 4	ON OFF	ENG	POSITION 4 を選択
POSITION 5	ON OFF	ENG	POSITION 5 を選択
POSITION 6	ON OFF	ENG	POSITION 6 を選択

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

SHUTTER SELECT 画面

各 POSITION にシャッタースピードを設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SYNCHRO SCAN 2	90.0 deg : <u>180.0 deg</u> : 225.0 deg	ENG	SYNCHRO SCAN 2 に設定するシャッタースピード
POSITION 1 SEL (FILM MENU)	<u>180.0 deg</u> 172.8 deg 144.0 deg 120.0 deg 90.0 deg 45.0 deg 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 1 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			
POSITION 2 SEL (FILM MENU)	180.0 deg <u>172.8 deg</u> 144.0 deg 120.0 deg 90.0 deg 45.0 deg 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 2 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			
POSITION 3 SEL (FILM MENU)	180.0 deg 172.8 deg <u>144.0 deg</u> 120.0 deg 90.0 deg 45.0 deg 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 3 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			

項目	可変範囲	VF表示	備考
POSITION 4 SEL (FILM MENU)	180.0 deg 172.8 deg 144.0 deg <u>120.0 deg</u> 90.0 deg 45.0 deg 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 4 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			
POSITION 5 SEL (FILM MENU)	180.0 deg 172.8 deg 144.0 deg 120.0 deg <u>90.0 deg</u> 45.0 deg 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 5 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			
POSITION 6 SEL (FILM MENU)	180.0 deg 172.8 deg 144.0 deg 120.0 deg 90.0 deg <u>45.0 deg</u> 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	ENG	POSITION 6 に設定するシャッタースピード
(CAM MENU)			

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

！ LED 画面

ビューファインダー内の④ランプ表示のON/OFFを設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
GAIN (0dB)	ON OFF	USER ENG	ゲインが0dB以外のときに点灯するかどうかの選択。
GAIN (-3dB)	ON OFF	USER ENG	ゲインが-3dB以外のときに点灯するかどうかの選択。
SHUTTER	ON OFF	USER ENG	シャッターON時に点灯するかどうかの選択。
WHITE PRESET	ON OFF	USER ENG	AWBのCHがPRESETのときに点灯するかどうかの選択。
EXTENDER	ON OFF	USER ENG	レンズがEXTENDERモードのときに点灯するかどうかの選択。
FILTER	ON OFF	USER ENG	フィルターが3200K以外のときに点灯するかどうかの選択。
BLACK STR	ON OFF	USER ENG	ブラックストレッチがONのときに点灯するかどうかの選択。
DAY LIGHT (FILM MENU)	ON OFF	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値がDAY LIGHTのときに点灯するかどうかの選択。
D5600K (CAM MENU)	ON OFF	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値が5600Kのときに点灯するかどうかの選択。
MATRIX	ON OFF	USER ENG	MATRIXがONのときに点灯するかどうかの選択。
COLOR CORRECTION	ON OFF	USER ENG	COLOR CORRECTIONがONのときに点灯するかどうかの選択。
FRAME RATE	ON OFF	USER ENG	フレームレートが11fps以下に設定されているときに点灯するかどうかの選択。

<ノート>

GAIN (0dB) と GAIN (-3dB) が両方とも ON のときは、ゲインが-3dB と 0dB 以外のときに④ランプが点灯します。

CAMERA SW MODE 画面

カメラのスイッチモードの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
FILTER INH	ON OFF	USER ENG	各フィルターごとにAWBメモリー (Ach、Bch) のデータを持つか、持たないかの切り替え。 ON : フィルターに無関係に Ach、Bchメモリーのみ (2メモリー) OFF : 各フィルターごとに持ちます。 (4×2=8メモリー)
SHOCKLESS AWB	OFF NORMAL SLOW FAST	USER ENG	SHOCKLESS AWB のの選択。 SHOCKLESS AWB は、WHITE BAL SW の A/B/PRST を切り替えたときのショックがありません。 切り替え時間を FAST (高速)、NORMAL (普通)、SLOW (遅く) から選択できます。 FAST (約 0.5 秒)、NORMAL (約 1 秒)、SLOW (約 3 秒)
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS	USER ENG	カラーバーを選択します。 SMPTE : SMPTE カラーバー FULL BARS : フルカラーバー
S. GAIN OFF	S.GAIN L/M/H	USER ENG	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 S.GAIN : スーパーゲイン SW のみで解除します。 L/M/H : L/M/H SW の変化で解除します。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

CAMERA SW MODE 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
USER1 SW (FILM MENU) (CAM MENU)	INH S.GAIN S.IRIS S.BLK B.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW	USER ENG	USER1 SWに機能を割り当てます。 <ノート> ● B.STRを設定した場合、黒レベルの階調補正を+3にする機能を割り当てます。 ● Y GETを設定した場合、出力輝度レベルの測定をする機能を割り当てます。 ビューファインダーのセンターマーカー付近の出力輝度レベルを、約3秒間、%の単位でビューファインダーの画面中央に表示します。
USER2 SW (CAM MENU)	INH S.GAIN S.IRIS S.BLK B.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW	USER ENG	USER2 SWに機能を割り当てます。 <ノート> ● B.STRを設定した場合、黒レベルの階調補正を+3にする機能を割り当てます。 ● Y GETを設定した場合、出力輝度レベルの測定をする機能を割り当てます。 ビューファインダーのセンターマーカー付近の出力輝度レベルを、約3秒間、%の単位でビューファインダーの画面中央に表示します。
S. BLK LVL	OFF -10 -20 -30	USER ENG	スーパーブラックのレベルを設定します。
ECU DATA SAVE	ON OFF	USER ENG	ON : エクステンションコントロールユニットAJ-EC3でコントロールしたDATAを記憶します。 OFF : DATAは記憶されません。
AUTO KNEE SW (FILM MENU)	ON OFF	USER ENG	サイドパネルのOUTPUT/AUTO KNEEスイッチをCAM. AUTO KNEE ONの位置にしたときのオートニー機能動作を設定します。 ON : オートニー機能を動作させます。 OFF : オートニー機能を動作させません。
(CAM MENU)	ON OFF		

SUPER GAIN 画面

SUPER GAIN スイッチに割り付けるゲインの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
S. GAIN VALUE	18dB 24dB 30dB 36dB	USER ENG	SUPER GAIN SWが押されたときのゲインを選択します。

FRAME MODE 画面

フレームレートの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
FRAME RATE RANGE	60-12 60-4	USER ENG	フレームレートの可変範囲を選択します。 60-12: 60 fps ~ 12 fps 60-4 60 fps ~ 4 fps
FRAME RATE (CAM MENU) (FILM MENU)	60 : 24 : 4	USER ENG	フレームレートを設定します。 <ノート> FRAME RATE RANGEが「60-12」に設定されているときは、11fps以下に設定することができません。
SCAN REVERSE	ON OFF	USER ENG	プライムレンズを使用したときに映像を補正する機能。 ON : 映像を補正します。(映像の天地左右を反転します。) OFF : 映像を補正しません。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

CAM CARD READ/WRITE 画面

メニューデータのセットアップカードへの読み出し/書き込みおよびコンフィグレーションを行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SELECT	1 ⋮ 8	USER ENG	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ	—	USER ENG	セットアップカードのデータを読み出します。
SELECT	1 ⋮ 8	USER ENG	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
WRITE	—	USER ENG	カメラのデータをセットアップカードへ書き込みます。
CARD CONFIG	—	USER ENG	セットアップカードをフォーマットします。
TITLE READ	—	USER ENG	セットアップカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
READ USER DATA	—	USER ENG	カメラのメモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
TITLE 1:~ TITLE 8:	—	USER ENG	各ファイルに8文字までのタイトル名が設定できます。

CAM CARD R/W SELECT 画面

特定のメニューデータをセットアップカードへ記録/読み出しする設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
ID READ/WRITE	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にCAMERA IDの記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p> <p>例: セットアップカードのREAD/WRITEするときにCAMERA IDの内容を変更したくない場合は、ID READ/WRITEをOFFにしてご使用ください。</p>

CAM CARD R/W SELECT 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
CAM MAIN MENU1 LEVEL R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にFILM (CAM) MAIN MENU1 (■マーク以外の項目)の記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p> <p><ノート> ■マークの項目は、91ページを参照してください。</p>
CAM MAIN MENU1 SW (■) R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にFILM (CAM) MAIN MENU1 (■マークの項目)の記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU2 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にFILM (CAM) MAIN MENU2の記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU3 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にFILM (CAM) MAIN MENU3の記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU4 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードのREAD/WRITE時にFILM (CAM) MAIN MENU4の記録/読み出しのON/OFF切り替え。</p> <p>ON : 記録/読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録/読み出しをしません。</p>

<ノート>

フレーム周波数の設定は、本機を再起動したときに切り替わります。設定を変更した場合は、一度POWERスイッチを「OFF」にして電源を切り、再度電源を「ON」にしてください。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

GENLOCK/IRIS 画面

GENLOCK と IRIS 制御の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
H PHASE COARSE	0 ∴ 7 ∴ 15	USER ENG	GENLOCK 時の H PHASE の粗調整
H PHASE FINE	0 ∴ 32 ∴ 64	USER ENG	GENLOCK 時の H PHASE の微調整
A. IRIS LEVEL	0 ∴ 50 ∴ 100	USER ENG	AUTO IRIS 目標値の設定。 この値で、明るさ (IRIS) をコントロールします。 数値が大きいほど明るくなります。
A. IRIS PEAK/AVE	0 ∴ 50 ∴ 100	USER ENG	AUTO IRIS のピークと平均値の割合の設定。 0 に近づく程 AVE 制御型になり、100 に近づくほどピーク制御型になります。
A. IRIS MODE	NORM1 NORM2 CENTR	USER ENG	AUTO IRIS のモード選択。 NORM1 : 画面全体で光を計測します。(周辺部は除く) NORM2 : 画面全体で光を計測します。(上部は除く) CENTR : 画面中心部だけの光を計測します。
S. IRIS LEVEL	0 ∴ 80 ∴ 100	USER ENG	SUPER IRIS 目標値の設定 (逆光補正モード)
IRIS GAIN	CAM <u>LENS</u>	USER ENG	アイリスのゲイン調整をカメラで行うか、レンズで行うかを設定します。
IRIS GAIN VALUE	1 ∴ 6 ∴ 10	USER ENG	アイリスのゲイン調整値の設定

LENS ADJ 画面

レンズの調整を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
F2.8 ADJ	ON <u>OFF</u>	ENG	ON で選択されているときのみ電圧出力。
F16 ADJ	ON <u>OFF</u>	ENG	ON で選択されているときのみ電圧出力。

<ノート>

レンズ絞りのオープン端、クローズ端調整ができるレンズをご使用の場合は、“F2.8ADJ”または、“F16ADJ”をONにし、レンズ絞りが“F2.8”または、“F16”になるように、何度か繰り返し調整してください。

(この調整機能を持っていないレンズの場合は、調整は不要です。)

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

FILM (CAM) USER MENU SELECT 1 ~ 3 画面

各 SUB メニューに割り当てられた項目（FILM MAIN MENU または CAM MAIN MENU 1 ~ 3 画面と同じ項目内容）を USER MENU 画面へ登録する設定を行います。

各項目の先頭部に、登録の ON（*）/OFF（●）を設定します。

カメラ部の登録数は、42 項目までです。

FILM (CAM) USER MENU SELECT 1 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
ROP	ENG	ROP 画面を開くインデックスです。
LOW SETTING	ENG	LOW SETTING 画面を開くインデックスです。
MID SETTING	ENG	MID SETTING 画面を開くインデックスです。
HIGH SETTING	ENG	HIGH SETTING 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL1	ENG	ADDITIONAL DTL1 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL2	ENG	ADDITIONAL DTL2 画面を開くインデックスです。
SKIN TONE DTL	ENG	SKIN TONE DTL 画面を開くインデックスです。
KNEE/LEVEL	ENG	KNEE/LEVEL 画面を開くインデックスです。
GAMMA	ENG	GAMMA 画面を開くインデックスです。
CAMERA SETTING	ENG	CAMERA SETTING 画面を開くインデックスです。

FILM (CAM) USER MENU SELECT 2 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
VF DISPLAY	ENG	VF DISPLAY 画面を開くインデックスです。
VF MARKER	ENG	VF MARKER 画面を開くインデックスです。
VF INDICATOR	ENG	VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
!LED	ENG	!LED 画面を開くインデックスです。
CAMERA SW MODE	ENG	CAMERA SW MODE 画面を開くインデックスです。
SUPER GAIN	ENG	SUPER GAIN 画面を開くインデックスです。
FRAME MODE	ENG	FRAME MODE 画面を開くインデックスです。

FILM (CAM) USER MENU SELECT 3 画面

SUB メニュー	VF表示	備考
CAM CARD READ/WRITE	ENG	CAM CARD READ/WRITE 画面を開くインデックスです。
CAM CARD R/W SELECT	ENG	CARD R/W SELECT 画面を開くインデックスです。
GENLOCK/IRIS	ENG	GENLOCK/IRIS 画面を開くインデックスです。

BLACK SHADING 画面

ブラックシェーディングの調整を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
DETECTION	—	ENG	デジタルシェーディング補正の実行
CORRECT (DIG)	ON OFF	ENG	デジタルシェーディング補正のON/OFF切り替え

WHITE SHADING 画面

ホワイトシェーディングの調整を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SELECT	1 : 8	ENG	ホワイトシェーディングファイルの番号を指定します。
READ	—	ENG	SELECTで指定されたホワイトシェーディングファイルを読み出します。
DETECTION (V SAW)	—	ENG	垂直方向に発生するホワイトシェーディングの補正を実行し、SELECTで指定されたホワイトシェーディングファイルにデータを記録します。
CORRECT	ON OFF	ENG	シェーディング補正のON/OFF切り替え
TITLE 1 : 8	—	ENG	各ファイルに12文字までのタイトル名が設定できます。

FLARE 画面

カメラのフレアの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R FLARE	0 : 100	ENG	Rch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。
G FLARE	0 : 100	ENG	Gch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。
B FLARE	0 : 100	ENG	Bch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。

COLORIMETRY 画面

輝度信号の規格を選択します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MATRIX	SMPTE-274 SMPTE-240 NTSC	ENG	輝度信号の規格を選択します。

INITIALIZE 画面

フィルム (カメラ) メニュー設定の初期化や、シーンファイルの保存を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
READ FACTORY DATA	—	ENG	フィルム (カメラ) メニューのデータを工場出荷時のデータに戻します。
WRITE USER DATA	—	ENG	ユーザー固有のフィルム (カメラ) メニューデータを本機のメモリーにセーブします。
SCENE SEL	1 : 4	ENG	シーンファイルの番号を指定します。
READ	—	ENG	SCENE SELで指定されたシーンファイルを読み出します。
WRITE	—	ENG	SCENE SELで指定されたシーンファイルに書き込みます。
RESET	—	ENG	シーンファイルのデータを工場出荷時のデータに戻します。
TITLE 1	—	ENG	シーンファイル No. 1 にタイトル名を設定します。
TITLE 2	—	ENG	シーンファイル No. 2 にタイトル名を設定します。
TITLE 3	—	ENG	シーンファイル No. 3 にタイトル名を設定します。
TITLE 4	—	ENG	シーンファイル No. 4 にタイトル名を設定します。

<ノート>

フレーム周波数の設定は、本機を再起動したときに切り替わりません。設定を変更した場合は、一度 POWER スイッチを「OFF」にして電源を切り、再度電源を「ON」にしてください。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

DIAGNOSTIC 画面

使用状況やソフトウェアバージョンを表示します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
CAMSOFT (IN)	—	ENG	内蔵フラッシュメモリー用ソフトのバージョン表示
CAMSOFT (OUT)	—	ENG	外部フラッシュメモリー用ソフトのバージョン表示
CAM TABLE	—	ENG	ガンマテーブルのバージョン表示
PLD (CAM)	—	ENG	カメラシステムコンピューター用プログラムソフトのバージョン表示
PLD (SHD)	—	ENG	シェーディング用プログラムソフトのバージョン表示

EVALUATION 画面

各項目の測定を行います。

(S/N、MODULATION、RESOLUTION、SENSITIVITY)

SUBメニュー	VF表示	備考
S/N	ENG	S/Nの測定画面を開くインデックスです。
MODULATION	ENG	変調度の測定画面を開くインデックスです。
RESOLUTION	ENG	解像度の測定画面を開くインデックスです。
SENSITIVITY	ENG	感度の測定画面を開くインデックスです。

OPTION 画面

エンジニアメニューの表示を選択します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
ENG SECURITY	ON OFF	ENG	エンジニアメニューの表示を選択 ON : エンジニアメニューを表示しません。 OFF : エンジニアメニューを表示します。
SHD, ABB SW CTRL	ON OFF	ENG	8秒間以上 AUTO W/BAL スイッチを ABB 側に押し続けたときの、ブラックシェーディング自動補正を選択します。 ON : ブラックシェーディングの自動補正を行います。 OFF : ブラックシェーディングの自動補正を行いません。
AWB AREA	25% 50% 90%	ENG	ホワイトバランスの検出領域を選択します。
AWB & ABB OFFSET	ON OFF	ENG	オートホワイトバランスやオートブラックバランスを行った後に行う、FILM (CAM) MAIN MENU 1 「ROP 画面」で設定されたゲイン値とペダスタル値の処理を設定します。 ON : 設定値が付加されます。 OFF : ゼロにリセットします。
CAM MENU SEL	VIDEO MENU FILM MENU	ENG	本機の動作モードを設定します。 VIDEO MENU : ビデオモードに設定します。 FILM MENU : フィルムモードに設定します。
SYSTEM FREQ.	59.94Hz 60.00Hz	ENG	本機のフレーム周波数を設定

<ノート>

ENG SECURITYの解除については、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

EVALUATION 画面

● S/N 測定画面

S/N の測定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
S/N		ENG	S/N の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED	- 200 ⋮ + 140 ⋮ + 200	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 解像度測定画面

解像度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
RESOLUTION		ENG	解像度の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED (FILM MENU) (CAM MENU)	- 200 ⋮ 0 ⋮ + 18 ⋮ + 200	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 変調度測定画面

変調度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MODULATION		ENG	変調度の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED (FILM MENU) (CAM MENU)	- 200 ⋮ 0 ⋮ + 18 ⋮ + 200	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 感度測定画面

感度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SENSITIVITY		ENG	感度の測定 ON/OFF を設定します。
KNEE	ON OFF	ENG	KNEE の ON/OFF を行います。
W. CLIP	ON OFF	ENG	ホワイトクリップの ON/OFF を行います。
M. PED (FILM MENU) (CAM MENU)	- 200 ⋮ 0 ⋮ + 18 ⋮ + 200	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

VTR MAIN MENU 画面

SUB メニュー	VF表示	備 考
FUNCTION	ENG	FUNCTION 画面を開くインデックス です。
BATTERY/ TAPE	ENG	BATTERY/TAPE 画面を開くインデ ックスです。
BATTERY SETTING	ENG	BATTERY SETTING 画面を開くイン デックスです。
VTR VF INDICATOR	ENG	VTR VF INDICATOR 画面を開くイン デックスです。
MIC/AUDIO	ENG	MIC/AUDIO 画面を開くインデックス です。
TC/UB	ENG	TC/UB 画面を開くインデックスで す。
TIME/DATE	ENG	TIME/DATE 画面を開くインデック スです。
VTR USER MENU SELECT	ENG	VTR USER MENU SELECT 画面を 開くインデックスです。
VTR CARD READ/WRITE	ENG	VTR CARD READ/WRITE 画面を開 くインデックスです。
VTR INITIALIZE	ENG	VTR INITIALIZE 画面を開くインデ ックスです。
DIAGNOSTIC	ENG	VTR DIAGNOSTIC 画面を開くイン デックスです。

FUNCTION 画面

VTRの機能の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
NEWS REC MODE	OFF 0.2 : 2.0	USER ENG	REC 時における VTR START ボタンの受付時間の選択。 OFF : VTR START ボタンをすぐに受け付け、記録を停止して REC PAUSE モードになります。 0.2~2.0 : 設定された時間内は、VTR START ボタンを受け付けずに記録を継続します。 (0.2 秒単位)
HUMID OPE	ON OFF	USER ENG	結露状態での VTR の動作の選択。 ON : 通常通りの動作を続ける。 OFF : POWER SW と EJECT ボタン以外の動作を禁止します。
REC START	ALL NORMAL	USER ENG	VTR START ボタンでの REC の受け付けを選択。 ALL : VTR モードに関係なく REC を受け付ける。 NORMAL : STOP (POWER SAVE) モードと REC PAUSE モードのときのみ REC を受け付ける。
PAUSE TIMER	10 20 30 60	USER ENG	REC PAUSE を保持する時間の選択。 10/20/30/60 : 10/20/30/60 分間
RETAKE MODE	ON OFF	USER ENG	記録開始時の位置にテープを巻き戻す機能。 ON : RETAKE 機能が動作します。 OFF : RETAKE 機能が動作しません。 <ノート> 本機の電源スイッチを ON にしたときは、RETAKE 機能が OFF になります。

項目	可変範囲	VF表示	備考
HD SDI OUT	ON SIDE SW AUTO OFF	USER ENG	HD SDI OUT の出力を制御します。 ただし、記録中は HD SDI OUT 出力の ON/OFF 切り替えができません。記録開始前の状態を維持します。 ON : 強制的に出力します。 ただし、サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは、EE/PB モードとして出力します。 SIDE SW : サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは出力しません。 AUTO : 出力端子にコネクタが装着されているときに出力します。 ただし、サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは、EE/PB モードとして出力します。 OFF : 出力を停止します。
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	USER ENG	間欠記録モードの選択 ON : 間欠記録を行います。 ONE SHOT : 間欠記録を一度行い、停止します。 OFF : 間欠記録を行いません。 <ノート> 本機の電源スイッチを ON にしたときは、間欠記録モードが OFF になります。
INTERVAL REC TIME	00s10f : 59s29f	USER ENG	間欠記録時の REC 時間の設定 <ノート> 1 秒以下に設定した場合、初回の記録時間は 1 秒になります。
INTERVAL PAUSE TIME	00h00m02s : 23h59m59s	USER ENG	間欠記録時の REC PAUSE 時間の設定

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

FUNCTION 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
ECU REC CHK SW	R. REVIEW RETAKE	USER ENG	エクステンションコントロールユニットAJ-EC3のREC CHK ボタンを押したときに行う、本機の動作を選択します。 R. REVIEW : Rec review 動作を行います。 RETAKE : RETAKE 動作を行った後、再生を行います。
CHARACTER ON SDI	MENU STATUS	USER ENG	SDI 出力信号にスーパーインポーズする項目を選択します。 MENU : MENU スイッチを押したときにメニュー画面をスーパーインポーズします。 STATUS : メニュー画面やビューファインダーの状態表示をスーパーインポーズします。 <ノート> サイドパネルのCHARACTER スイッチがOFFのときは、スーパーインポーズしません。

BATTERY/TAPE 画面

撮影中にバッテリー残量とテープ残量の警告音が気になる場合は、警告音を切ることができます。

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATTERY SELECT	AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 TRIM13 DIGITAL14 DIGITAL13 BP-H90 BP-H100 NP-L40 NP-L40 D BP-L60/90 NP-1B	USER ENG	使用するバッテリーの種類を選択します。 AJ-BP490 : AJ-BP490 バッテリー AU-BP402 : AU-BP402 バッテリー HP-30A : PACO 社製 HP-30A バッテリー PRO14 : アントン社製 PRO14 バッテリー TRIM14 : アントン社製 TRIM14 バッテリー TRIM13 : アントン社製 TRIM13 バッテリー DIGITAL14 : アントン社製デジタルバッテリー (14V) DIGITAL13 : アントン社製デジタルバッテリー (13V) BP-H90 : IDX 社製 BP-H90 バッテリー BP-H100 : IDX 社製 BP-H100 バッテリー NP-L40 : IDX 社製 NP-L40 バッテリー NP-L40 D : IDX 社製 NP-L40D デジタルバッテリー BP-L60/90 : SONY 社製 BP-L60/90 バッテリー NP-1B : SONY 社製 NP-1B バッテリー
EXT DC IN SELECT	AC-ADPT AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 TRIM13 BP-H90 BP-H100 NP-L40 BP-L60/90 NP-1B	USER ENG	DC IN 端子に接続する電源を設定します。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

BATTERY/TAPE 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	USER ENG	バッテリー消耗間近での警告音 ON/OFF 切り替え。
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	USER ENG	MODE スイッチにより、バッテリー消耗間近での警告音を止める機能を切り替えます。
BATT END ALARM	ON OFF	USER ENG	バッテリー消耗時での警告音 ON/OFF 切り替え。
BATT REMAIN FULL	100% 70%	USER ENG	LCD 表示窓に表示されるバッテリー残量表示が FULL 状態（7つのセグメントが全て点灯した状態）での容量を表します。
TAPE NEAR END ALARM	ON OFF	USER ENG	テープ終端間近での警告音 ON/OFF 切り替え。
TAPE NEAR END TIME	3min 2min	USER ENG	テープ終端間近に警告音を鳴らす、テープの残量時間を設定。
TAPE END ALARM	ON OFF	USER ENG	テープ終端時での警告音 ON/OFF 切り替え。
TAPE REMAIN/■	3min/■ 5min/■	USER ENG	LCD 表示窓に表示されるテープ残量表示のセグメント1つの時間を設定します。 3min/■ : セグメント1つを3分に設定します。 5min/■ : セグメント1つを5分に設定します。

BATTERY SETTING 画面

使用するバッテリーの種類や設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
AJ-BP490	MANUAL AUTO	ENG	AJ-BP490 および PACO 社製 HP-90A バッテリーの設定
AU-BP402	MANUAL AUTO	ENG	AU-BP402 バッテリーの設定
HP-30A	MANUAL AUTO	ENG	PACO 社製 HP-30A バッテリーの設定
PRO14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 PRO14 バッテリーの設定
TRIM14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 TRIM14 バッテリーの設定
TRIM13	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 TRIM13 バッテリーの設定
DIGITAL14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製デジタルバッテリー（14V）の設定
DIGITAL13	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製デジタルバッテリー（13V）の設定
BP-H90	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 BP-H90 バッテリーの設定
BP-H100	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 BP-H100 バッテリーの設定
NP-L40	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 NP-L40 バッテリーの設定
NP-L40 D	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 NP-L40D デジタルバッテリーの設定
BP-L60/90	MANUAL AUTO	ENG	SONY 社製 BP-L60/90 バッテリーの設定
NP-1B	MANUAL AUTO	ENG	SONY 社製 NP-1B バッテリーの設定

<ノート>

- 各項目の ON/OFF は、項目の前に * と ● で表示されます。
* : ON
● : OFF
- JOG ダイヤルボタンを押す毎に、

ON/OFF の設定



AUTO/MANUAL の設定

AUTO : 各バッテリーにプリセットされている NEAR END 電圧値

MANUAL : 各バッテリーの NEAR END 電圧値が変更可能



NEAR END 電圧の設定



項目の移動

と移行していきます。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

VTR VF INDICATOR 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
TAPE (IND)	ON OFF	USER ENG	テープ残量表示のON/OFF切り替え。
BATTERY (IND)	ON OFF	USER ENG	バッテリー電圧表示のON/OFF切り替え。
LEVEL METER (IND)	CH1 CH1・CH2 OFF	USER ENG	オーディオレベルメータ表示の選択。 CH1 : CH1のみ表示します。 CH1・CH2 : CH1とCH2の両方を表示します。 OFF : 表示しません。
AUDIO IN (IND)	ON OFF	USER ENG	オーディオ入力表示のON/OFF切り替え。 ON : オーディオ入力を表示します。 OFF : オーディオ入力を表示しません。
TC (IND)	TCG TCR TCG/TCR OFF	USER ENG	表示するタイムコードを選択します。 TCG : E-E時にタイムコードジェネレーター値を表示します。 TCR : V-V時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR : E-E時はタイムコードジェネレーター値を表示し、V-V時はタイムコードリーダー値を表示します。 OFF : タイムコードを表示しません。
VTR WARNING (IND)	ALWAYS NORMAL OFF	USER ENG	VTRのワーニング表示内容を設定します。 ALWAYS : ワーニングが発生した場合、常に表示します。 NORMAL : ワーニングが発生後3秒間と、REC開始後やREC終了後の3秒間に表示します。 OFF : 表示しません。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SAVE LED	SAVE&TAPE SAVE	USER ENG	SAVEランプの動作を設定します。 SAVE : VTR SAVE/STBYスイッチをSAVEにしたときに点灯します。記録中は消灯します。 SAVE&TAPE : VTR SAVE/STBYスイッチをSAVEにしたときに点灯します。記録中は消灯します。また、テープの終端間近には、テープの終端間近に鳴る警告アラームに連動して点滅します。

MIC/AUDIO 画面

MIC/AUDIOの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	USER ENG	ON : フロントマイクにファントム電源を供給します。 OFF : フロントマイクにファントム電源を供給しません。
MIC LOWCUT CH1	FRONT REAR F&R OFF	USER ENG	CH1マイク入力へのハイパスフィルターを設定 FRONT : フロントマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 REAR : リアマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 F&R : フロントマイクとリアマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 OFF : CH1入力のハイパスフィルターをOFFにします。

<ノート>

MIC LOWCUT ON時の周波数特性は、200Hz～10kHzになります。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

MIC/AUDIO 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
MIC LOWCUT CH2	FRONT REAR F&R <u>OFF</u>	USER ENG	CH2 マイク入力へのハイパスフィルターを設定 FRONT : フロントマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 REAR : リアマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 F&R : フロントマイクとリアマイクの入力にハイパスフィルターをONします。 OFF : CH1 入力のハイパスフィルターをOFFにします。
LIMITER	ON <u>OFF</u>	USER ENG	AUDIO LIMITERのON/OFF切り替え。 ON : リミッター動作します。 OFF : リミッター動作しません。
TEST TONE	<u>NORMAL</u> ALWAYS OFF CHSEL	USER ENG	NORMAL : CAM/BAR SWがBAR側で、AUDIO IN SWのCH1がFRONTのときにTEST TONE信号を出力します。 ALWAYS : CAM/BAR SWがBARのときTEST TONE信号を出力します。 OFF : TEST TONEは信号出力しません。 CHSEL : CAM/BAR SWがBAR側で、AUDIO IN SWのCH1またはCH2がFRONTのときに、選択されているチャンネルにTEST TONE信号を出力します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
REC CH3/CH4	<u>CH1/2</u> CH3/4	USER ENG	CH3トラックとCH4トラックに記録する音声信号を設定します。 CH1/2 : CH1信号をCH3トラックに記録し、CH2信号をCH4トラックに記録します。 CH3/4 : カメラアダプターから入力される信号CH3信号とCH4信号を記録します。
CUE SELECT	<u>SIDE SW</u> CH1 CH2 MIX	USER ENG	CUEトラックに記録する音声信号を設定します。 SIDE SW : サイドパネルのCUEスイッチで選択された信号を記録します。 CH1 : CH1信号を記録します。 CH2 : CH2信号を記録します。 MIX : CH1とCH2のミックス信号を記録します。
CUE REC	<u>ON</u> OFF	USER ENG	CUEトラックに信号を記録する設定を行います。 ON : CUEトラックに信号を記録します。 OFF : CUEトラックに信号を記録しません。省電力モードになります。
EMBEDDED AUDIO (60 Hz)	ON <u>OFF</u>	USER ENG	フレーム周波数を60.00Hzに設定したときに、HD SDI OUT端子にエンベデッドオーディオ信号を出力する設定を行います。 ON : エンベデッドオーディオ信号を出力します。 OFF : エンベデッドオーディオ信号を出力しません。

<ノート>

MIC LOWCUT ON時の周波数特性は、200Hz～10kHzになります。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

TC/UB 画面

タイムコードやユーザズビットの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
TC MODE	DF NDF	USER ENG	タイムコードのDF/NDF切り替え。 DF : ドロップフレームモード NDF : ノンドロップフレームモード <ノート> フレームレートを24fpsに設定したときは、ノンドロップフレームモードで本機は処理します。
UB MODE	USER DATE TIME EXT TCG	USER ENG	LTC 領域に書き込むユーザズビットの内容 USER : ユーザー設定値 (固定値) DATE : 年/月/日/時のリアルタイム値 TIME : 時/分/秒のリアルタイム値 EXT : 外部からTC入力がある時、UBG値がスレーブブロックします。(外部入力がないときは、ユーザー設定値を使います) TCG : タイムコードジェネレーター値 <ノート> UB MODEをリアルタイム動作で使用する場合は「TIME/DATE」メニュー画面で時刻の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
TCG SET HOLD	ON OFF	USER ENG	TCG SET ⇨ 電源 OFF ⇨ 電源 ON ⇨ RECでのTCGの動作選択 ON : TCG SETしたことを電源OFF時に記憶し、REGENしません。 OFF : TCG SETしたことを電源OFF時に記憶せず、REGENします。
FIRST REC TC	REGEN PRESET	USER ENG	記録開始時のTC REGENモードを設定します。 REGEN : テープ上のタイムコードにリジェネします。ただし、フレームレートを24fpsに設定したとき、テープ上のタイムコードがドロップフレームモードの部分にはリジェネしません。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジェネを行います。ただしREC/PAUSEからRECになったときは強制的にリジェネします。

<ノート>

UB MODE項目をUSERに設定した場合は、VITC UB MODE項目をEXTに設定することはできません。同様にVITC UB MODE項目をUSERに設定した場合、UB MODE項目をEXTに設定することはできません。

本機は、撮影速度を示すフレームレート情報と、フレーム映像が切り替わった先頭フレームを示すアクティブフレーム情報が、テープ管理情報としてサブコードトラック領域 (従来のLTC領域) のユーザズビットに自動的に格納されます。これらの情報は、TC OUT 端子やHD SDI OUT 端子から出力されます。なお、アクティブフレーム情報は、ユーザズビットの最下位の桁に格納され、フレームレート情報は、下位3桁目と4桁目に格納されます。

<ノート>

- TC/UB screenのUB MODE項目で「DATE」や「TCG」、「USER」を設定したときは、最下位の桁から下位4桁目にテープ管理情報が出力されますので、他のユーザズビット情報が出力されません。
- このテープ管理情報は、VIDEO AUX領域 (従来のVITC領域) のユーザズビット情報としては出力されません。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

TC/UB 画面

タイムコードやユーザースピットの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
P. OFF LCD DISPLAY	ON OFF	USER ENG	電源 OFF 時における LCD 表示の設定 ON : 電源 OFF 時でも LCD の表意を行います。 OFF : 電源 OFF 時には、LCD の表意を行いません。 省電力モードになります。
TC OUT	TCG TCG/TCR	USER ENG	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG : 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR : E-E 時はタイムコードジェネレーター値を出力し、V-V 時はタイムコードリーダー値を出力します。
VITC UB MODE	USER DATE TIME EXT TCG	USER ENG	VITC 領域に書き込むユーザースピットの内容 USER : ユーザー設定値 (固定値) DATE : 年/月/日/時のリアルタイム値 TIME : 時/分/秒のリアルタイム値 EXT : 外部から TC 入力がある時、UBG 値がスレーブブロックします。(外部入力がないときは、ユーザー設定値を使います) TCG : タイムコードジェネレーター値 <ノート> ● UB MODE をリアルタイム動作で使用する場合は「TIME/DATE」メニュー画面で時刻の設定を行います。 ● テープ管理情報は、VITC 領域のユーザースピット情報としては出力されません。

項目	可変範囲	VF表示	備考
TC DISP SEL	24F 25F 30F	USER ENG	タイムコードのフレームの桁に表示される 1 秒間のフレーム数を設定します。 24F : 0 ~ 23 で表示します。 25F : 0 ~ 24 で表示します。 30F : 0 ~ 29 で表示します。

<ノート>

UB MODE 項目を USER に設定した場合、VITC UB MODE 項目を EXT に設定することはできません。
同様に VITC UB MODE 項目を USER に設定した場合、UB MODE 項目を EXT に設定することはできません。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

TIME DATE 画面

日付／時刻の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
YEAR	00~02~99	ENG	年の設定
MONTH	1~12	ENG	月の設定
DAY	1~31	ENG	日の設定
HOUR	0~23	ENG	時の設定
MINUTE	0~59	ENG	分の設定
■ TIME/DATE SET	—	ENG	日付／時刻の確定

VTR INITIALIZE 画面

VTR MENU 設定の初期化や、ユーザーデータの保存を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
READ FACTORY DATA	—	ENG	メニューデータを工場出荷時のデータに戻します。
WRITE VTR USER DATA	—	ENG	ユーザー固有の VTR MENU データを本機のメモリーにセーブします。

VTR USER MENU SELECT 画面

この画面は、VTR 部の USER MENU へ登録する項目の画面を開くためのインデックス画面です。

SUB メニュー	VF表示	備考
FUNCTION	ENG	FUNCTION 画面を開くインデックスです。
BATTERY/TAPE	ENG	BATTERY/TAPE 画面を開くインデックスです。
VTR VF INDICATOR	ENG	VTR VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
MIC/AUDIO	ENG	MIC/AUDIO 画面を開くインデックスです。
TC/UB	ENG	TC/UB 画面を開くインデックスです。

DIAGNOSTIC 画面

使用状況やソフトウェアバージョンを表示します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
OPERATION	—	ENG	電源 ON での使用時間
DRUM RUNNING	—	ENG	ドラムの回転時間
THREADING	—	ENG	ローディング回数
VTR SYSCON	—	ENG	システムマイコンのバージョン表示
SERVO	—	ENG	サーボマイコンのバージョン表示
MECHACON	—	ENG	メカニズム制御マイコンのバージョン表示
FRONT	—	ENG	LCD パネル駆動マイコンのバージョン表示

VTR CARD READ/WRITE 画面

メニューデータのセットアップカードへの読み込み／書き込みを行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
READ	—	ENG	セットアップカードの VTR データを読み出します。
WRITE	—	ENG	VTR のデータをセットアップカードへ書き込みます。
READ USER DATA	—	ENG	本機の内部メモリーの、VTR ユーザーエリアデータを読み込みます。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 VTR USER MENU SELECT

USER MENU 画面への登録 ON (*) /OFF (●) を設定します。

VTR 部の登録数は、14 項目までです。

FUNCTION 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
NEWS REC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、NEWS REC MODE 項目を登録する設定。
HUMID OPE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、HUMID OPE 項目を登録する設定。
REC START	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、REC START 項目を登録する設定。
PAUSE TIMER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、PAUSE TIMER 項目を登録する設定。
RETAKE MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、RETAKE MODE 項目を登録する設定。
HD SDI OUT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、HD SDI OUT 項目を登録する設定。
INTERVAL REC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL REC MODE 項目を登録する設定。
INTERVAL REC TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL REC TIME 項目を登録する設定。
INTERVAL PAUSE TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL PAUSE TIME 項目を登録する設定。
ECU REC CHK SW	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、ECU REC CHK SW 項目を登録する設定。
CHARACTER ON SDI	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、CHARACTER ON SDI 項目を登録する設定。

BATTERY/TAPE 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATTERY SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATTERY SELECT 項目を登録する設定。
EXT DC IN SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、EXT DC IN SELECT 項目を登録する設定。
BATT NEAR END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT NEAR END ALARM 項目を登録する設定。
BATT NEAR END CANCEL	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT NEAR END CANCEL 項目を登録する設定。
BATT END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT END ALARM 項目を登録する設定。
BATT REMAIN FULL	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT REMAIN FULL 項目を登録する設定。
TAPE NEAR END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE NEAR END ALARM 項目を登録する設定。
TAPE NEAR END TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE NEAR END TIME 項目を登録する設定。
TAPE END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE END ALARM 項目を登録する設定。
TAPE REMAIN /■	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE REMAIN /■ 項目を登録する設定。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 VTR USER MENU SELECT

USER MENU 画面への登録 ON (*) /OFF (●) を設定します。

VTR 部の登録数は、14 項目までです。

VTR VF INDICATOR 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
TAPE (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
BATTERY (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATTERY (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
LEVEL METER (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、LEVEL METER (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
AUDIO IN (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、AUDIO IN (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
TC (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TC (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
VTR WARNING (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、VTR WARNING (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
SAVE LED	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、SAVE LED 項目を登録する設定。

MIC/AUDIO 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
FRONT MIC POWER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、FRONT MIC POWER 項目を登録する設定。
MIC LOWCUT CH1	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、MIC LOWCUT CH1 項目を登録する設定。
MIC LOWCUT CH2	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、MIC LOWCUT CH2 項目を登録する設定。
LIMITER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、LIMITER 項目を登録する設定。
TEST TONE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TEST TONE 項目を登録する設定。
REC CH3/CH4	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、REC CH3/CH4 項目を登録する設定。

MIC/AUDIO 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
CUE SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、CUE SELECT 項目を登録する設定。
CUE REC	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、CUE REC 項目を登録する設定。
EMBEDDED AUDIO (60 Hz)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、EMBEDDED AUDIO (60 Hz) 項目を登録する設定。

TC/UB 画面

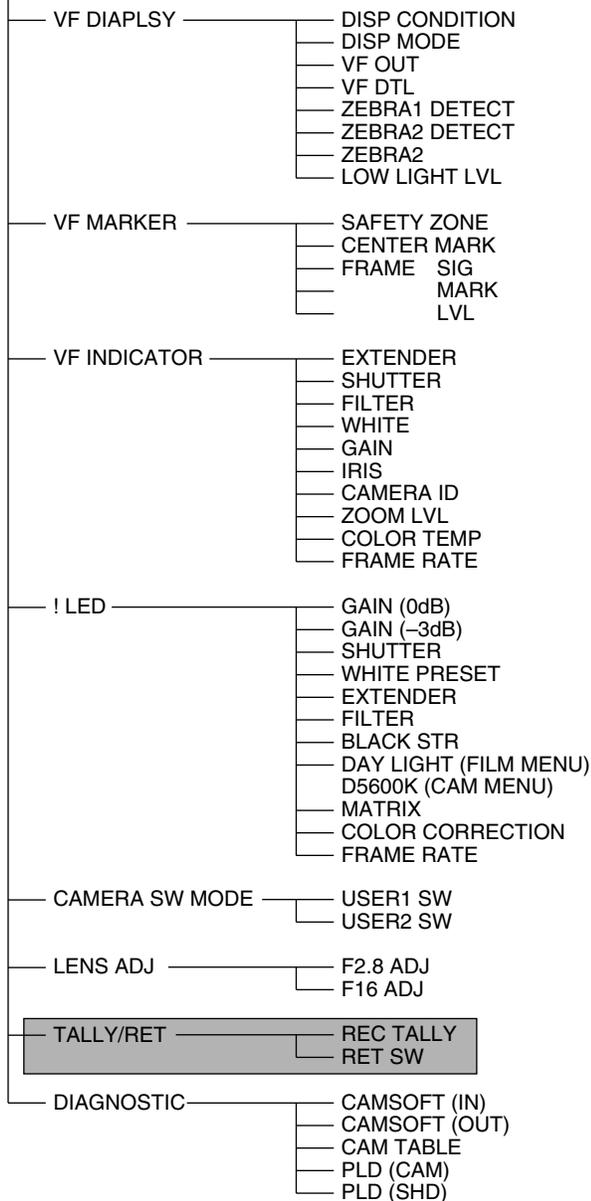
項目	可変範囲	VF表示	備考
TC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TC MODE 項目を登録する設定。
UB MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、UB MODE 項目を登録する設定。
TCG SET HOLD	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TCG SET HOLD 項目を登録する設定。
FIRST REC TC	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、FIRST REC TC 項目を登録する設定。
P.OFF LCD DISPLAY	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、P.OFF LCD DISPLAY 項目を登録する設定。
TC OUT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TC OUT 項目を登録する設定。
VITC UB MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、VITC UB MODE 項目を登録する設定。
TC DISP SEL	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TC DISP SEL 項目を登録する設定。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

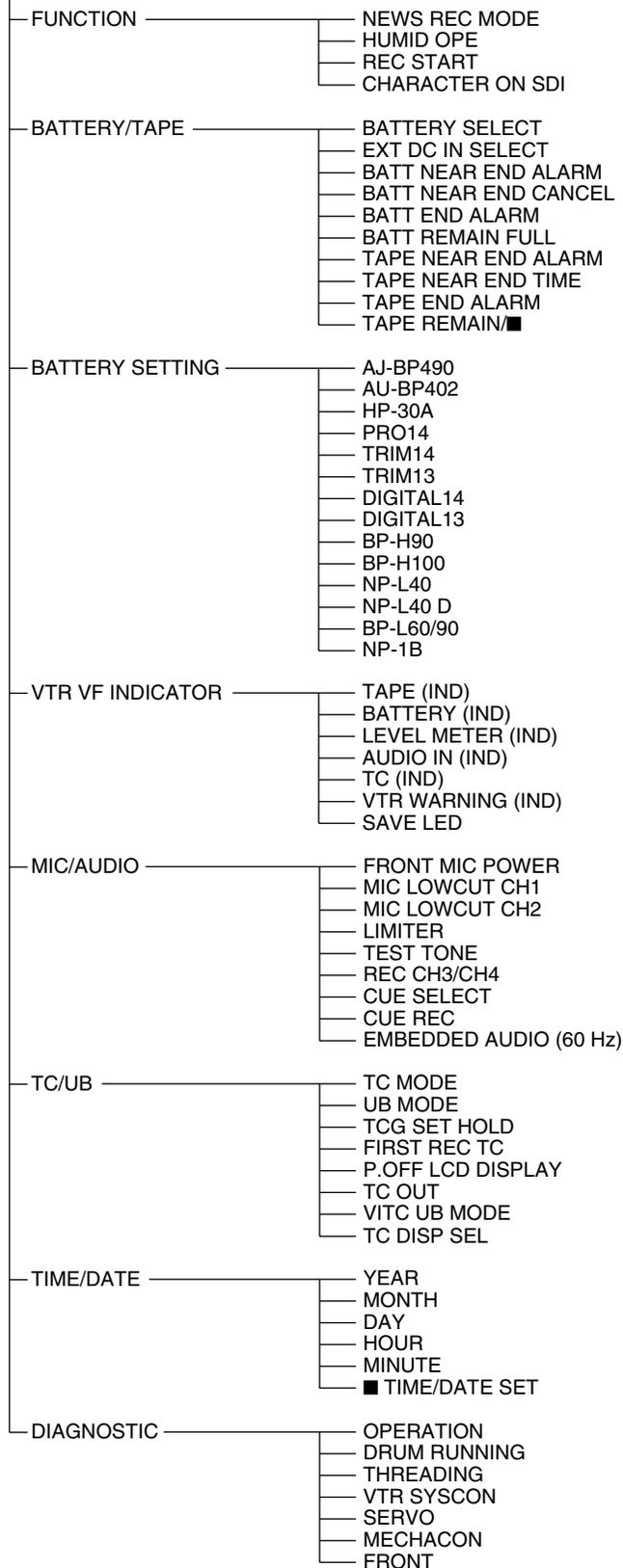
リモートメニュー画面

外部延長装置が接続されたときは、下記のメニューが表示されます。
 FILM (CAM) REMOTE MENU の TARRY/RET 画面が新しく追加されます。
 他のメニューの詳細は、91～124 ページを参照してください。

FILM (CAM) REMOTE MENU



VTR REMOTE MENU



TALLY/RET 画面

タリーランプの点灯色とレンズの RET ボタンの働きを設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
REC TALLY	RED GREEN CHARA	USER ENG	記録時におけるタリーランプの点灯色を設定します。 RED : 赤色で点灯します。 GREEN : 緑色で点灯します。 CHARA : ビューファインダーに「REC」を表示します。タリーランプは点灯しません。
RET SW	CAM RET REC CHECK	USER ENG	レンズの RET ボタンを押したときに行う動作を設定します。 CAM RET : カメラコントロールワークステーション (AJ-HBS270) から送られてくる映像をビューファインダーで確認します。 REC CHECK : 記録された内容 (2 秒間のレックレビュー) の確認ができます。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

警告システム

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、表示窓（LCD）やWARNINGランプ、ビューファインダー内のランプ、スピーカー、イヤホンからの警告音が異常発生を知らせます。

■ SLACK

LCDの表示	<ul style="list-style-type: none"> ● SLACK表示が点滅します。 ● タイムコード表示位置に、エラーコードを表示します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
警告アラーム	連続的に鳴ります。
ビューファインダー	SLACK表示が点滅します。
警告内容	テープの巻き取り異常です。
VTR部の動作	停止します。 ソレノイドの異常を検出したときは、電源が切れます。（LCDの警告表示は継続します。）
対 策	表示窓のエラーコード（129ページ参照）を確認し、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ RF

LCDの表示	RF表示が点滅します。（記録中）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中）
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中）
ビューファインダー	RF表示が点灯します。（記録中）
警告内容	ビデオヘッドの目詰まりです。記録系に異常があります。
VTR部の動作	ヘッドの目詰まりを検出して、警告音を出します。 クリーニングローラーが作動し、ヘッドをクリーニングします。（10秒間以上） 記録を継続しますが、正しく記録できない場合があります。 警告表示は、REC/PAUSE状態まで保持します。REC/PAUSEからモードが移行した時点で消灯します。
対 策	ヘッドクリーニングをします。 クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切り、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ REC WARNING

LCDの表示	タイムコード表示位置に、「00:00:00:11」を表示します。（記録中に5秒間以上）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中に3秒間以上）
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中に3秒間以上）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中に3秒間以上）
ビューファインダー	REC WARNING表示が点滅します。（記録中に3秒間以上）
警告内容	記録制御信号の異常です。
VTR部の動作	記録を継続しますが、警告が表示されている間は、正しく記録できない場合があります。
対 策	本機内部の制御信号異常です。 最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ SERVO

LCDの表示	SERVO表示が点灯します。（記録中と再生中）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中と再生中）
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中と再生中）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中と再生中）
ビューファインダー	SERVO表示が点灯します。（記録中と再生中）
警告内容	サーボが乱れています。
VTR部の動作	動作を継続しますが、正しく動作しない場合があります。
対 策	電源を切り、販売店にご相談ください。 テープ走行開始時に、警告表示が一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。

警告システム

■ HUMID

LCDの表示	HUMID表示が点灯します。 結露検出解除後も、80分間は点滅します。
WARNINGランプ	<ul style="list-style-type: none"> 結露を検出したときに点灯します。 結露検出解除後、1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
警告アラーム	<ul style="list-style-type: none"> 記録中は、1秒間に4回鳴ります。 記録中以外は、連続的に鳴ります。
ビューファインダー	HUMID表示が点灯します。
警告内容	結露が発生しています。
VTR部の動作	設定メニュー「HUMID OPE」の設定によりVTR部の動作が変わります。 <ul style="list-style-type: none"> ONに設定されているときは、動作を継続します。 OFFに設定されているときは、記録動作は継続しますが、テープ貼り付きを起こすと、記録を停止します。 結露検出解除後80分間は、ドラムを回転させ動作を受け付けません。
対 策	テープ走行を停止し、電源を切ってください。 再度電源を入れても、HUMID表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。

■ TAPE NEAR END

LCDの表示	
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
警告アラーム	1秒間に1回鳴ります。(記録中) 設定メニューで切り替え可能です。
ビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> テープ残量表示が1秒間に1回点滅します。(EEモード時) SAVEランプが警告アラームに連動して点滅します。(VTR MENUのVTR VF INDICATOR画面SAVE LED項目でSAVE&TAPEに設定されているとき) ☐が1秒間に1回点滅します。(記録中に3秒間)
警告内容	テープの終端間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、カセットテープを交換します。

■ TAPE END

LCDの表示	
WARNINGランプ	点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
警告アラーム	連続的に鳴ります。(停止中とスタンバイオフ時)
ビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> 停止中とスタンバイオフ時に、SAVEランプが1秒間に4回点滅します。(VTR MENUのVTR VF INDICATOR画面SAVE LED項目でSAVE&TAPEに設定されているとき) ☐が点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
警告内容	テープの終端です。
VTR部の動作	記録、再生、早送り中は、動作を停止します。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

■ BATTERY NEAR END

LCDの表示	
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。
ビューファインダー	BATT表示が1秒間に1回点滅します。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

■ BATTERY END

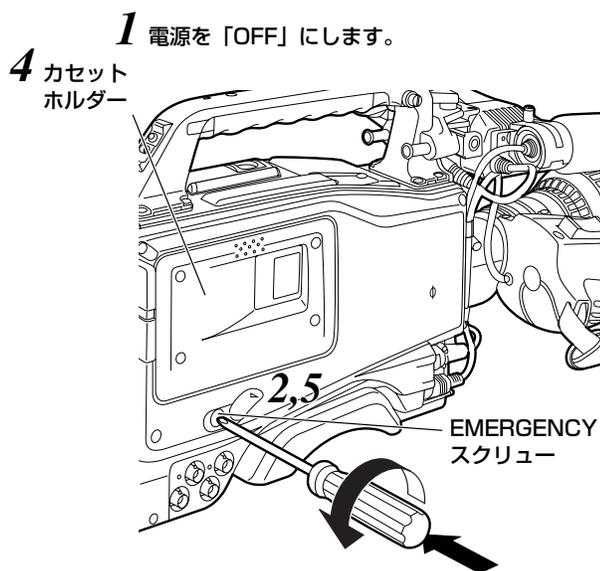
LCDの表示	
WARNINGランプ	点灯します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
警告アラーム	連続的に鳴ります。
ビューファインダー	BATT表示が点灯します。
警告内容	バッテリーの消耗です。
VTR部の動作	全ての動作を停止して、テープをアンロードします。 カセットテープのイジェクト動作のみを受け付けます。
対 策	バッテリーを交換します。

EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等で EMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

1 電源を「OFF」にします。

2 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーを EMERGENCY スクリュー（赤色）の十字部に挿入します。



3 押しながら回します。

- 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転必要です。
- 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転必要です。

3 ドライバーを押しながら、テープがイジェクトするまで EMERGENCY スクリューを反時計方向に回転させます。

- 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転必要です。
- 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転必要です。

4 カセットを取り出します。

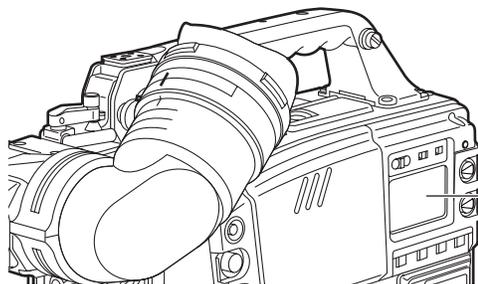
5 ゴムキャップを元に戻します。

<ノート>

- 緊急以外はこの EMERGENCY スクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。また、テープがイジェクトした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- テープがイジェクトした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニクスの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。
- EMERGENCY スクリューを回す際、クリック（カチカチ）音がしますが、リール駆動の動作音であり、異常ではありません。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓に下記のエラーコードを表示します。



コード No.	内容
04	ピンチソレノイド異常
08	クリーニングソレノイド異常
0B	供給リールの異常
0C	巻き取りリールの異常
0D	キャプスタン異常
0E	シリンダーの異常
0F	ローディング異常
38	サーボ通信異常
3F	カメラ通信異常
6F	基準信号異常
11	ビデオ初期化異常

メンテナンス

結露

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気の多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気が、ヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」と言い、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに貼り付きやすくなります。

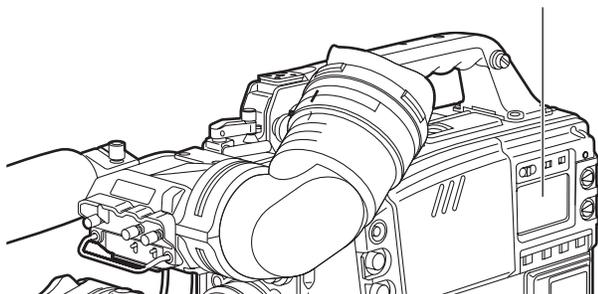
次のような点にご注意ください。

- 結露の可能性のある状況で本機を起動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、電源スイッチを「ON」にして、表示窓に HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。

<ノート>

結露検出解除後も安全のため、80 分間 HUMID を点滅表示させて、ドラムを回転させます。この間は、操作ボタンを受け付けません。

HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセット AJ-CL12LP をお使いください。使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアブローアで取り除いてください。

CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

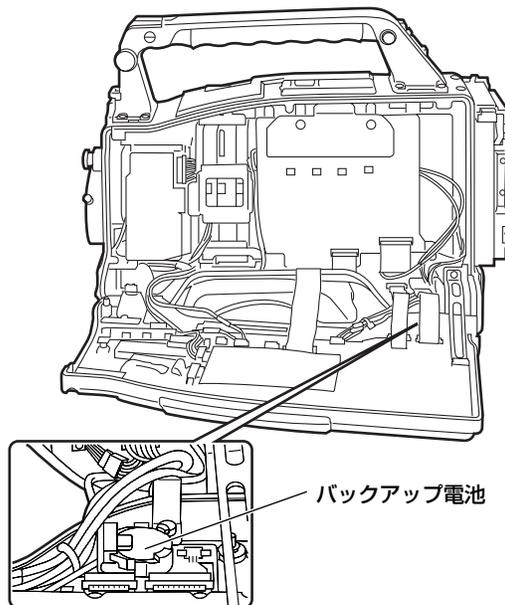
バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

電池が消耗すると、POWER スイッチを ON にしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示が 3 秒間表示されます。

また、TCG のタイムコード値が「00 : 00 : 00 : 00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

最寄りのサービスセンターにご相談のうえ、新しい電池 (CR2032 または BR2032) と交換してください。

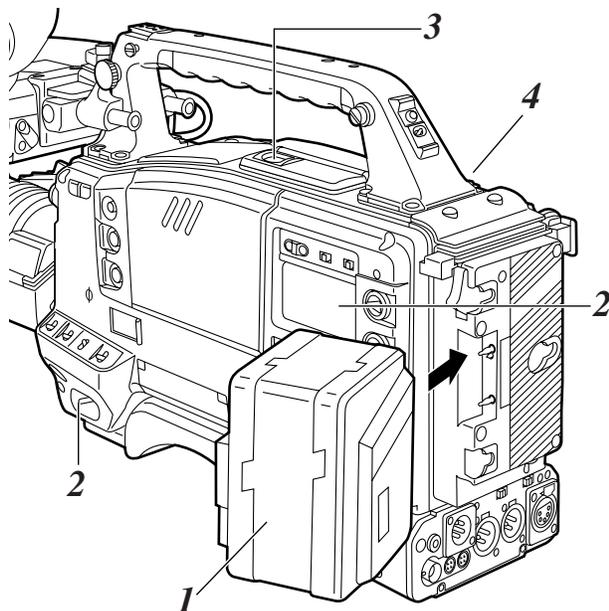


撮影前の点検

点検の準備

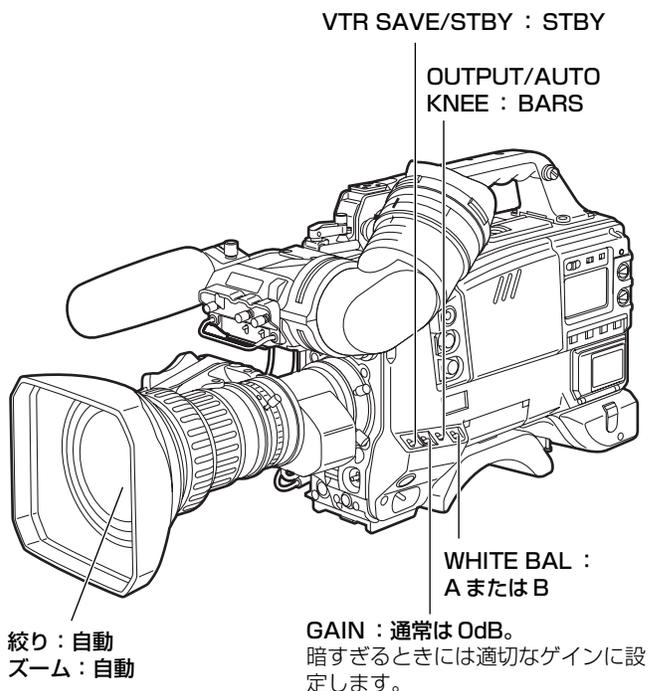
撮影の前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。
カラーモニターを使って画像のチェックをすることをお勧めします。

- 1 充電済みのバッテリーを挿入します。
- 2 POWERスイッチを「ON」にし、HUMID表示が出ないことや、BATTERY表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - HUMIDが表示したときは、表示が消えるまで待ってください。
 - バッテリー残量表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換してください。
- 3 カセットホルダーやトップパネル付近にケーブルなどが無いことを確認した後、EJECTボタンを押してカセットホルダーを開きます。
- 4 次の点を確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉めます。
 - カセットテープが誤消去防止状態になっていない。
 - テープにたるみが無い。



カメラ部の点検

スイッチを次のように設定します。



撮影前の点検

ビューファインダーの点検

- 1 ビューファインダーの位置を調節します。
- 2 ビューファインダー画面にカラーバーが映ることを確認した後、BRIGHTつまみやCONTRASTつまみ、PEAKINGつまみでビューファインダー上のカラーバーがきれいに映るように調整します。
- 3 MENUボタンやJOGダイヤルボタンの操作で、ビューファインダー画面に、MENU画面が表示されることと、項目の設定変更ができることを確認します。(メニュー操作 88～90 ページ参照)
- 4 OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「CAM」にし、CCとNDの各FILTERつまみを切り替えます。
つまみの位置に対応し、ビューファインダー画面のFILTER表示の数字が変わることを確認します。
- 5 以下の操作を実行し、FILM (CAM) MAIN MENU 2の「! LED」画面でONに設定した項目を操作したとき、①ランプが点灯することを確認します。
 1. GAINスイッチでゲインを0dB以外の値に設定する。
 2. SHUTTERスイッチを「ON」にする。
 3. WHITE BALスイッチを「PRST」にする。
 4. レンズエクステンダーを入れる。
 5. FILTERつまみを「B」以外に設定する。
- 6 SHUTTERスイッチを「ON」から「SEL」側に繰り返し押し、ビューファインダー画面でシャッターの設定が変わることを確認します。
- 7 任意の被写体にレンズを向け、フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。
ビューファインダーに画像が映ることを確認します。

- 8 AUDIO IN CH 1/CH 2 スイッチを両方とも「FRONT」にし、VTR MENUの「VTR VF INDICATOR」画面でLEVEL METERを「CH1」にします。
レンズ側のMIC INコネクタに接続したマイクから音を入力すると、ビューファインダー画面に音声レベルが表示されることを確認します。
VTR MENUの「VTR VF INDICATOR」画面でLEVEL METERを「OFF」にすると、ビューファインダーの音声レベル表示が消えることを確認します。
- 9 ZEBRAスイッチの設定を「ON」にすると、ビューファインダー画面にゼブラパターンが表示され、「OFF」にすると消えることを確認します。

<ノート>

上記3～6の項目や機能は、設定状況によって表示されない場合や動作しない場合があります。
本機をエンジニアモードに切り替え、メニューの「VF DISPLAY」画面で「DISPLAY MODE」を「3」に設定し、「SHUTTER SPEED」、「! LED」、「FILM (CAM) USER MENU SELECT 1～3」画面で、必要な項目を設定してください。

撮影前の点検

絞り、ズーム機能の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。
画像が望遠、広角と変わることを確認する。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダー付きのレンズを装着しているときは、エクステンダーを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

VTR 部の点検

「1. テープ走行の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

1. テープ走行の点検

- 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」にし、ビューファインダー内のVTR SAVE ランプが点灯することを確認します。
- 2 VTR SAVE/STBY スイッチを STBY にして、VTR SAVE ランプが消灯することを確認します。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 DISPLAY スイッチを「CTL」にします。
- 5 本機のVTR START ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - テープのリールが回転する。
 - カウンター表示部数値が変わる。
 - ビューファインダー内のREC ランプが点灯する。
 - 表示窓のRF、SERVO 表示が点灯しない。
- 6 本機のVTR START ボタンをもう一度押します。テープが止まり、ビューファインダー内のREC ランプが消えることを確認します。
- 7 レンズのVTR ボタンを使って、5・6と同じ動作を確認します。
- 8 RESET ボタンを押し、カウンター表示部の数値が「00 : 00 : 00 : 00」になることを確認します。
- 9 LIGHT スイッチを「ON」にし、表示窓が照明されることを確認します。
- 10 REW ボタンを押し、しばらく巻き戻してからPLAY/PAUSE ボタンを押します。
記録、再生、巻き戻しが正常に動作することを確認します。
- 11 FF ボタンを押し、早送りが正常に行われることを確認します。

撮影前の点検

VTR 部の点検

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2 両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」にします。
- 2 MONITOR つまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 3 イヤホンを PHONES 端子に接続します。スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 4 MONITOR つまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクを AUDIO IN CH1、CH2 コネクタに接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。
MIC : 内部電源供給方式のマイク
+ 48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネル毎に点検することもできます。

6. タイムコード、ユーザズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザズビットを設定します。設定のしかたについては「ユーザズビットの設定」(67ページ)をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。設定のしかたについては「タイムコードの設定」(68ページ)をお読みください。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 VTR START ボタンを押します。テープ走行とともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、VTR START ボタンを押します。テープが止まり、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCG スイッチを「F-RUN」にします。カウンター表示部の数値が、テープ走行に関係なく変わらなくなることを確認します。
- 7 DISPLAY スイッチを「UB」にします。内蔵カラーバー信号の記録モードのときに、設定したユーザズビットが上位6桁に表示されることを確認します。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書…内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間…お買い上げ日から1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ハ) 別に指定する*磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● ゴムプリー類 |
| ● ピンチローラー | ● ローラー類 |
| ● 各種ブレーキ | ● ヘッド類 |
| ● モーター類 | |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧	DC12V (DC11V～DC17V)
消費電力	39W (最大) 33W (SAVE REC モード時)

 は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～+40℃

保存温度

-20℃～+60℃

動作周囲湿度

85%以下 (相対湿度)

連続動作時間

約62分 (アントントリムパック 14/40W 使用時)

重量

4.5 kg (本体のみ)

約7.2 kg (本体、ビューファインダー、レンズ、
バッテリーパック、テープ、マイクを含む)

外形寸法

132 (幅) × 204 (高さ：ハンドルは含まない) × 330 (奥行) mm

【カメラ部】

撮像素子

2/3型 オンチップレンズ付き IT-CCD
(100万画素)

方式

RGB 3CCD方式

総画素数

1370 (H) × 744 (V)

有効画素数

1280 (H) × 720 (V)

量子化

10ビット (ノンリニア)

デジタル信号処理

74.1758MHz (59.94Hz)
74.25MHz (60.00Hz)

水平駆動周波数

74.1758MHz (59.94Hz)
74.25MHz (60.00Hz)

感度

F12

(2000 lux、89.9%反射、フレームレート：
23.98fps、シンクロスキャン：50%)

最低被写体照度

0.7 lux
(F1.4、+36dB、フレームレート：59.94fps時)

映像 S/N

54dB (標準)

水平解像度

700 TV 本以上 (中心)

サンプリング周波数

74.1758MHz (59.94Hz)
74.25MHz (60.00Hz)

シャッタースピード

プリセット：
1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000 秒

シンクロスキャン：

0.8%～97.2% (開口角度 3.0°～350°)

フレームレート

59.94fps～3.996fps (0.99fps ステップ)
60fps～4fps (1.0fps ステップ)

プログラマブルゲイン

-6dB/-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/
18dB/24dB/30dB より3ポジションを設定可
能 (L/M/H)

スーパーゲイン

18dB/24dB/30dB/36dB 選択可能

内蔵フィルター

CCフィルター：
A：CROSS、B：3200K、
C：4300K、D：6300K
NDフィルター：
1：CLEAR、2：1/4ND、
3：1/16ND、4：1/64ND

レンズマウント

2/3型 バヨネットタイプ

分光系

F1.4 プリズム方式

レジストレーション

0.03%以下 (全域、レンズ歪みを除く)

定 格

【VTR 部】

VTR テープ走行系

使用テープ

1/4 インチ DVCPRO 用 L カセットテープ

テープ速度

135.28mm/s (59.94Hz)

135.4154mm/s (60.00Hz)

録画/再生時間

46 分 (AJ-HP46LP 使用時)

32 分 (AJ-HP32LP 使用時)

FF/REW 時間

約 3 分 (AJ-HP46LP 使用時)

VTR 映像系

サンプリング周波数

Y : 74.1758MHz (59.94Hz)

74.25MHz (60.00Hz)

PB/PR : 37.0879MHz (59.94Hz)

37.125MHz (60.00Hz)

量子化

8 ビット

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100Mbps

映像帯域

Y : 20MHz

PB/PR : 10MHz

VTR 音声系 (標準再生機で再生時)

サンプリング周波数

48.0kHz (59.94Hz) ビデオに同期

48.048kHz (60.00Hz) ビデオに同期

量子化

16 ビット

周波数特性

20Hz ~ 20kHz \pm 1.0dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

85dB 以上 (1kHz、AWTD にて)

歪み率

0.1% 以内 (1kHz、基準レベルにて)

ワウ・フラッタ

測定限界値以下

ヘッドルーム

20dB

【コネクター部】

入力

MIC IN (XLR、3ピン、メス)

-40dBu (内部スイッチにて -50dBu に切り替え可)

ファントム + 48V 対応

AUDIO IN CH1/CH2 (XLR \times 2、3ピン、オス)

LINE/MIC/MIC + 48V 切り替え式、

LINE :

+ 4dBu

MIC :

- 60dBu

MIC + 48V :

ファントム + 48V、- 60dBu

GENLOCK IN (BNC)

1.0V [p-p] (三値同期信号: \pm 300mV)、75 Ω
SMPTE296M (アナログシンク) 規格に準拠

TC IN (BNC)

0.5V ~ 8V [p-p]、High インピーダンス

出力

AUDIO OUT (XLR、5ピン、メス)

+ 4dBm

PHONES

ステレオミニジャック

HD SDI OUT (BNC \times 2)

0.8V [p-p]、スイッチ機能付き

TC OUT (BNC)

2.0V [p-p]、Low インピーダンス

その他

LENS (12ピン)

ECU (6ピン)

DC IN (XLR、4ピン、オス)

DC12V (DC11V ~ 17V)

DC OUT (4ピン)

DC12V (DC11V ~ 17V)、0.4A (最大)

EVF (20ピン)

定 格

【ビューファインダー】

(別売品 AJ-HVF27P)

ブラウン管

2.0型 高解像度モノクローム管

映像方式

720p/59.94Hz

720p/60.00Hz

外部調整器

コントロールつまみ：

BRIGHT、CONTRAST、PEAKING

スイッチ：

TALLY HIGH/OFF/LOW、ZEBRA ON/OFF

【付属品】

ショルダーベルト (× 1)

【関連機器】

電源関連

バッテリーパック

AU-BP402、AJ-BP490

バッテリーチャージャ

AG-B425 (バッテリーパック AU-BP402 充電用)

AJ-B450 (バッテリーパック AJ-BP490 充電用)

バッテリーケース

AU-M402H

ACアダプタ

AJ-B75

ビューファインダー

2.0型ビューファインダー

AJ-HVF27P

外部VTR関連

エクステンションコントロールユニット

AJ-EC3

オーディオ機器

マイクロホンキット

AJ-MC700P

マイクホルダー

AJ-MH700P

ワイヤレスマイク受信機

WX-RJ700

カメラアタッチメント

WX-ZJ770

保守用製品

クリーニングテープ

AJ-CL12LP

ソフトキャリングケース

AJ-SC900

レインカバー

SHAN-RC700

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161